

令和4年度

第61回 市政世論調査

(令和4年7月～8月調査)

名古屋市

はじめに

名古屋市では、市民の皆さまのお考えやご意見などを把握するための調査広聴事業のひとつとして、昭和36年から、年に1回、市政世論調査を実施しております。

令和4年度の調査では、「名古屋の魅力・住みやすさについて」、「市政について」をテーマとして、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた2,000人の方を対象に調査させていただきました。調査の結果得られた貴重なデータは今後の市政運営のための参考資料とさせていただきます。

最後に、お忙しいところ、この市政世論調査にご協力いただきました多くの市民の皆さまに心からお礼申し上げます。

令和4年12月

目次

I 調査の概要

1	調査のテーマ・趣旨	1
2	調査の設計・回収結果	1
3	調査項目	2
4	調査結果の見方について	3
5	標本誤差	4
6	標本構成	5

II 調査結果の概要

1	名古屋の魅力・住みやすさについて	8
2	市政について	10

III 調査結果の詳細

1	名古屋の魅力・住みやすさについて	12
	(1) 名古屋の良いところ (問1・MA)	12
	(2) 名古屋の悪いところ (問2・MA)	15
	(3) 名古屋の住みやすさ (問3・SA)	18
	(4) 住みやすい点 (問4・MA)	25
	(5) 住みにくい点 (問5・MA)	28
	(6) 今の地域での居留意向 (問6・SA)	31
	(7) 転居したい地域 (問7・SA)	35
	(8) 名古屋への愛着度 (問8・SA)	38
	(9) 名古屋の自慢できること (問9・SA)	45
	(10) 「生きがい」と感じるもの (問10・SA)	48
	(11) 今後の生活で不安に感じること (問11・MA)	50
	(12) 家庭の生活の程度 (問12・SA)	53
	(13) 生活の満足度 (問13・SA)	55
	(14) 生活に満足している理由 (問14・MA)	59
	(15) 生活に不満である理由 (問15・MA)	61

2 市政について	64
(1) 市政への関心 (問 16・SA)	64
(2) 市政に関心がある理由 (問 17・MA)	67
(3) 市政に関心がない理由 (問 18・MA)	69
(4) 市政への評価と要望 (問 19・20)	71
① 市政への評価 (名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと) (問 19・MA)	73
② 市政への要望 (名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと) (問 20・MA)	86
(5) 市の行政改革の取り組みへの評価 (問 21・MA)	99
(6) 市の行政改革の取り組みへの要望 (問 22・MA)	101
(7) 市政への意見・要望 (問 23・自由記載)	103

IV 使用調査票

使用調査票	110
-------	-----

I 調査の概要

1 調査のテーマ・趣旨

(1) 名古屋の魅力・住みやすさについて

名古屋のまちの住みやすさなどについての市民の印象を聞き、市政の参考とします。

(所管：スポーツ市民局市民生活部広聴課)

(2) 市政について

市政への関心について聞くとともに、名古屋市基本構想に基づく本市市政の30項目について、市民の評価と要望を把握して、市政運営の参考とします。

(所管：総務局企画部企画課)

また、行政改革への取り組みについて、市民の評価と要望を把握して、市政運営の参考とします。

(所管：総務局行政部行政改革推進室)

2 調査の設計・回収結果

- | | |
|-------------|---|
| (1) 調査地域 | 市内16区全域 |
| (2) 調査対象 | 名古屋市内に居住する満18歳以上の男女（外国人を含む） |
| (3) 標本数 | 2,000人 |
| (4) 標本抽出法 | 住民基本台帳をフレームとする無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットを通じて回収 |
| (6) 調査期間 | 令和4年7月26日（火）～令和4年8月9日（火） |
| (7) 回収結果 | 調査標本数 2,000人
標本回収数 815人
回収率 40.8% |
| (8) 質問数 | 23問（他にフェイス項目7問） |
| (9) 調査主体 | スポーツ市民局市民生活部広聴課 |
| (10) 委託調査機関 | Next-i株式会社 名古屋支店 |

3 調査項目

名古屋の魅力・住みやすさについて

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) 名古屋の良いところ | (問1・複数回答) |
| (2) 名古屋の悪いところ | (問2・複数回答) |
| (3) 名古屋の住みやすさ | (問3・単一回答) |
| (4) 住みやすい点 | (問4・複数回答) |
| (5) 住みにくい点 | (問5・複数回答) |
| (6) 今の地域での居留意向 | (問6・単一回答) |
| (7) 転居したい地域 | (問7・単一回答) |
| (8) 名古屋への愛着度 | (問8・単一回答) |
| (9) 名古屋の自慢できること | (問9・単一回答) |
| (10) 「生きがい」と感じるもの | (問10・単一回答) |
| (11) 今後の生活で不安に感じること | (問11・複数回答) |
| (12) 家庭の生活の程度 | (問12・単一回答) |
| (13) 生活の満足度 | (問13・単一回答) |
| (14) 生活に満足している理由 | (問14・複数回答) |
| (15) 生活に不満である理由 | (問15・複数回答) |

市政について

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) 市政への関心 | (問16・単一回答) |
| (2) 市政に関心がある理由 | (問17・複数回答) |
| (3) 市政に関心がない理由 | (問18・複数回答) |
| (4) ①市政への評価 | (問19・複数回答) |
| ②市政への要望 | (問20・複数回答) |
| (5) 市の行政改革の取り組みへの評価 | (問21・複数回答) |
| (6) 市の行政改革の取り組みへの要望 | (問22・複数回答) |
| (7) 市政への意見・要望 | (問23・自由記載) |

4 調査結果の見方について

- (1) 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、合計が100%にならないこともあります。
- (2) 複数回答が可能な質問では、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をします。このため、各項目の比率の合計は通常100%を超えます。
- (3) 調査結果では、質問文の最後に(SA)(MA)の表示があります。SA(Single Answer)は回答を1つだけ選ぶ単一回答の質問、MA(Multiple Answer)は複数回答が可能な質問であることを表しています。単一回答の質問において、複数を選択している場合は「無効」とし、「無回答」に含めて集計しています。
- (4) 本報告書中の文章、表、グラフ等の見出しの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
- (5) クロス集計は、対象者の属性や関連の高い質問を分析軸として行い、比率については全体との差が大きいもの(概ね5ポイント以上の差を目安)や特徴的なものなどについて、主なものにコメントしました。また、回答対象者が少なく、標本誤差*が大きいと考えられる項目などについては、基本的に分析の対象外としています。

* 標本誤差についてはP.4参照

■比較調査の詳細

調査名	概要
市政世論調査 (平成5年度)	対象者：満20歳以上の市民2,500人 調査方法：面接調査法
市政2万人アンケート (平成10年度)	対象者：満18歳以上の市民20,000人 調査方法：郵送法
市政世論調査 (平成13年度～平成21年度)	対象者：満20歳以上の市民2,500人 調査方法：留置法
市政世論調査 (平成22年度～平成27年度)	対象者：満20歳以上の市民2,000人 調査方法：郵送法
市政世論調査 (平成28年度～令和3年度)	対象者：満18歳以上の市民2,000人 調査方法：郵送法

※ 各質問の経年比較などはそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています。

5 標本誤差

調査結果については、統計上多少の誤差（標本誤差）が生じることがあり、調査結果を見る場合には、次のような一定の幅を持たせて見る必要があります。

この調査の標本誤差は次の公式により計算されます。

$$\sigma = 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

ただし σ = 標 本 誤 差
 n = 回 収 数
 P = 回 答 率

この公式によって計算された標本誤差は次のとおりです。

標本誤差早見表（信頼度：95%）

（単位：%）

n \ P	10 または 90	20 または 80	30 または 70	40 または 60	50
50	± 8.5	± 11.3	± 13.0	± 13.9	± 14.1
100	± 6.0	± 8.0	± 9.2	± 9.8	± 10.0
300	± 3.5	± 4.6	± 5.3	± 5.7	± 5.8
500	± 2.7	± 3.6	± 4.1	± 4.4	± 4.5
800	± 2.1	± 2.8	± 3.2	± 3.5	± 3.5
815	± 2.1	± 2.8	± 3.2	± 3.4	± 3.5
1,000	± 1.9	± 2.5	± 2.9	± 3.1	± 3.2
1,200	± 1.7	± 2.3	± 2.6	± 2.8	± 2.9
1,500	± 1.5	± 2.1	± 2.4	± 2.5	± 2.6
2,000	± 1.3	± 1.8	± 1.8	± 2.2	± 2.2

《この表の見方》

例えば、回答者数が 815 である質問における、ある 1 つの選択肢の回答比率が 30%であった場合、その回答の比率の誤差の範囲は±3.2%（26.8%～33.2%）の範囲にあることが 95%の信頼度でいえることとなります。

6 標本構成

(1) 性別

	回答数	割合
男性	327	40.1%
女性	475	58.3%
無回答	13	1.6%
合計	815	100.0%

(2) 年代別

	回答数	割合
10 歳代	6	0.7%
20 歳代	59	7.2%
30 歳代	109	13.4%
40 歳代	124	15.2%
50 歳代	160	19.6%
60 歳代	147	18.0%
70 歳以上	199	24.4%
無回答	11	1.3%
合計	815	100.0%

(3) 性・年代別

	男性		女性		性別無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10 歳代	4	0.5%	2	0.2%	-	-
20 歳代	22	2.7%	36	4.4%	1	0.1%
30 歳代	40	4.9%	68	8.3%	1	0.1%
40 歳代	44	5.4%	80	9.8%	-	-
50 歳代	61	7.5%	97	11.9%	2	0.2%
60 歳代	60	7.4%	87	10.7%	-	-
70 歳以上	96	11.8%	103	12.6%	-	-
無回答	-	-	2	0.2%	9	1.1%
合計	327	40.1%	475	58.3%	13	1.6%

(4) 職業別

	回答数	割合
会社員（フルタイム）	236	29.0%
公務員	27	3.3%
自営・自由業	68	8.3%
アルバイト・パート（派遣も含む）	129	15.8%
家事専業	113	13.9%
学生	22	2.7%
無職	179	22.0%
その他	23	2.8%
無回答	18	2.2%
合計	815	100.0%

(5) 居住区別

	回答数	割合
千種区	52	6.4%
東区	25	3.1%
北区	63	7.7%
西区	58	7.1%
中村区	51	6.3%
中区	29	3.6%
昭和区	43	5.3%
瑞穂区	41	5.0%
熱田区	19	2.3%
中川区	72	8.8%
港区	39	4.8%
南区	52	6.4%
守山区	52	6.4%
緑区	93	11.4%
名東区	53	6.5%
天白区	55	6.7%
無回答	18	2.2%
合計	815	100.0%

(6) 出生地別

	回答数	割合
生まれてからずっと名古屋に住んでいる (通学や転勤で一時的に名古屋を離れた方も含む)	374	45.9%
名古屋市以外から引っ越してきた	425	52.1%
無回答	16	2.0%
合計	815	100.0%

(7) 転入前の居住地別

	回答数	割合
東海三県(愛知・岐阜・三重から)	214	50.4%
東海三県以外から	209	49.2%
無回答	2	0.5%
合計	425	100.0%

(8) 居住歴別

	回答数	割合
5年未満	57	7.0%
5年以上10年未満	56	6.9%
10年以上20年未満	91	11.2%
20年以上30年未満	97	11.9%
30年以上	497	61.0%
無回答	17	2.1%
合計	815	100.0%

Ⅱ 調査結果の概要

1 名古屋の魅力・住みやすさについて

(1) 名古屋の良いところは「地理的に日本各地への移動が便利」が6割以上

名古屋の誇れるところや良いところをたずねたところ、「地理的に日本各地への移動が便利」(63.9%)と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」(46.6%)、「名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし)」(45.4%)、「道路が広くて整備されている」(43.3%)、「三英傑ゆかりの地で歴史がある」(43.2%)、「名古屋の水道水がおいしい」(42.9%)と続いています。(問1・MA)

(2) 名古屋の悪いところは「夏が蒸し暑い」が6割以上

名古屋の悪いところや嫌いなところをたずねたところ、「夏が蒸し暑い」(65.0%)と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「観光名所が少ない」(53.0%)、「交通マナーが悪い」(38.9%)と続いています。(問2・MA)

(3) 名古屋が住みやすいと思う人は約9割

名古屋が「住みやすい」と思うかとたずねたところ、「住みやすい」と答えた人は48.1%、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人は42.7%で、あわせると、名古屋が住みやすいと思う人は約9割(90.8%)でした。

一方、「住みにくい」と答えた人は0.6%、「どちらかといえば住みにくい」と答えた人は4.3%で、あわせると、名古屋が住みにくいと思う人は1割未満(4.9%)でした。(問3・SA)

(4) 名古屋の住みやすい点は「買い物する場所などが近くにあって生活に便利」が約7割

名古屋が住みやすいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「買い物する場所などが近くにあって生活に便利」(69.7%)と答えた人が約7割と多く、次いで「交通の便がよい」(68.6%)、「住環境がよい」(42.4%)と続いています。(問4・MA)

(5) 名古屋の住みにくい点は「スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない」が約4割

名古屋が住みにくいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない」(40.0%)が約4割となり、次いで「交通の便が悪い」(37.5%)、「建物や歩道のバリアフリー化(段差などが無いこと)が遅れている」(35.0%)と続いています。(問5・MA)

(6) 今の地域での居住意向は8割以上

今の地域にずっと住み続けたいかとたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人は47.1%、「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人は36.8%で、あわせると、今の地域に住み続けたい人は8割以上(83.9%)でした。

一方、「転居したい」と答えた人は1.5%、「どちらかといえば転居したい」と答えた人は6.7%で、あわせると、転居したい人は約1割(8.2%)でした。(問6・SA)

(7) 転居したい地域は愛知県外が約4割

今の地域から転居したい人に、どこに転居したいかとたずねたところ、「愛知県外」(44.8%)と答えた人が約4割と多く、次いで「具体的にはわからない」(31.3%)、「名古屋市内の別の区」(11.9%)と続いています。(問7・SA)

(8) 名古屋に愛着を感じている人は約8割

名古屋に「自分のまち」としての「愛着」を感じているかとたずねたところ、「感じている」と答えた人は37.3%、「どちらかといえば感じている」と答えた人は44.0%で、あわせると、名古屋に愛着を感じている人は約8割(81.3%)でした。

一方、「感じていない」と答えた人は3.4%、「どちらかといえば感じていない」と答えた人は8.7%で、あわせると、名古屋に愛着を感じていない人は約1割(12.1%)でした。(問8・SA)

(9) 名古屋に自慢できることがある人は4割以上

名古屋によそのまちと比べて自慢できることがあるかとたずねたところ、「たくさんある」と答えた人は7.1%、「いくつかはある」と答えた人は39.0%で、あわせると、名古屋に自慢できることがある人は4割以上(46.1%)でした。

また、「まったくない」と答えた人は1.3%、「あまりない」と答えた人は34.1%で、あわせると、名古屋に自慢できることがない人は3割以上(35.4%)でした。(問9・SA)

(10) 生きがいとを感じるものがある人は約4割

「生きがい」と感じるものがあるかとたずねたところ、「生きがいと感じているものがある」(37.9%)と答えた人が約4割で最も多く、「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人は28.7%でした。

一方、「特にない」と答えた人は26.9%でした。(問10・SA)

(11) 今後の生活で不安に感じることは「自分の健康・病気」が約6割

今後の生活を考えたとき不安に感じることをたずねたところ、「自分の健康・病気」(62.3%)と答えた人が約6割と多く、次いで「老後の生活」(58.9%)、「家族の健康・病気」(55.3%)と続いています。(問11・MA)

(12) 家庭の生活の程度は「中の中」が約5割

家庭の生活の程度は、世間一般からみてどうだと思いかとたずねたところ、「中の中」(47.9%)と答えた人が約5割で最も多く、次いで「中の下」(21.3%)、「中の上」(20.1%)と続いています。(問12・SA)

(13) 現在の生活に満足している人は7割以上

現在の生活に満足しているかとたずねたところ、「満足している」と答えた人は16.4%、「どちらかといえば満足している」と答えた人は59.5%で、あわせると、現在の生活に満足している人は7割以上(75.9%)でした。

一方、「不満である」と答えた人は5.4%、「どちらかといえば不満である」と答えた人は14.0%で、あわせると、現在の生活に不満である人は約2割(19.4%)でした。(問13・SA)

(14) 生活に満足している理由は「健康であるから」が約6割

現在の生活に満足していると答えた人に、その理由をたずねたところ、「健康であるから」(63.8%)と答えた人が約6割で最も多く、次いで「家族との生活が充実しているから」(53.8%)、「住生活が豊かだから」(38.1%)、「食生活が豊かだから」(36.8%)と続いています。(問14・MA)

(15) 生活に不満である理由は「貯蓄が十分でないから」が約7割

現在の生活に不満であると答えた人に、その理由をたずねたところ、「貯蓄が十分でないから」(69.0%)と答えた人が約7割で最も多く、次いで「悩みや心配事があるから」(33.5%)、「健康でないから」(28.5%)、「趣味、教養の時間が十分とれないから」(24.1%)、「家具、車など欲しいものが買えないから」(24.1%)と続いています。(問15・MA)

2 市政について

(1) 市政に関心がある人は約6割

市政(市の施策や事業など)に関心があるかとたずねたところ、「とても関心がある」と答えた人は8.6%、「どちらかといえば関心がある」と答えた人は51.2%で、あわせると、市政に関心がある人は約6割(59.8%)でした。

一方、「まったく関心がない」と答えた人は3.9%、「どちらかといえば関心がない」と答えた人は28.0%で、あわせると、市政に関心がない人は約3割(31.9%)でした。(問16・SA)

(2) 市政に関心がある理由は「自分の生活と密接な関係があるから」が約7割

市政に関心があると答えた人に、その理由をたずねたところ、「自分の生活と密接な関係があるから」(67.6%)と答えた人が約7割で最も多く、次いで「自分の住むまちに愛着があるから」(43.5%)、「税金を払っているから」(42.3%)と続いています。(問17・MA)

(3) 市政に関心がない理由は「市政がわかりにくいから」が約4割

市政に関心がないと答えた人に、その理由をたずねたところ、「市政がわかりにくいから」(41.5%)と答えた人が約4割で最も多く、次いで「忙しくて考える暇がないから」(30.8%)、「国や地方の政治に関心がないから」(23.8%)と続いています。(問18・MA)

(4)

① 市政への評価で高く評価された分野は「ごみの減量と処理」、「高齢者福祉」

名古屋市が特によく取り組んでいると思う事業の分野をたずねたところ、「ごみの減量と処理」(25.6%)、「高齢者福祉」(24.2%)が2割以上となり、これらに次いで「健康・医療」(19.9%)、「公共交通」(15.8%)、「災害の防止」(15.7%)と続いています。(問19・MA)

② 市政への要望が高い分野は「健康・医療」と「高齢者福祉」

名古屋市に特に力を入れて進めてほしいと思う事業の分野をたずねたところ、「健康・医療」(40.4%)、「高齢者福祉」(39.6%)と答えた人が約4割となり、これらに次いで「災害の防止」(33.3%)と続いています。(問20・MA)

(5) 市の行政改革の取り組みへの評価は「わからない」が4割以上

市の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市が特によく取り組んでいると思うことをたずねたところ、「わからない」と答えた人は4割以上(44.0%)でした。

評価されているものの中では、「デジタルの活用による市民サービスの向上(スマートフォンやパソコンからの手続きの推進など)」(16.7%)、「業務の民間委託や民営化等の民間活力の活用」(9.9%)、「市政に関する情報提供」(8.7%)、「職員の意識改革、資質の向上」(8.5%)と続いています。(問21・MA)

(6) 市の行政改革の取り組みへの要望は「職員の意識改革、資質の向上」が約3割

市の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市に特に力を入れて進めてほしいと思うことをたずねたところ、「職員の意識改革、資質の向上」(30.4%)と答えた人が約3割となり、次いで「デジタルの活用による市民サービスの向上(スマートフォンやパソコンからの手続きの推進など)」(28.3%)、「外郭団体の見直し(財政的・人的関与の見直し)」(20.7%)、「行政評価による行政資源の有効活用」(18.7%)、「市政に関する情報提供」(17.4%)と続いています。(問22・MA)

(7) 市政についての意見・要望

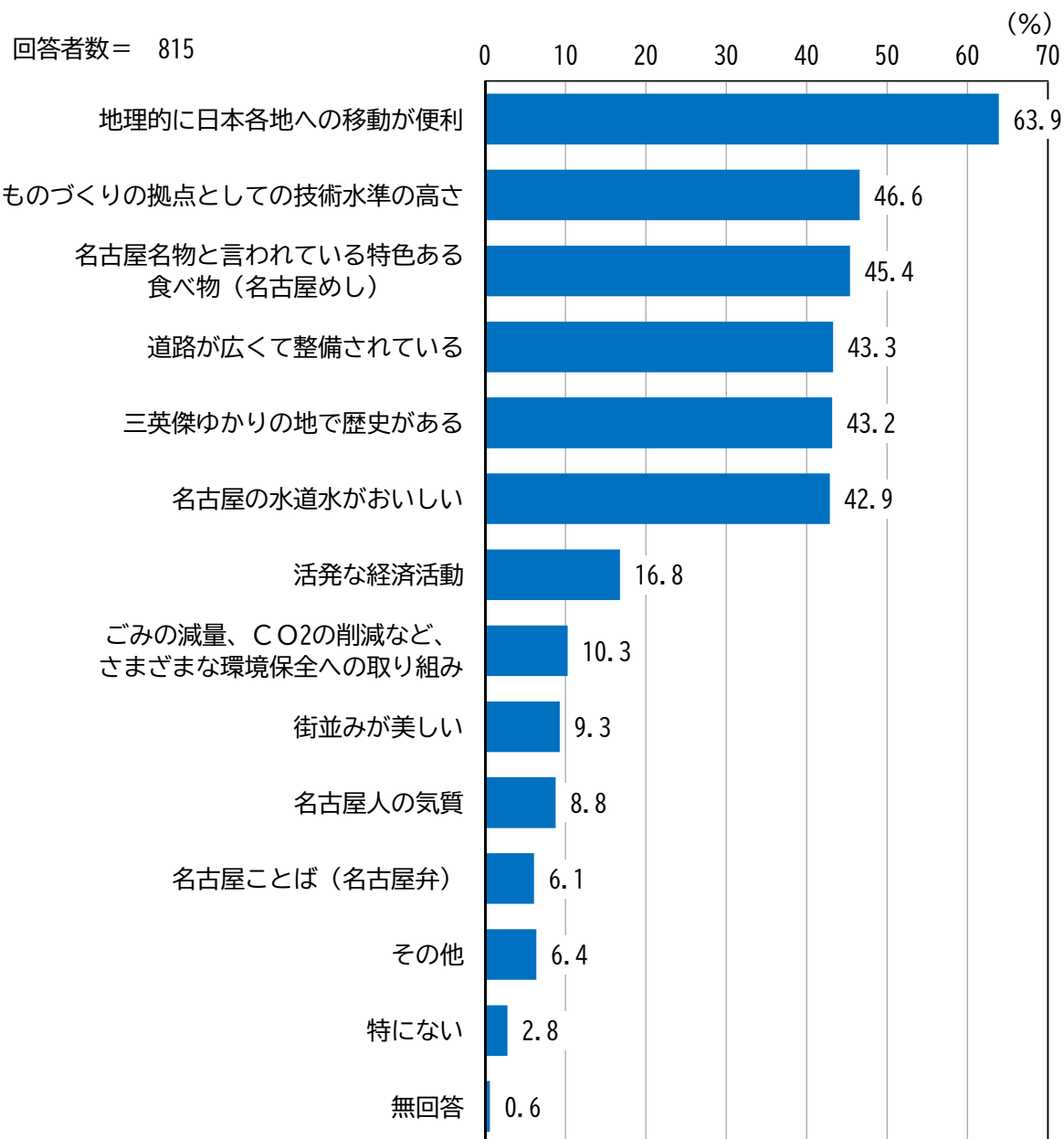
今後の名古屋市の施策や事業について自由なご意見をたずねたところ、回答率は26.6%であり、回答総数では433件となりました。

名古屋市基本構想に基づき構成した30項目及びその他1項目で該当する意見の件数をとりまとめたところ、「その他」を除くと、「市民サービス」に関する意見が最も多く寄せられ、次いで「児童福祉」、「高齢者福祉」、「学校教育」、「市街地の整備」、「観光・MICE」と続いています。(問23・自由記載)

Ⅲ 調査結果の詳細

1 名古屋の魅力・住みやすさについて

(1) 名古屋の良いところ (問1・MA)



- ◆ 名古屋の誇れるところや良いところをたずねたところ、「地理的に日本各地への移動が便利」(63.9%)と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」(46.6%)、「名古屋名物と言われている特色ある食べ物 (名古屋めし)」(45.4%)、「道路が広くて整備されている」(43.3%)、「三英傑ゆかりの地で歴史がある」(43.2%)、「名古屋の水道水がおいしい」(42.9%)と続いています。

		地理的に日本各地への移動が便利	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ	名古屋名物と言われている特色ある食べ物（名古屋めし）	道路が広くて整備されている	三英傑ゆかりの地で歴史がある	名古屋の水道水がおいしい	活弁な経済活動	ごみの減量、CO2の削減など、さまざまな環境保全への取り組み	街並みが美しい	名古屋人の気質	名古屋ことば（名古屋弁）	その他	特にない	無回答	回答者数
全体		63.9	46.6	45.4	43.3	43.2	42.9	16.8	10.3	9.3	8.8	6.1	6.4	2.8	0.6	815
性別	男性	66.4	50.2	42.8	43.4	42.2	43.4	20.5	9.5	8.9	10.7	7.3	7.0	3.1	0.9	327
	女性	62.5	45.1	46.5	43.4	44.6	42.9	14.5	10.7	9.7	7.8	5.5	5.7	2.5	0.4	475
年代別	10歳代	50.0	50.0	50.0	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	6
	20歳代	69.5	39.0	62.7	27.1	32.2	16.9	18.6	1.7	6.8	11.9	6.8	5.1	1.7	0.0	59
	30歳代	72.5	34.9	38.5	26.6	29.4	14.7	22.9	4.6	7.3	0.9	2.8	9.2	2.8	0.0	109
	40歳代	61.3	41.9	52.4	29.8	37.1	27.4	12.1	3.2	3.2	4.8	5.6	6.5	0.8	0.8	124
	50歳代	62.5	55.6	55.6	41.3	46.3	43.1	16.3	10.0	8.1	7.5	4.4	6.3	1.9	0.0	160
	60歳代	66.7	53.1	44.9	56.5	49.7	56.5	18.4	11.6	13.6	10.2	7.5	7.5	2.7	0.7	147
	70歳以上	59.3	47.2	30.7	59.3	52.3	64.8	15.6	19.6	13.1	15.6	8.0	4.5	4.5	1.5	199
性×年代別	男性 10歳代	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	4
	20歳代	59.1	63.6	50.0	27.3	18.2	9.1	22.7	4.5	4.5	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	22
	30歳代	87.5	45.0	45.0	37.5	25.0	17.5	30.0	2.5	7.5	0.0	7.5	2.5	2.5	0.0	40
	40歳代	65.9	45.5	47.7	27.3	36.4	27.3	18.2	0.0	2.3	11.4	11.4	11.4	0.0	0.0	44
	50歳代	67.2	57.4	55.7	41.0	50.8	49.2	26.2	4.9	8.2	11.5	4.9	9.8	1.6	0.0	61
	60歳代	68.3	46.7	48.3	45.0	50.0	50.0	16.7	13.3	8.3	6.7	1.7	3.3	5.0	1.7	60
	70歳以上	59.4	49.0	26.0	59.4	49.0	60.4	16.7	18.8	14.6	17.7	9.4	7.3	4.2	2.1	96
	女性 10歳代	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2
	20歳代	77.8	25.0	69.4	27.8	41.7	22.2	16.7	0.0	8.3	13.9	5.6	2.8	2.8	0.0	36
	30歳代	63.2	29.4	35.3	20.6	32.4	13.2	19.1	5.9	7.4	1.5	0.0	11.8	2.9	0.0	68
	40歳代	58.8	40.0	55.0	31.3	37.5	27.5	8.8	5.0	3.8	1.3	2.5	3.8	1.3	1.3	80
	50歳代	58.8	55.7	55.7	41.2	44.3	39.2	10.3	13.4	8.2	5.2	4.1	4.1	2.1	0.0	97
	60歳代	65.5	57.5	42.5	64.4	49.4	60.9	19.5	10.3	17.2	12.6	11.5	10.3	1.1	0.0	87
	70歳以上	59.2	45.6	35.0	59.2	55.3	68.9	14.6	20.4	11.7	13.6	6.8	1.9	4.9	1.0	103
地出生	名古屋市	62.6	46.3	47.9	44.9	46.8	51.9	14.7	11.8	9.1	13.1	8.0	4.5	3.5	0.5	374
	名古屋市以外	64.9	47.1	42.4	42.1	40.2	35.1	19.1	8.5	9.2	5.2	4.7	8.0	2.1	0.7	425
居住歴別	5年未満	71.9	45.6	42.1	28.1	26.3	14.0	19.3	1.8	7.0	5.3	3.5	8.8	1.8	0.0	57
	5年以上10年未満	66.1	39.3	44.6	21.4	30.4	16.1	17.9	5.4	5.4	1.8	1.8	7.1	1.8	0.0	56
	10年以上20年未満	63.7	48.4	37.4	31.9	33.0	23.1	28.6	6.6	11.0	3.3	4.4	7.7	4.4	0.0	91
	20年以上30年未満	63.9	49.5	55.7	34.0	54.6	29.9	16.5	8.2	7.2	10.3	8.2	6.2	2.1	0.0	97
	30年以上	62.8	47.1	44.7	51.9	46.7	55.7	14.7	12.9	9.9	10.9	6.8	5.6	2.8	1.0	497
名古屋の自慢できること*	たくさんある	69.0	67.2	51.7	65.5	60.3	55.2	37.9	12.1	24.1	19.0	13.8	25.9	0.0	0.0	58
	いくつかはある	71.1	53.1	54.4	49.7	48.7	46.2	19.5	13.5	10.4	9.4	5.0	8.5	0.3	0.3	318
	あまりない	62.2	43.5	37.8	30.6	36.3	34.5	11.9	6.1	5.8	6.5	6.1	2.9	4.0	0.4	278
	まったくない	45.5	9.1	9.1	18.2	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	11
	わからない	45.0	27.9	37.8	37.8	32.4	41.4	9.9	8.1	3.6	4.5	3.6	0.9	6.3	1.8	111

(単位：%)

*「名古屋の自慢できること」（問9）については、P.45 参照

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和4年度	地理的に日本各地への移動が便利 63.9%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 46.6%	名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 45.4%	道路が広くて整備されている 43.3%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 43.2%
令和3年度	地理的に日本各地への移動が便利 65.7%	名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 44.1%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 43.8%	名古屋の水道水がおいしい 43.7%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 39.6%
令和2年度	地理的に日本各地への移動が便利 64.0%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 45.7%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 44.7%	名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 41.7%	名古屋の水道水がおいしい 39.1%
					道路が広くて整備されている 39.1%
令和元年度	地理的に日本各地への移動が便利 63.2%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 49.2%	名古屋の水道水がおいしい 47.4%	名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 41.9%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 40.2%
平成30年度	地理的に日本各地への移動が便利 61.5%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 48.4%	道路が広くて整備されている 42.9%	名古屋の水道水がおいしい 42.8%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 42.0%
平成29年度	地理的に日本各地への移動が便利 60.6%	ものづくりの拠点としての技術水準の高さ 46.2%	名古屋の水道水がおいしい 43.5%	三英傑ゆかりの地で歴史がある 43.1%	名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) 42.8%

【上位5項目の経年比較】

「地理的に日本各地への移動が便利」は、平成29年度以降、第1位で変わりありません。前回第3位であった「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」が第2位、前回第2位であった「名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし)」が第3位、前回第6位であった「道路が広くて整備されている」が第4位、前回第5位であった「三英傑ゆかりの地で歴史がある」が前回同様第5位になっています。なお、前回第4位だった「名古屋の水道水がおいしい」は今回の調査で上位5項目外になっています。

【性別比較】

「ものづくりの拠点としての技術水準の高さ」と答えた人の割合は、男性(50.2%)の方が、女性(45.1%)より、5.1ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし)」と答えた人の割合は、20歳代(62.7%)が最も高く、最も低い70歳以上(30.7%)より、32.0ポイント高くなっています。

【性・年代別比較】

「名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし)」と答えた人の割合は、20歳代女性(69.4%)の方が、70歳以上男性(26.0%)より、43.4ポイント高くなっています。

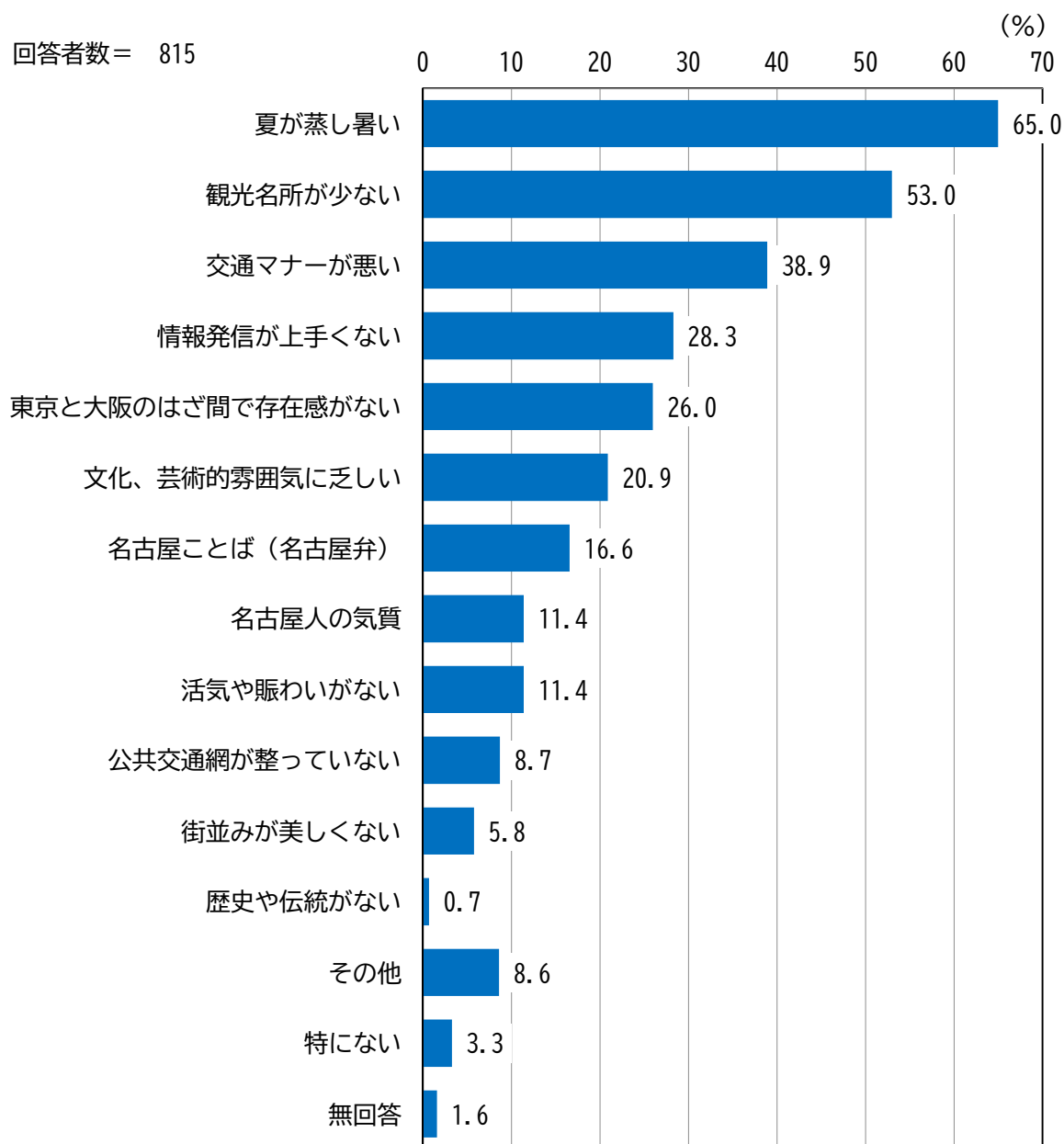
【出生地別比較】

「名古屋の水道水がおいしい」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人(51.9%)の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人(35.1%)より、16.8ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

「名古屋の水道水がおいしい」と答えた人の割合は、30年以上(55.7%)の方が、5年未満(14.0%)より41.7ポイント高くなっています。

(2) 名古屋の悪いところ (問2・MA)



- ◆ 名古屋の悪いところや嫌いなところをたずねたところ、「夏が蒸し暑い」(65.0%)と答えた人が6割以上で最も多く、次いで「観光名所が少ない」(53.0%)、「交通マナーが悪い」(38.9%)と続いています。

		夏が蒸し暑い	観光名所が少ない	交通マナーが悪い	情報発信が上手くない	東京と大阪のはざ間で存在感がない	文化、芸術的雰囲気には乏しい	名古屋ことば（名古屋弁）	名古屋人の気質	活気や賑わいがない	公共交通網が整っていない	街並みが美しくない	歴史や伝統がない	その他	特にない	無回答	回答者数
全体		65.0	53.0	38.9	28.3	26.0	20.9	16.6	11.4	11.4	8.7	5.8	0.7	8.6	3.3	1.6	815
性別	男性	57.2	52.6	41.3	28.4	26.6	22.3	14.1	8.9	12.2	8.6	6.4	1.2	9.5	4.6	1.2	327
	女性	69.9	53.1	37.1	28.2	25.3	19.8	18.5	13.1	10.9	8.6	4.8	0.4	8.0	2.5	1.9	475
年代別	10歳代	66.7	66.7	33.3	16.7	66.7	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	6
	20歳代	54.2	59.3	61.0	15.3	22.0	20.3	10.2	15.3	6.8	8.5	3.4	0.0	6.8	1.7	0.0	59
	30歳代	62.4	59.6	51.4	20.2	22.9	16.5	19.3	13.8	4.6	8.3	11.9	0.9	11.0	2.8	0.0	109
	40歳代	66.1	51.6	40.3	21.0	21.8	17.7	11.3	12.1	11.3	3.2	8.9	0.8	8.9	3.2	0.8	124
	50歳代	62.5	55.0	42.5	37.5	28.7	14.4	13.8	10.6	15.0	11.9	5.0	0.6	10.6	2.5	0.6	160
	60歳代	78.9	47.6	38.1	33.3	27.2	23.1	19.0	10.9	10.2	10.2	5.4	0.7	8.8	0.7	1.4	147
	70歳以上	60.3	49.7	23.1	30.2	27.1	28.6	21.1	9.5	15.1	8.0	2.0	1.0	5.5	7.0	4.5	199
性×年代別	男性 10歳代	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	4
	20歳代	36.4	54.5	68.2	13.6	27.3	22.7	9.1	22.7	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0	22
	30歳代	60.0	57.5	65.0	25.0	27.5	27.5	20.0	12.5	2.5	10.0	17.5	2.5	12.5	5.0	0.0	40
	40歳代	56.8	52.3	43.2	20.5	18.2	15.9	9.1	11.4	6.8	2.3	9.1	0.0	6.8	4.5	0.0	44
	50歳代	54.1	50.8	44.3	36.1	19.7	16.4	13.1	8.2	16.4	9.8	6.6	1.6	14.8	1.6	0.0	61
	60歳代	71.7	53.3	41.7	30.0	35.0	26.7	10.0	5.0	16.7	10.0	8.3	1.7	11.7	1.7	1.7	60
	70歳以上	54.2	51.0	22.9	31.3	28.1	25.0	18.8	6.3	14.6	8.3	1.0	1.0	5.2	8.3	3.1	96
	女性 10歳代	100.0	100.0	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	20歳代	63.9	61.1	55.6	16.7	16.7	19.4	11.1	11.1	8.3	11.1	5.6	0.0	8.3	0.0	0.0	36
	30歳代	63.2	61.8	42.6	16.2	20.6	10.3	19.1	13.2	5.9	7.4	7.4	0.0	10.3	1.5	0.0	68
	40歳代	71.3	51.2	38.8	21.3	23.8	18.8	12.5	12.5	13.8	3.8	8.8	1.3	10.0	2.5	1.3	80
	50歳代	67.0	57.7	41.2	38.1	34.0	13.4	14.4	12.4	13.4	12.4	3.1	0.0	8.2	3.1	1.0	97
	60歳代	83.9	43.7	35.6	35.6	21.8	20.7	25.3	14.9	5.7	10.3	3.4	0.0	6.9	0.0	1.1	87
	70歳以上	66.0	48.5	23.3	29.1	26.2	32.0	23.3	12.6	15.5	7.8	2.9	1.0	5.8	5.8	5.8	103
地 出 生	名古屋市	66.0	57.2	33.2	33.2	27.8	21.4	17.1	7.0	12.3	6.4	5.9	0.8	7.0	3.7	0.8	374
	名古屋市以外	64.5	48.9	43.5	24.2	24.0	20.2	15.5	15.5	10.4	10.6	5.6	0.7	9.6	3.1	2.4	425
居住歴別	5年未満	54.4	40.4	42.1	10.5	14.0	17.5	5.3	12.3	7.0	5.3	8.8	1.8	12.3	5.3	1.8	57
	5年以上10年未満	58.9	51.8	58.9	19.6	25.0	12.5	7.1	25.0	5.4	8.9	5.4	0.0	14.3	0.0	0.0	56
	10年以上20年未満	67.0	50.5	51.6	22.0	24.2	18.7	18.7	18.7	5.5	11.0	6.6	0.0	11.0	4.4	0.0	91
	20年以上30年未満	59.8	57.7	48.5	30.9	27.8	16.5	16.5	13.4	9.3	8.2	8.2	1.0	6.2	2.1	3.1	97
	30年以上	67.2	53.9	32.2	31.8	27.2	23.5	18.5	8.0	14.5	8.7	4.8	0.8	7.2	3.6	1.8	497
名古屋の自慢で	たくさんある	62.1	39.7	31.0	31.0	19.0	13.8	12.1	5.2	6.9	10.3	1.7	3.4	19.0	5.2	3.4	58
	いくつかはある	70.1	50.6	37.4	32.1	24.2	19.5	15.7	9.4	10.1	9.4	5.3	0.3	8.8	2.2	0.6	318
	あまりない	62.6	62.9	44.6	27.7	30.9	24.1	20.1	16.2	13.3	9.4	8.3	0.7	7.9	2.9	0.4	278
	まったくない	45.5	45.5	36.4	36.4	18.2	36.4	27.3	36.4	27.3	18.2	27.3	9.1	27.3	9.1	9.1	11
	わからない	54.1	42.3	35.1	14.4	23.4	16.2	9.0	7.2	8.1	3.6	1.8	0.0	3.6	6.3	4.5	111

* 「名古屋の自慢できること」(問9) については、P.45 参照

(単位：%)

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和4年度	夏が蒸し暑い 65.0%	観光名所が少ない 53.0%	交通マナーが悪い 38.9%	情報発信が上手くない 28.3%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 26.0%
令和3年度	夏が蒸し暑い 63.8%	観光名所が少ない 48.9%	交通マナーが悪い 41.6%	情報発信が上手くない 30.9%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 25.9%
令和2年度	夏が蒸し暑い 68.3%	観光名所が少ない 51.6%	交通マナーが悪い 42.0%	情報発信が上手くない 33.2%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 26.7%
令和元年度	夏が蒸し暑い 63.6%	観光名所が少ない 53.0%	交通マナーが悪い 45.0%	情報発信が上手くない 28.3%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 27.4%
平成30年度	夏が蒸し暑い 66.6%	観光名所が少ない 54.9%	交通マナーが悪い 43.1%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 31.4%	情報発信が上手くない 26.6%
平成29年度	夏が蒸し暑い 60.1%	観光名所が少ない 56.6%	交通マナーが悪い 45.1%	情報発信が上手くない 29.5%	東京と大阪のはざ間で 存在感がない 29.0%

【上位5項目の経年比較】

令和元年度以降、上位5項目に変化は見られません。

【性別比較】

「夏が蒸し暑い」と答えた人の割合は、女性（69.9%）の方が、男性（57.2%）より、12.7ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「交通マナーが悪い」と答えた人の割合は、20歳代が61.0%と最も高く、70歳以上では23.1%と最も低くなっています。

【性・年代別比較】

「夏が蒸し暑い」と答えた人の割合は、10歳代女性（100.0%）の方が、20歳代男性（36.4%）より、54.7ポイント高くなっています。

【出生地別比較】

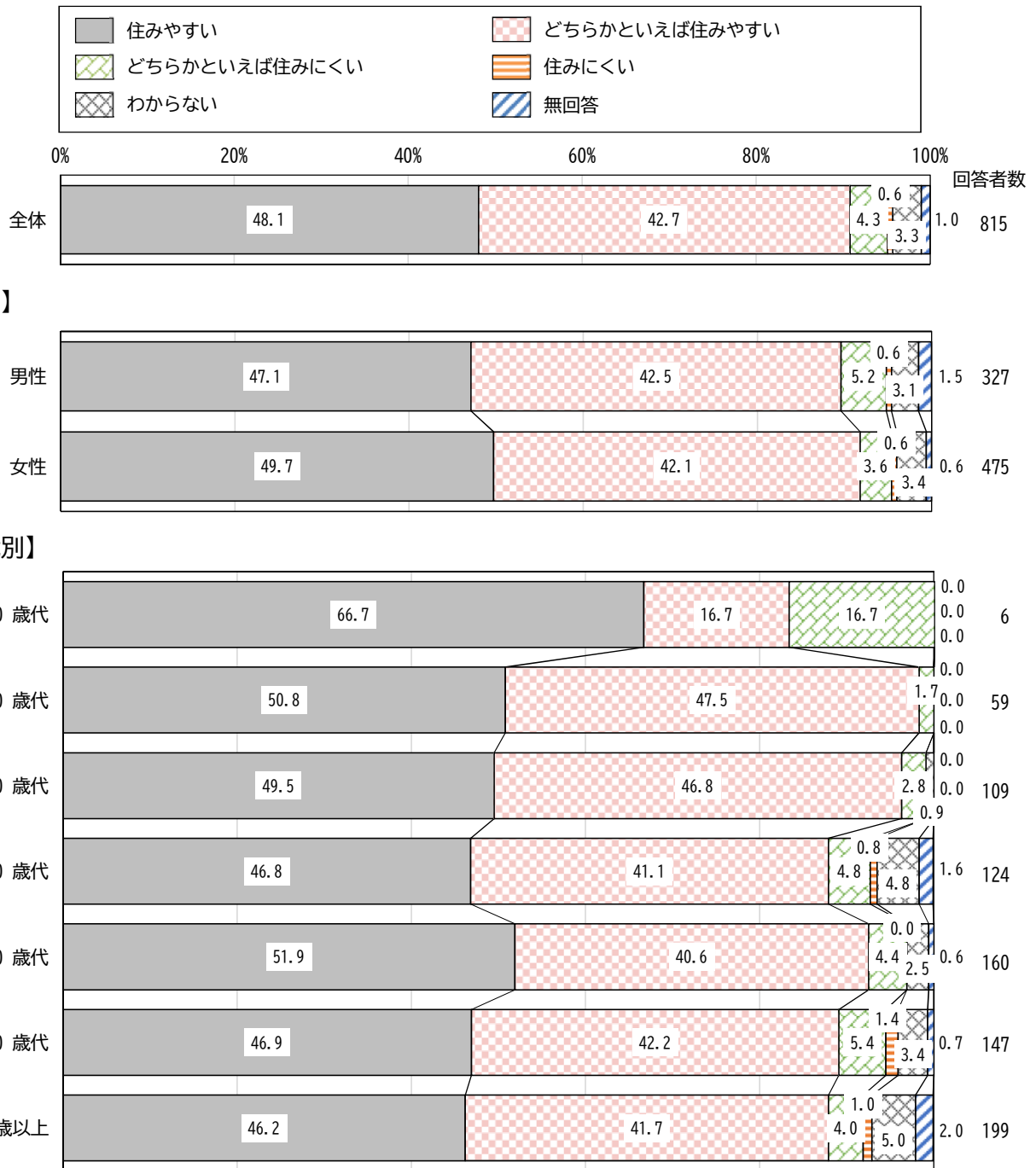
「情報発信が上手くない」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（33.2%）の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人（24.2%）より、9.0ポイント高くなっています。

一方、「交通マナーが悪い」と答えた人の割合は、名古屋市以外から引っ越してきた人（43.5%）の方が、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（33.2%）より、10.3ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

「情報発信が上手くない」と答えた人の割合は、30年以上（31.8%）の方が、5年未満（10.5%）より、21.3ポイント高くなっています。

(3) 名古屋の住みやすさ (問3・SA)



◆ 名古屋が「住みやすい」と思うかとたずねたところ、「住みやすい」と答えた人は48.1%、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人は42.7%で、あわせると、名古屋が住みやすいと思う人は約9割（90.8%）でした。

一方、「住みにくい」と答えた人は0.6%、「どちらかといえば住みにくい」と答えた人は4.3%で、あわせると、名古屋が住みにくいと思う人は1割未満（4.9%）でした。

【性別比較】

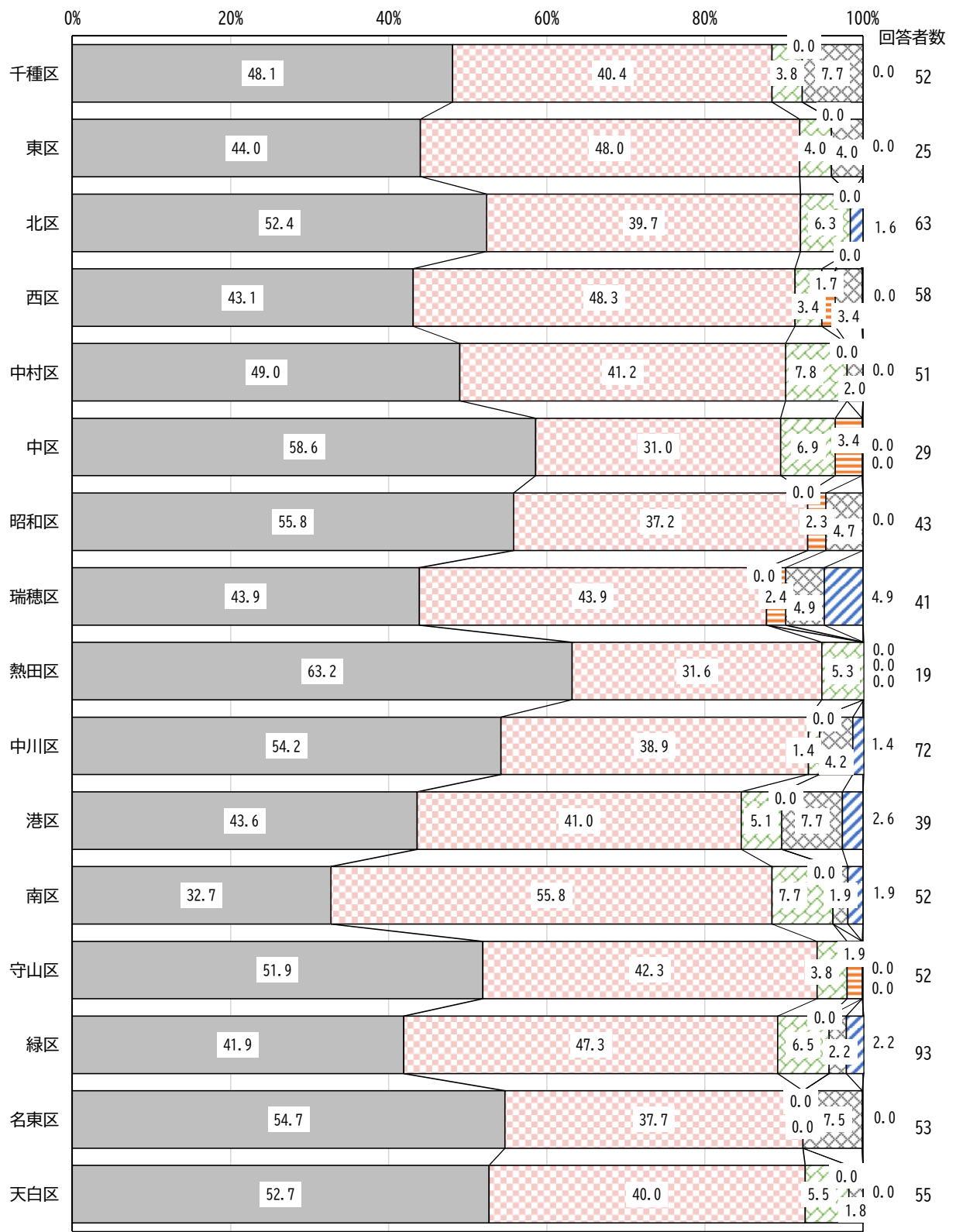
大きな差はみられませんでした。

【年代別比較】

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は、20歳代(98.3%)の方が、10歳代(83.4%)より、14.9ポイント高くなっています。



【居住区別】

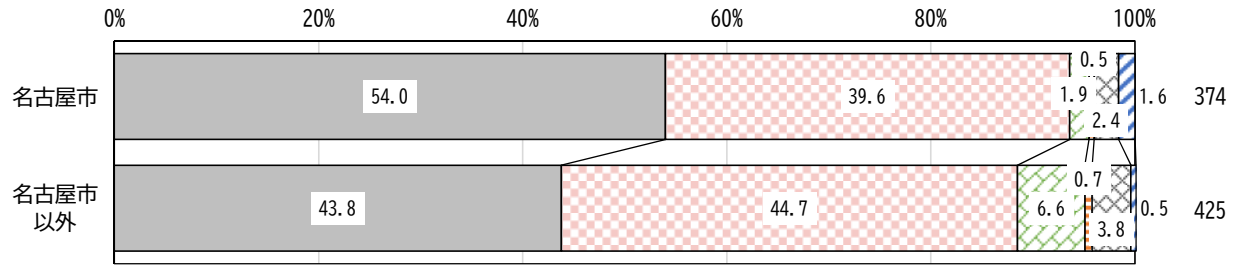


【居住区別比較】

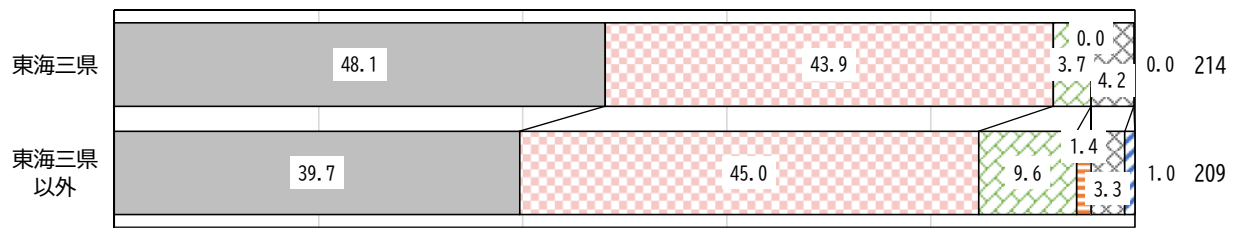
「住みやすい」と答えた人は、熱田区（63.2%）の方が、南区（32.7%）より、30.5ポイント高くなっています。



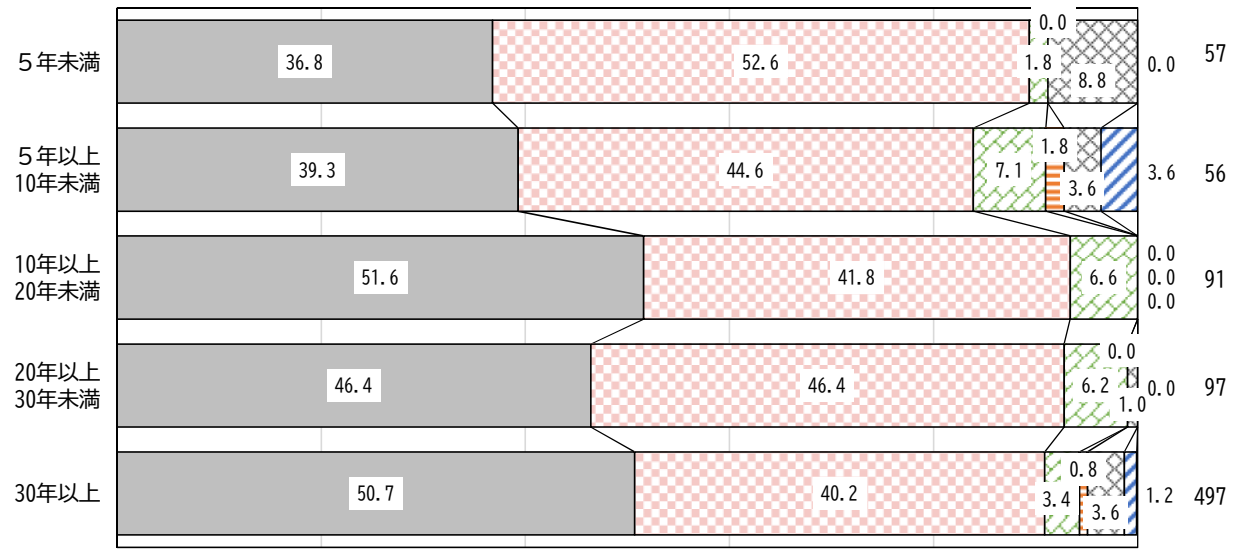
【出生地別】



【転居前の居住地別】



【居住歴別】



【出生地別比較】

「住みやすい」と答えた人は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（54.0%）の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人（43.8%）より、10.2ポイント高くなっています。

【転居前の居住地別比較】

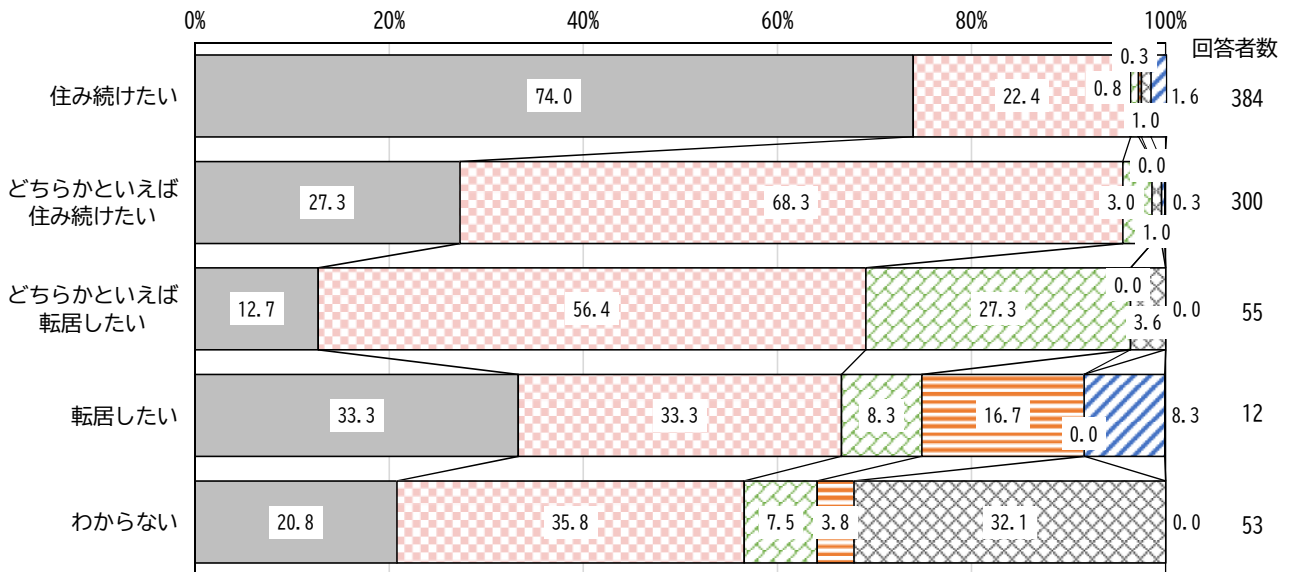
「住みやすい」と答えた人は、転居前は東海三県に住んでいた人（48.1%）の方が、転居前は東海三県以外に住んでいた人（39.7%）より、8.4ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

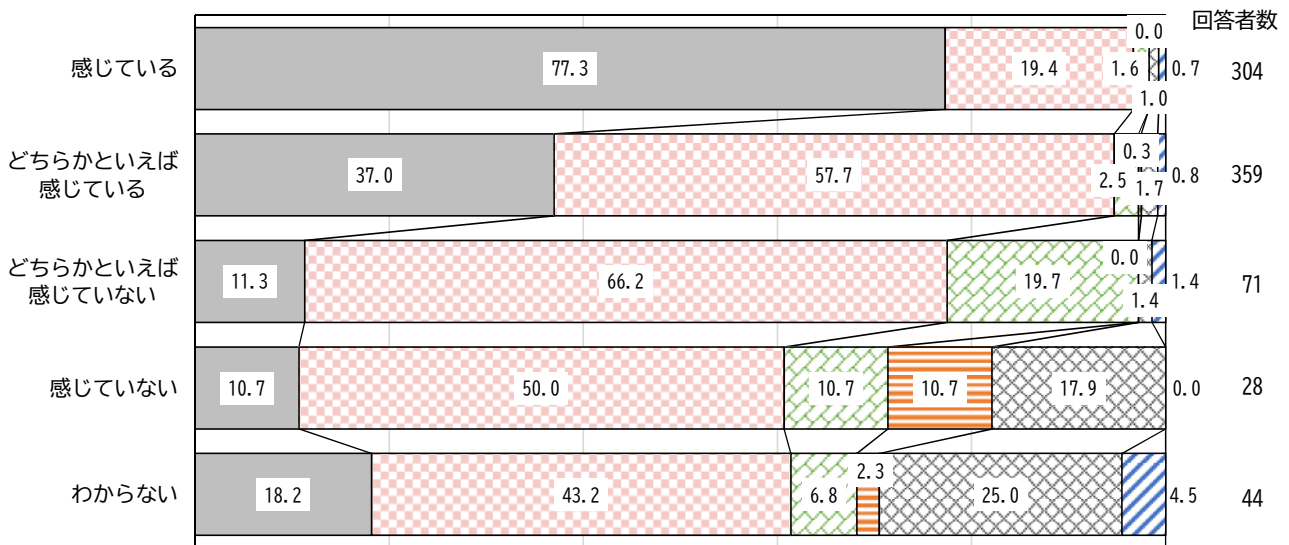
「住みやすい」と答えた人は、10年以上20年未満（51.6%）の方が、5年未満（36.8%）より、14.8ポイント高くなっています。



【今の地域での居留意向別】



【名古屋への愛着度別】



【問6 今の地域での居留意向】別比較 (*)】

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は、今の地域に住み続けたい人 (96.4%) の方が、今の地域から転居したい人 (66.6%) より、29.8 ポイント高くなっています。

* 「問6 今の地域での居留意向」については P.31 参照

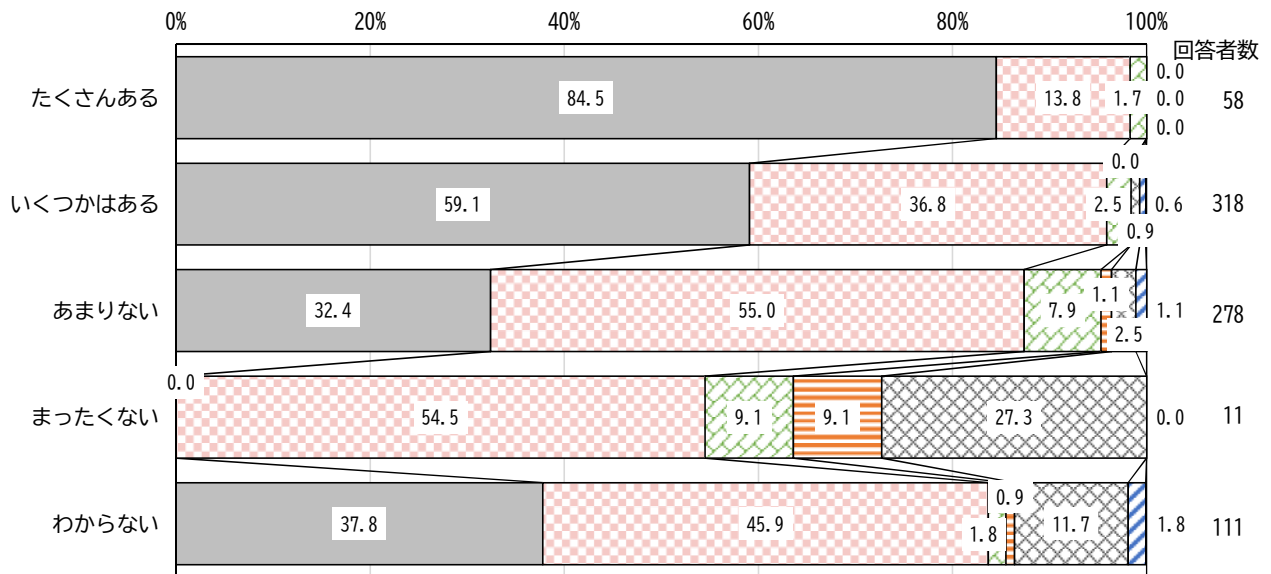
【問8 名古屋への愛着度】別比較 (*)】

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は、名古屋に愛着を感じている人 (96.7%) の方が、愛着を感じていない人 (60.7%) より、36.0 ポイント高くなっています。

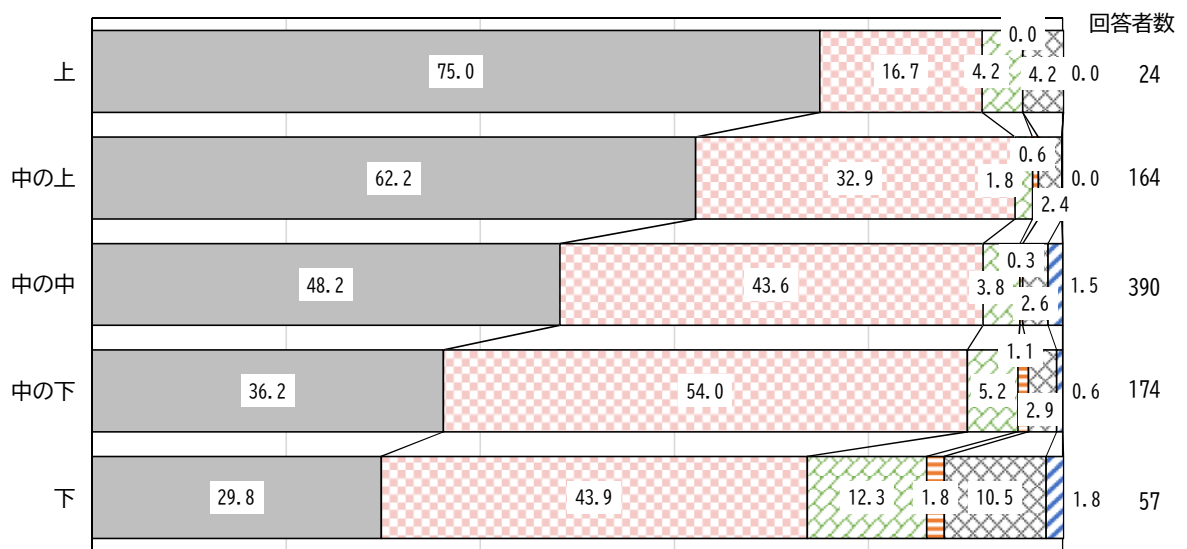
* 「問8 名古屋への愛着度」については P.38 参照



【名古屋の自慢できること別】



【家庭の生活の程度別】



【問9 名古屋の自慢できること」別比較（*）】

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は、名古屋を自慢できることがたくさんあると答えた人で 98.3%、いくつかある人と答えた人で 95.9%であるのに対して、自慢できることがまったくないと答えた人は 54.5%でした。

* 「問9 名古屋の自慢できること」については P. 45 参照

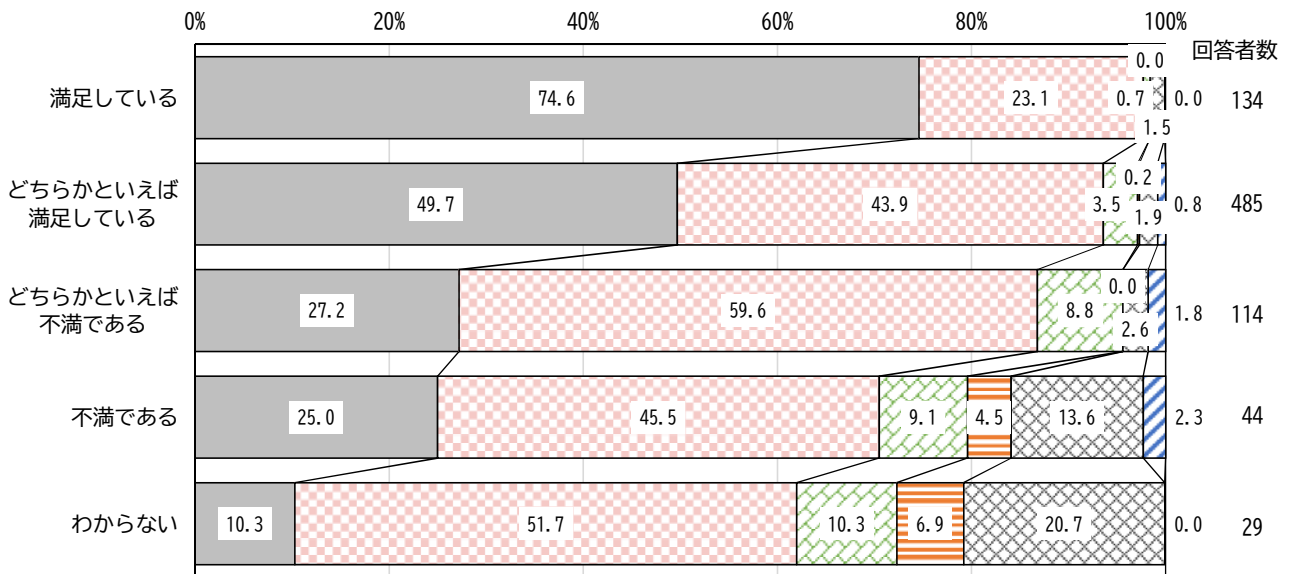
【問12 家庭の生活の程度」別比較（*）】

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は、家庭の生活の程度が「中の上」だと思える人（95.1%）の方が、生活の程度が「下」だと思える人（73.7%）より、21.4ポイント高くなっています。

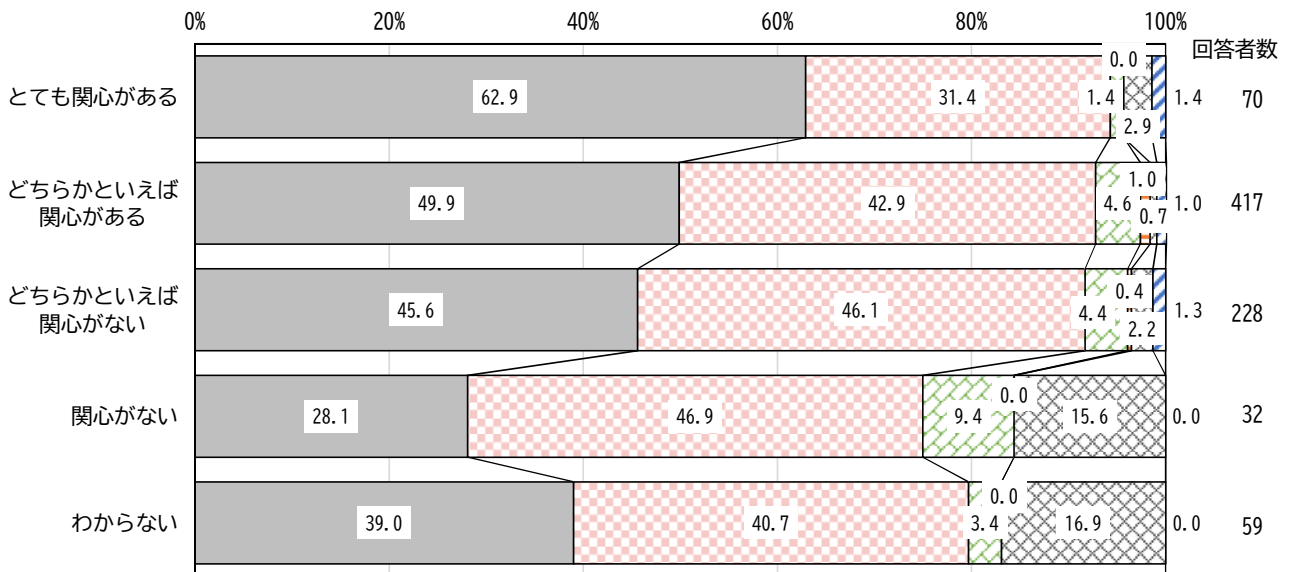
* 「問12 家庭の生活の程度」については P. 53 参照



【生活の満足度別】



【市政への関心別】



【「問 13 生活の満足度」別比較 (*)】

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は、生活に満足している人 (97.7%) の方が、不満である人 (70.5%) より、27.2 ポイント高くなっています。

* 「問 13 生活の満足度」については P.55 参照

【「問 16 市政への関心」別比較 (*)】

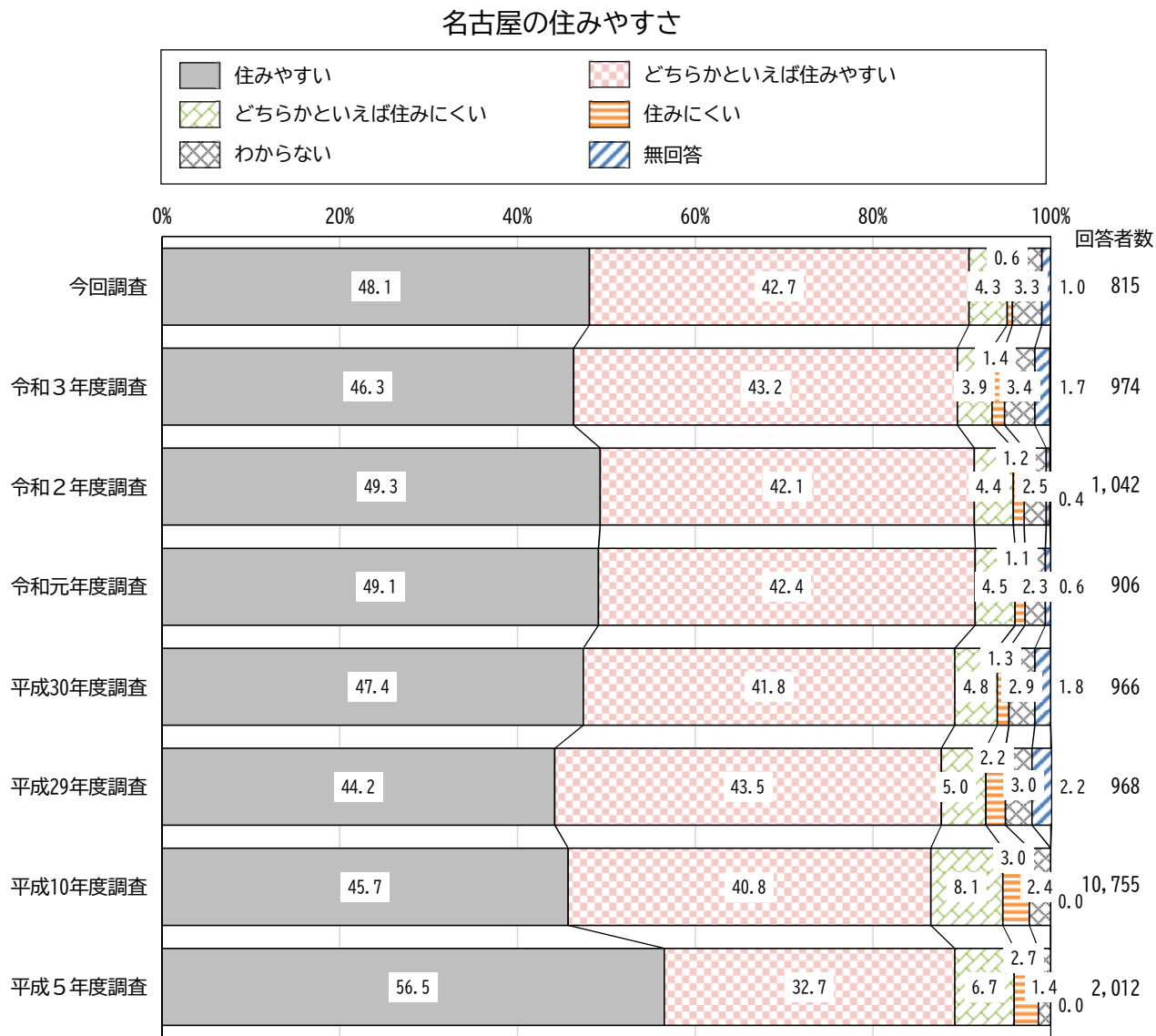
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は、市政にとても関心があると答えた人 (94.3%) の方が、市政にまったく関心がないと答えた人 (75.0%) より、19.3 ポイント高くなっています。

* 「問 16 市政への関心」については P.64 参照

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 調査方法や標本数が異なるため単純な増減の比較はできませんが、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と答えた人をあわせた割合は90.8%で、過去の調査から大きな変化は見られませんでした。



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成5年度）

名古屋市「市民2万人アンケート」（平成10年度）

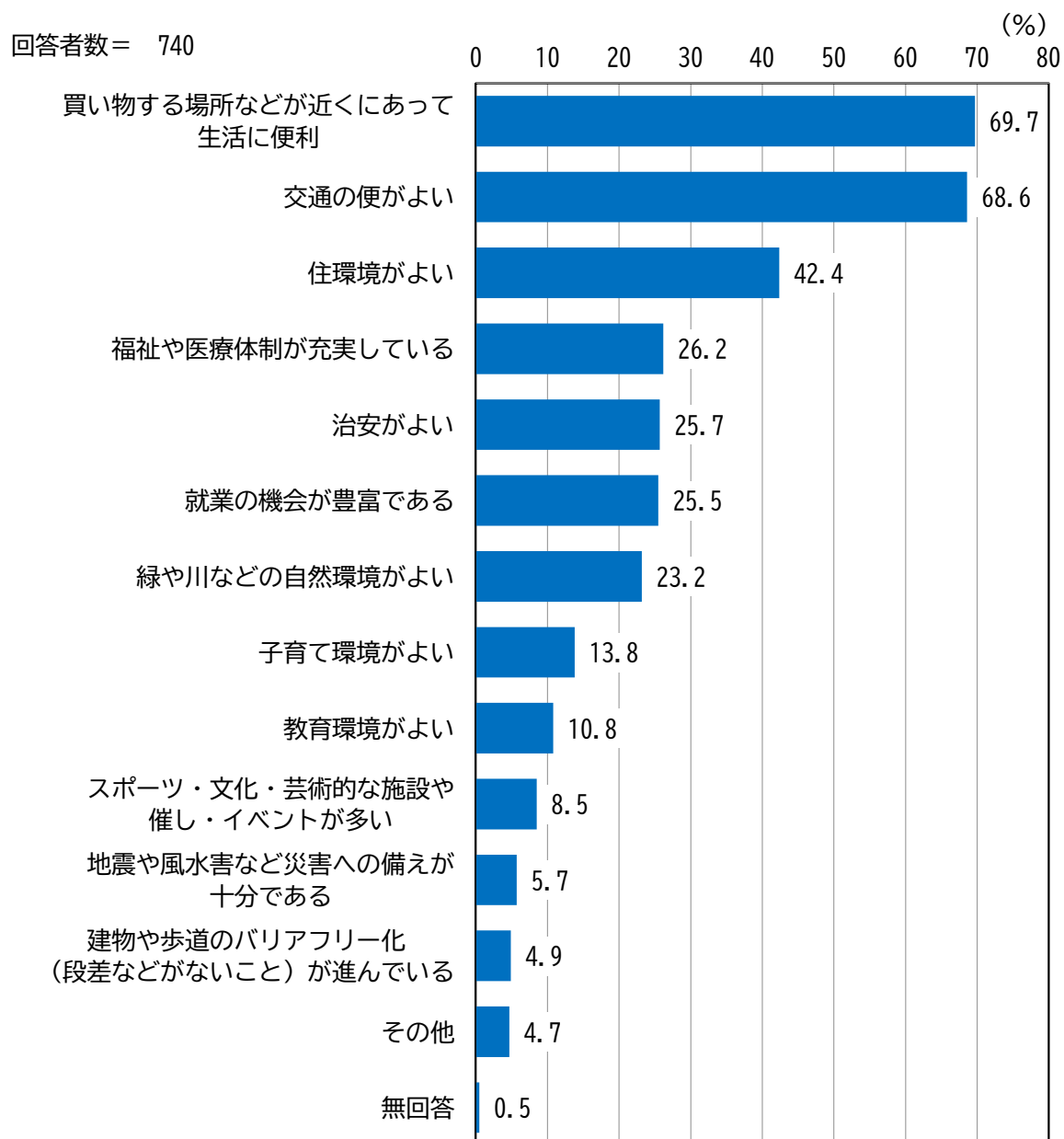
名古屋市「市政世論調査」

（平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度

（今回の調査）

※各調査の詳細はP. 3参照

(4) 住みやすい点 (問4・MA)



- ◆ 名古屋が住みやすいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「买东西する場所などが近くにある生活に便利」(69.7%)と答えた人が約7割と多く、次いで「交通の便がよい」(68.6%)、「住環境がよい」(42.4%)と続いています。

		生活に便利	買い物する場所などが近くにあって	交通の便がよい	住環境がよい	福祉や医療体制が充実している	治安がよい	就業の機会が豊富である	緑や川などの自然環境がよい	子育て環境がよい	教育環境がよい	催し・イベントが多い	スポーツ・文化・芸術的な施設や	地震や風水害など災害への備えが十分である	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が進んでいる	その他	無回答	回答者数
全体		69.7	68.6	42.4	26.2	25.7	25.5	23.2	13.8	10.8	8.5	5.7	4.9	4.7	0.5	740		
性別	男性	67.2	68.6	48.1	29.4	29.7	29.0	26.3	15.0	13.7	10.2	6.5	5.8	3.1	0.3	293		
	女性	71.6	68.8	37.8	23.9	22.9	23.6	21.3	12.8	8.7	7.3	5.3	3.9	6.0	0.7	436		
年代別	10歳代	60.0	80.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5		
	20歳代	74.1	72.4	41.4	17.2	12.1	37.9	19.0	6.9	8.6	12.1	6.9	3.4	0.0	0.0	58		
	30歳代	69.5	71.4	39.0	15.2	14.3	34.3	14.3	20.0	9.5	8.6	1.9	4.8	2.9	1.0	105		
	40歳代	70.6	66.1	34.9	22.0	11.9	21.1	20.2	18.3	8.3	7.3	2.8	0.9	4.6	0.0	109		
	50歳代	66.9	65.5	49.3	18.9	24.3	29.7	29.1	15.5	8.1	9.5	6.1	4.7	9.5	0.0	148		
	60歳代	71.0	67.9	43.5	35.1	37.4	28.2	22.1	13.0	16.0	10.7	6.1	6.1	3.1	0.0	131		
	70歳以上	70.9	70.9	42.3	37.7	38.9	13.7	28.0	9.1	12.0	5.7	9.1	6.9	4.6	1.7	175		
居住区別	千種区	69.6	80.4	54.3	23.9	43.5	26.1	30.4	21.7	23.9	8.7	2.2	2.2	2.2	0.0	46		
	東区	56.5	91.3	47.8	13.0	21.7	26.1	4.3	17.4	8.7	8.7	0.0	4.3	8.7	0.0	23		
	北区	67.2	65.5	41.4	19.0	12.1	20.7	17.2	10.3	3.4	5.2	8.6	6.9	1.7	0.0	58		
	西区	71.7	69.8	43.4	17.0	24.5	28.3	26.4	3.8	7.5	9.4	7.5	1.9	3.8	0.0	53		
	中村区	76.1	78.3	19.6	28.3	15.2	34.8	13.0	6.5	6.5	8.7	6.5	8.7	0.0	4.3	46		
	中区	61.5	92.3	42.3	23.1	23.1	11.5	15.4	0.0	7.7	7.7	15.4	3.8	7.7	0.0	26		
	昭和区	57.5	75.0	60.0	20.0	40.0	25.0	10.0	20.0	17.5	5.0	12.5	5.0	5.0	0.0	40		
	瑞穂区	58.3	75.0	41.7	30.6	22.2	27.8	25.0	22.2	13.9	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	36		
	熱田区	83.3	83.3	38.9	50.0	22.2	11.1	11.1	16.7	11.1	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	18		
	中川区	73.1	68.7	31.3	26.9	22.4	20.9	22.4	10.4	6.0	9.0	0.0	4.5	7.5	0.0	67		
	港区	72.7	63.6	30.3	39.4	27.3	39.4	30.3	24.2	6.1	9.1	21.2	9.1	6.1	0.0	33		
	南区	69.6	67.4	26.1	21.7	19.6	28.3	26.1	6.5	4.3	10.9	2.2	2.2	13.0	2.2	46		
	守山区	65.3	57.1	32.7	24.5	30.6	16.3	34.7	8.2	8.2	8.2	6.1	0.0	4.1	0.0	49		
	緑区	77.1	56.6	48.2	27.7	26.5	27.7	20.5	20.5	15.7	4.8	1.2	1.2	7.2	1.2	83		
	名東区	69.4	71.4	57.1	32.7	36.7	26.5	36.7	18.4	24.5	18.4	6.1	8.2	4.1	0.0	49		
	天白区	80.4	52.9	56.9	31.4	23.5	35.3	33.3	17.6	7.8	11.8	7.8	15.7	0.0	0.0	51		
地出生別	名古屋市	70.3	68.6	41.1	26.0	28.9	22.3	17.7	12.9	11.7	3.7	6.9	4.6	4.9	0.9	350		
	名古屋市以外	69.7	68.4	43.1	26.3	22.6	29.0	28.7	14.9	9.8	13.3	4.3	5.1	4.5	0.3	376		
居住歴別	5年未満	64.7	80.4	49.0	15.7	13.7	35.3	29.4	9.8	7.8	15.7	5.9	2.0	0.0	0.0	51		
	5年以上10年未満	74.5	63.8	23.4	14.9	4.3	29.8	23.4	17.0	8.5	14.9	0.0	0.0	4.3	0.0	47		
	10年以上20年未満	69.4	74.1	34.1	24.7	17.6	35.3	21.2	22.4	12.9	16.5	2.4	4.7	3.5	0.0	85		
	20年以上30年未満	72.2	67.8	46.7	25.6	20.0	32.2	22.2	12.2	5.6	12.2	5.6	5.6	3.3	0.0	90		
	30年以上	69.9	67.3	44.0	28.8	31.9	21.2	23.5	12.8	12.2	5.1	7.1	5.5	5.8	0.9	452		

(単位：%)

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和4年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 69.7%	交通の便がよい 68.6%	住環境がよい 42.4%	福祉や医療体制が充実している 26.2%	治安がよい 25.7%
令和3年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 71.0%	交通の便がよい 65.4%	住環境がよい 37.6%	福祉や医療体制が充実している 25.2%	治安がよい 24.5%
令和2年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 72.4%	交通の便がよい 65.7%	住環境がよい 41.0%	就業の機会が豊富である 26.9%	治安がよい 24.2%
令和元年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 66.7%	交通の便がよい 65.9%	住環境がよい 39.0%	就業の機会が豊富である 26.7%	治安がよい 25.1%
平成30年度	買い物する場所などが近くにある生活に便利 69.1%	交通の便がよい 65.1%	住環境がよい 38.9%	治安がよい 28.1%	福祉や医療体制が充実している 25.3%
平成29年度	交通の便がよい 66.9%	買い物する場所などが近くにある生活に便利 66.3%	住環境がよい 39.0%	治安がよい 28.0%	就業の機会が豊富である 25.2%

【上位5項目の経年比較】

上位5項目に変化は見られませんでした。

【性別比較】

「住環境がよい」と答えた人の割合は、男性（48.1%）の方が、女性（37.8%）より、10.3ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「治安がよい」と答えた人の割合は、70歳以上（38.9%）の方が、40歳代（11.9%）より、27.0ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

「交通の便がよい」と答えた人の割合は、中区（92.3%）の方が、天白区（52.9%）より、39.4ポイント高くなっています。

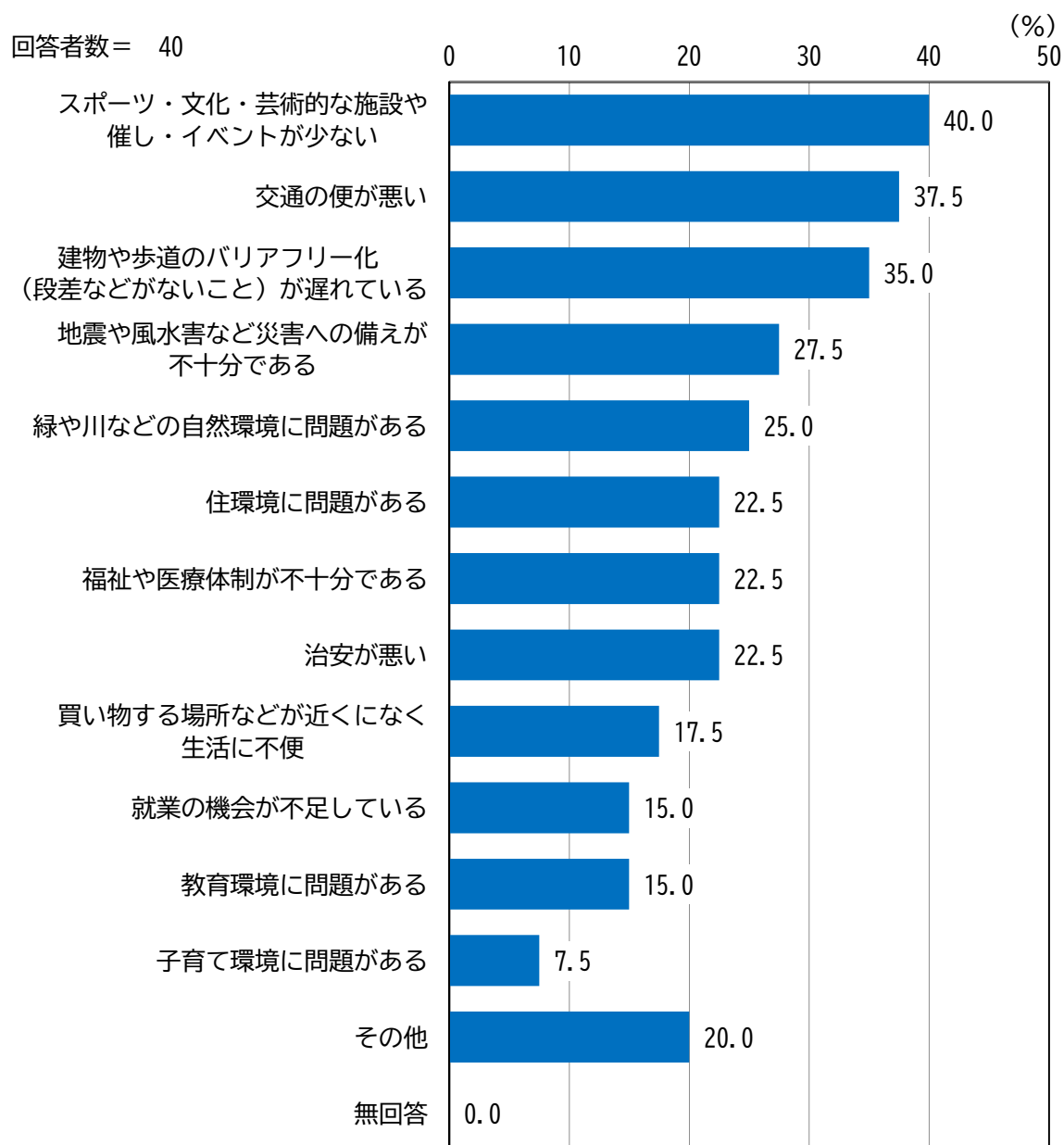
【出生地別比較】

「治安がよい」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（28.9%）の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人（22.6%）より、6.3ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

「交通の便がよい」と答えた人の割合は5年未満（80.4%）が最も高くなっています。

(5) 住みにくい点 (問5・MA)



- ◆ 名古屋が住みにくいと答えた人に、その理由をたずねたところ、「スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない」(40.0%)が約4割となり、次いで「交通の便が悪い」(37.5%)、「建物や歩道のバリアフリー化 (段差などが無いこと) が遅れている」(35.0%)と続いています。

		催し・イベントが 少ない	交通の便が悪い	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている	地震や風水害など災害への備えが不十分である	緑や川などの自然環境に問題がある	住環境に問題がある	福祉や医療体制が不十分である	治安が悪い	買い物する場所などが近くにない	就業の機会が不足している	教育環境に問題がある	子育て環境に問題がある	その他	無回答	回答者数
全体		40.0	37.5	35.0	27.5	25.0	22.5	22.5	22.5	17.5	15.0	15.0	7.5	20.0	0.0	40
性別	男性	52.6	42.1	31.6	26.3	31.6	31.6	21.1	26.3	15.8	5.3	15.8	5.3	26.3	0.0	19
	女性	30.0	35.0	40.0	30.0	20.0	10.0	25.0	20.0	20.0	25.0	15.0	10.0	15.0	0.0	20
年代別	10歳代	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	20歳代	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	30歳代	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	3
	40歳代	42.9	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	28.6	0.0	42.9	0.0	7
	50歳代	14.3	42.9	28.6	28.6	28.6	42.9	42.9	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	42.9	0.0	7
	60歳代	70.0	20.0	60.0	30.0	40.0	10.0	0.0	20.0	10.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	10
	70歳以上	40.0	80.0	30.0	30.0	30.0	30.0	60.0	10.0	40.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10
居住区別	千種区	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2
	東区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1
	北区	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4
	西区	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	3
	中村区	50.0	75.0	50.0	50.0	25.0	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
	中区	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	3
	昭和区	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	1
	瑞穂区	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	熱田区	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	1
	中川区	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	港区	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	南区	25.0	50.0	0.0	25.0	75.0	50.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	4
	守山区	33.3	100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	3
	緑区	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	6
	名東区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	天白区	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	3
地出別	名古屋市	44.4	33.3	55.6	77.8	11.1	22.2	11.1	44.4	33.3	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	9
	名古屋市以外	38.7	38.7	29.0	12.9	29.0	22.6	25.8	16.1	12.9	12.9	19.4	9.7	19.4	0.0	31
居住歴別	5年未満	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	5年以上10年未満	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	5
	10年以上20年未満	33.3	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	6
	20年以上30年未満	33.3	16.7	83.3	50.0	16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	6
	30年以上	42.9	47.6	38.1	33.3	33.3	28.6	28.6	19.0	28.6	19.0	19.0	9.5	14.3	0.0	21

(単位：%)

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和4年度	スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない 40.0%	交通の便が悪い 37.5%	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている 35.0%	地震や風水害など災害への備えが不十分である 27.5%	緑や川などの自然環境に問題がある 25.0%
令和3年度	交通の便が悪い 42.3%	買い物する場所などが近しくなく生活に不便 32.7%	スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない 28.8%	緑や川などの自然環境に問題がある 26.9%	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている 25.0% 治安が悪い 25.0%
令和2年度	交通の便が悪い 37.3%	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている 30.5%	治安が悪い 28.8% スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない 28.8%	福祉や医療体制が不十分である 25.5% 建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている 25.5%	住環境に問題がある 22.0% 買い物する場所などが近しくなく生活に不便 22.0%
令和元年度	交通の便が悪い 39.2%	治安が悪い 31.4%	住環境に問題がある 29.4%		
平成30年度	交通の便が悪い 42.4%	緑や川などの自然環境に問題がある 35.6%	治安が悪い 30.5%	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている 25.4%	福祉や医療体制が不十分である 23.7% 地震や風水害など災害への備えが不十分である 23.7%
平成29年度	交通の便が悪い 49.3%	建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている 36.2%	買い物する場所などが近しくなく生活に不便 34.8%	治安が悪い 29.0%	地震や風水害など災害への備えが不十分である 27.5%

【上位5項目の経年比較】

前回第3位の「スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない」が第1位、前回第1位の「交通の便が悪い」が第2位、前回第5位の「建物や歩道のバリアフリー化（段差などがないこと）が遅れている」が第3位、前回上位5項目外であった「地震や風水害など災害への備えが不十分である」が第4位になっています。

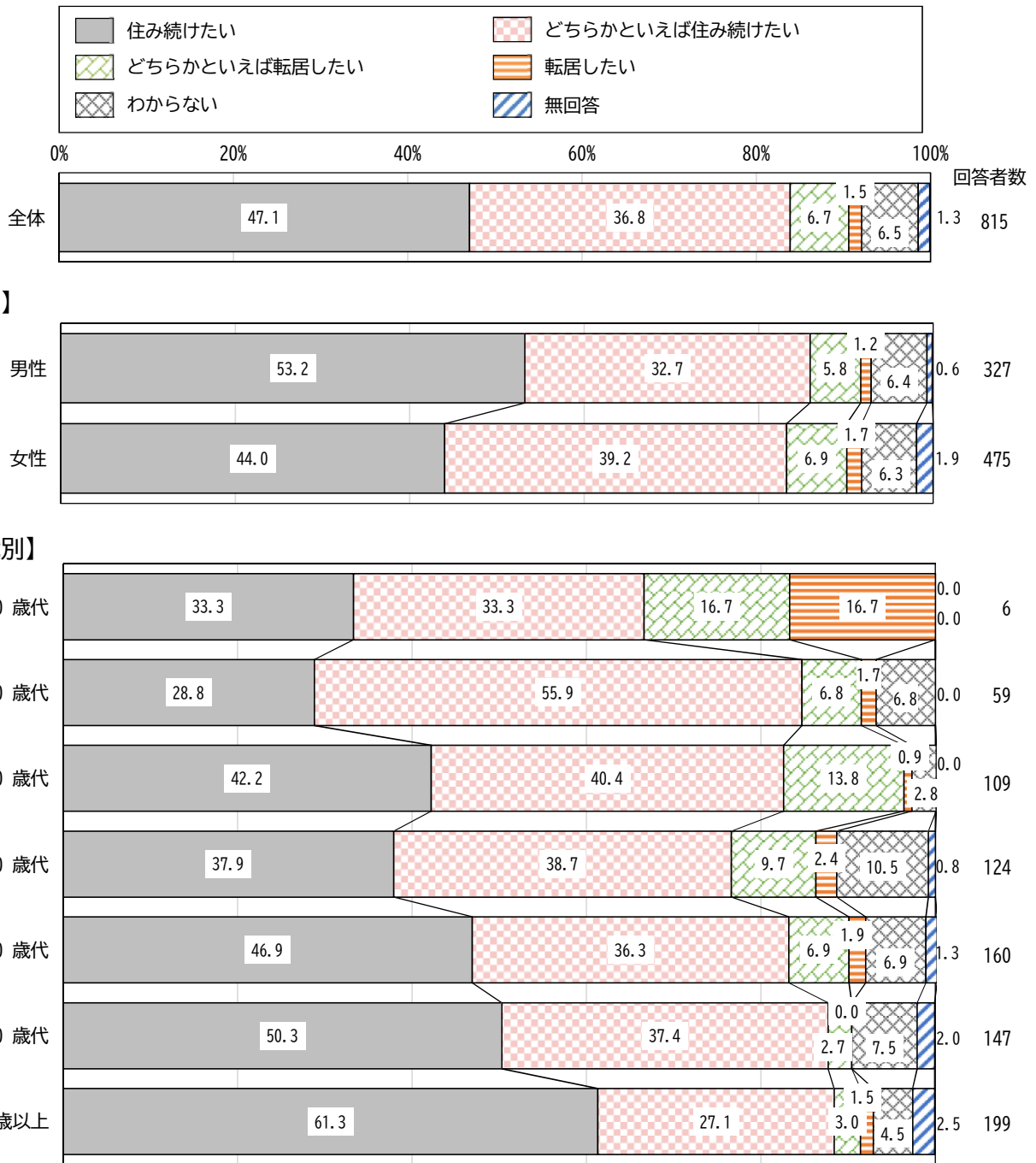
【性別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない」と答えた人の割合は、男性（52.6%）の方が、女性（30.0%）より、22.6ポイント高くなっています。

【出生地別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「地震や風水害など災害への備えが不十分である」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（77.8%）の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人（12.9%）より、64.9ポイント高くなっています。

(6) 今の地域での居留意向 (問6・SA)



◆ 今の地域にずっと住み続けたいかとたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人は 47.1%、「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人は 36.8%で、あわせると、今の地域に住み続けたい人は8割以上 (83.9%) でした。

一方、「転居したい」と答えた人は 1.5%、「どちらかといえば転居したい」と答えた人は 6.7%で、あわせると、転居したい人は約1割 (8.2%) でした。

【性別比較】

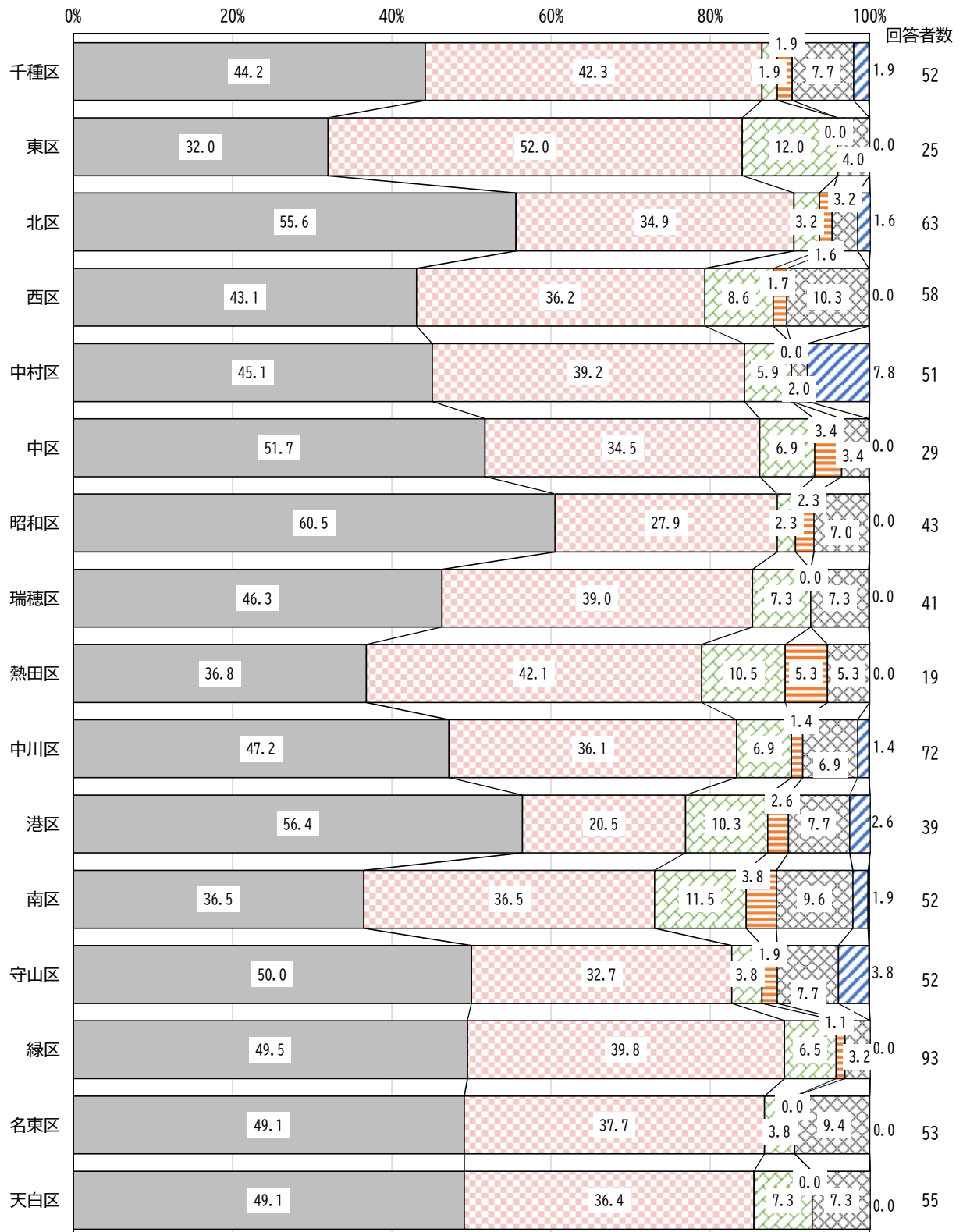
大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人をあわせた割合は、70歳以上 (88.4%) の方が、10歳代 (66.6%) より、21.8ポイント高くなっています。



【居住区別】

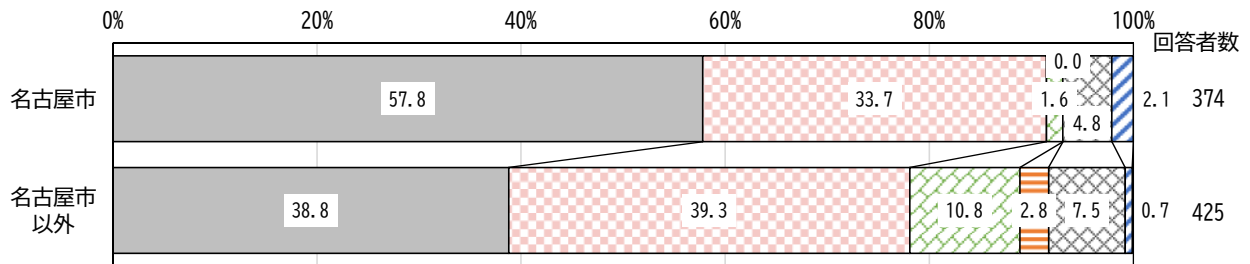


【居住区別比較】

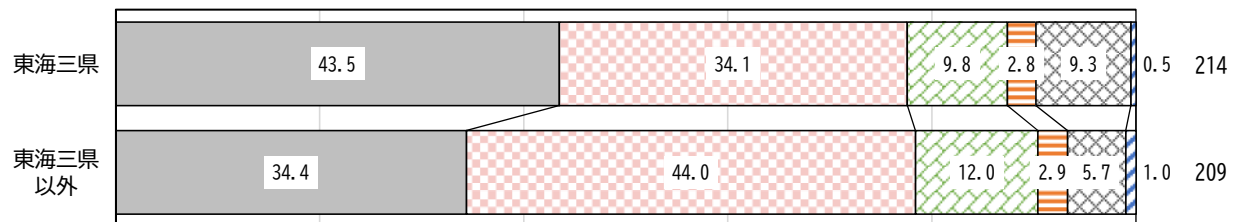
「住み続けたい」と「どちらかといえば住みつづけたい」と答えた人をあわせた割合は、北区（90.5%）の方が、南区（73.0%）より、17.5ポイント高くなっています。



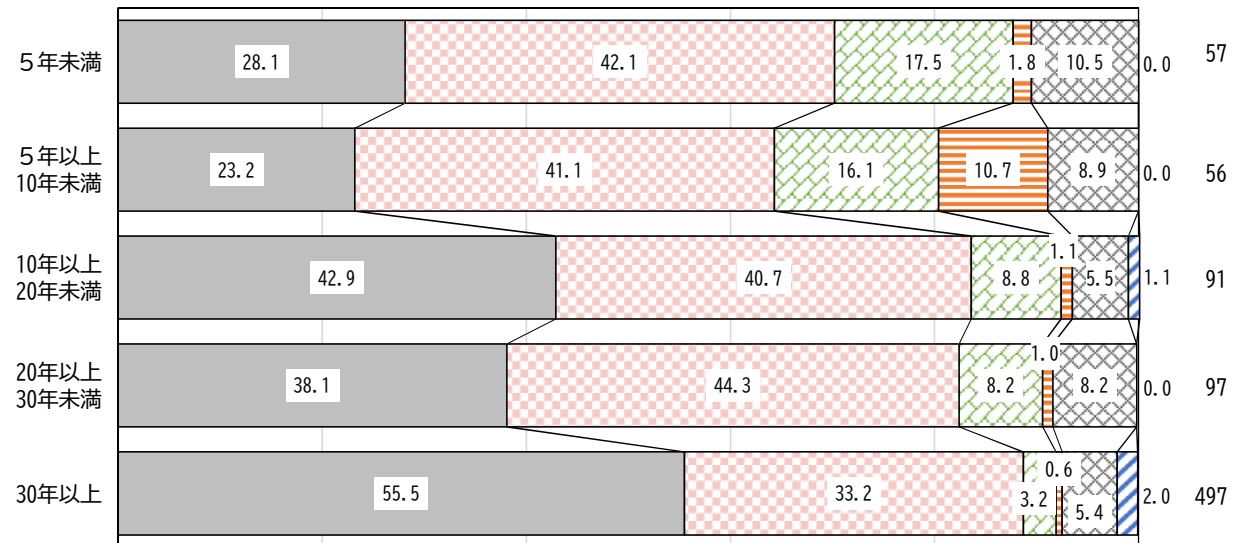
【出生地別】



【転居前の居住地別】



【居住歴別】



【出生地別比較】

「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人をあわせた割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人(91.5%)の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人(78.1%)より、13.4ポイント高くなっています。

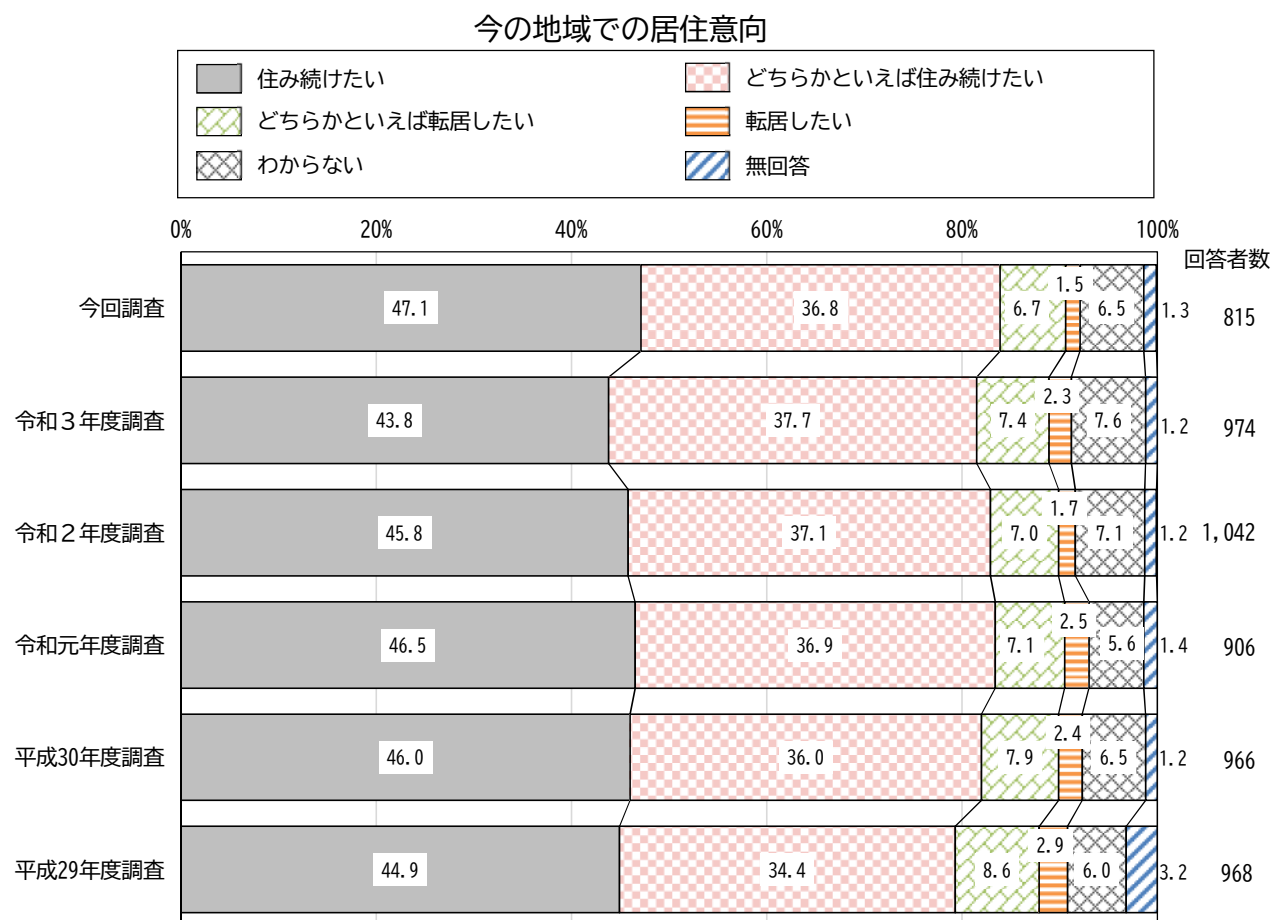
【居住歴別比較】

「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人をあわせた割合は、30年以上(88.7%)の方が、5年以上10年未満(64.3%)より、24.4ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 今の地域に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人をあわせた割合は83.9%で、過去の調査から大きな変化は見られませんでした。



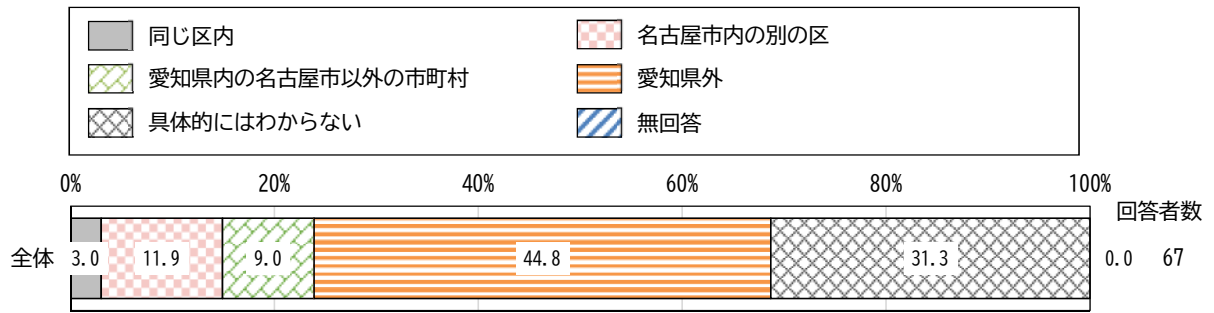
資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度

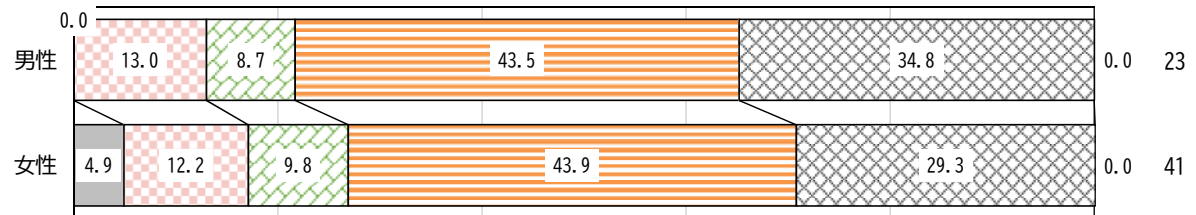
(今回の調査))

※各調査の詳細はP. 3参照

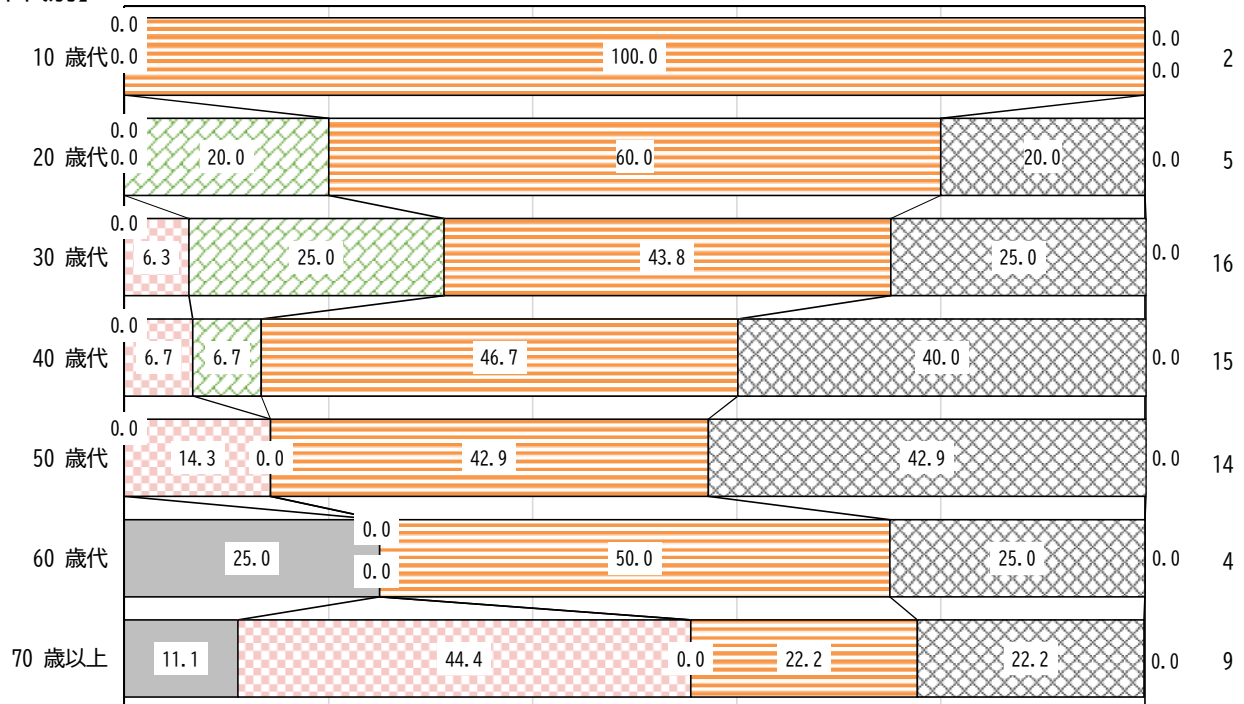
(7) 転居したい地域 (問7・SA)



【性別】



【年代別】



◆ 今の地域から転居したいと答えた人に、どこに転居したいかとたずねたところ、「愛知県外」(44.8%)と答えた人が最も多く、次いで「具体的にはわからない」(31.3%)、「名古屋市内の別の区」(11.9%)と続いています。

【性別比較】

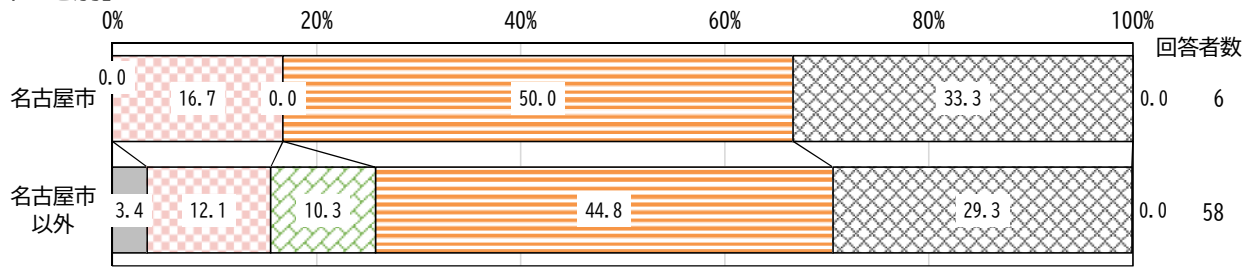
標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「具体的にはわからない」と答えた人は、男性(34.8%)の方が、女性(29.3%)より、5.5ポイント高くなっています。

【年代別比較】

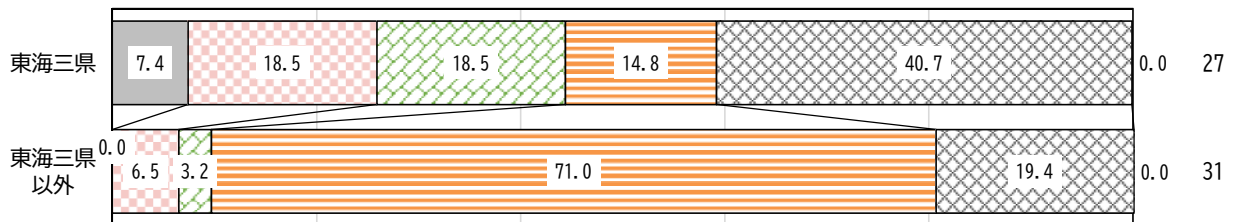
標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「愛知県外」と答えた人の割合は、10歳代(100.0%)の方が、70歳以上(22.2%)より、77.8ポイント高くなっています。



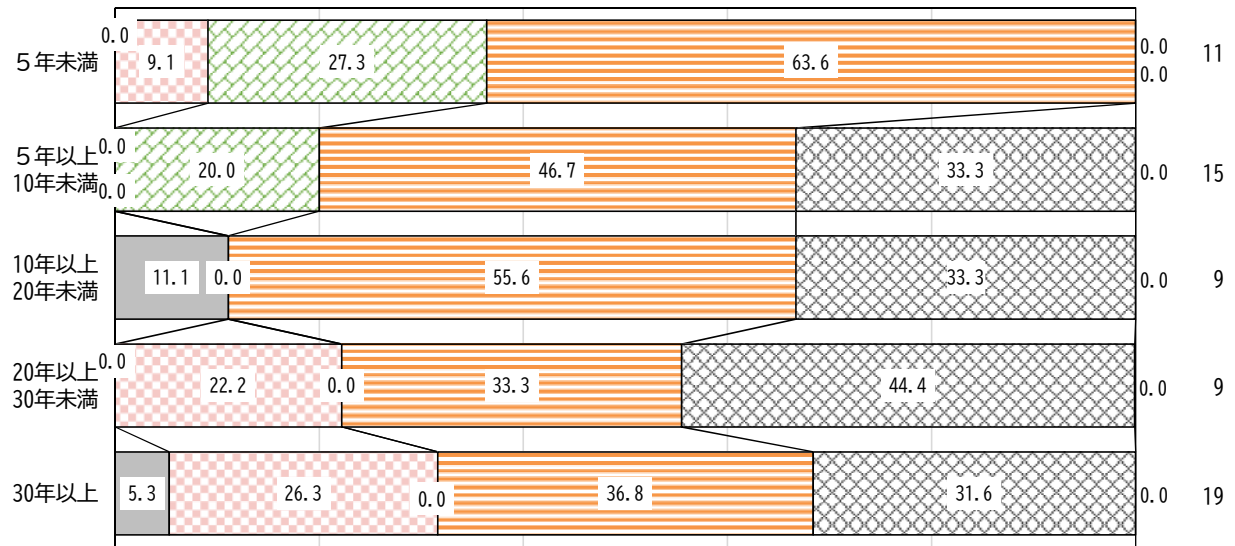
【出生地別】



【転居前の居住地別】



【居住歴別】



【出生地別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「愛知県外」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（50.0%）の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人（44.8%）より、5.2ポイント高くなっています。

転居前の居住地別比較では、「愛知県外」と答えた人の割合は、東海三県以外から引っ越してきた人（71.0%）の方が、東海三県（愛知・岐阜・三重）から引っ越してきた人（14.8%）より、56.2ポイント高くなっています。

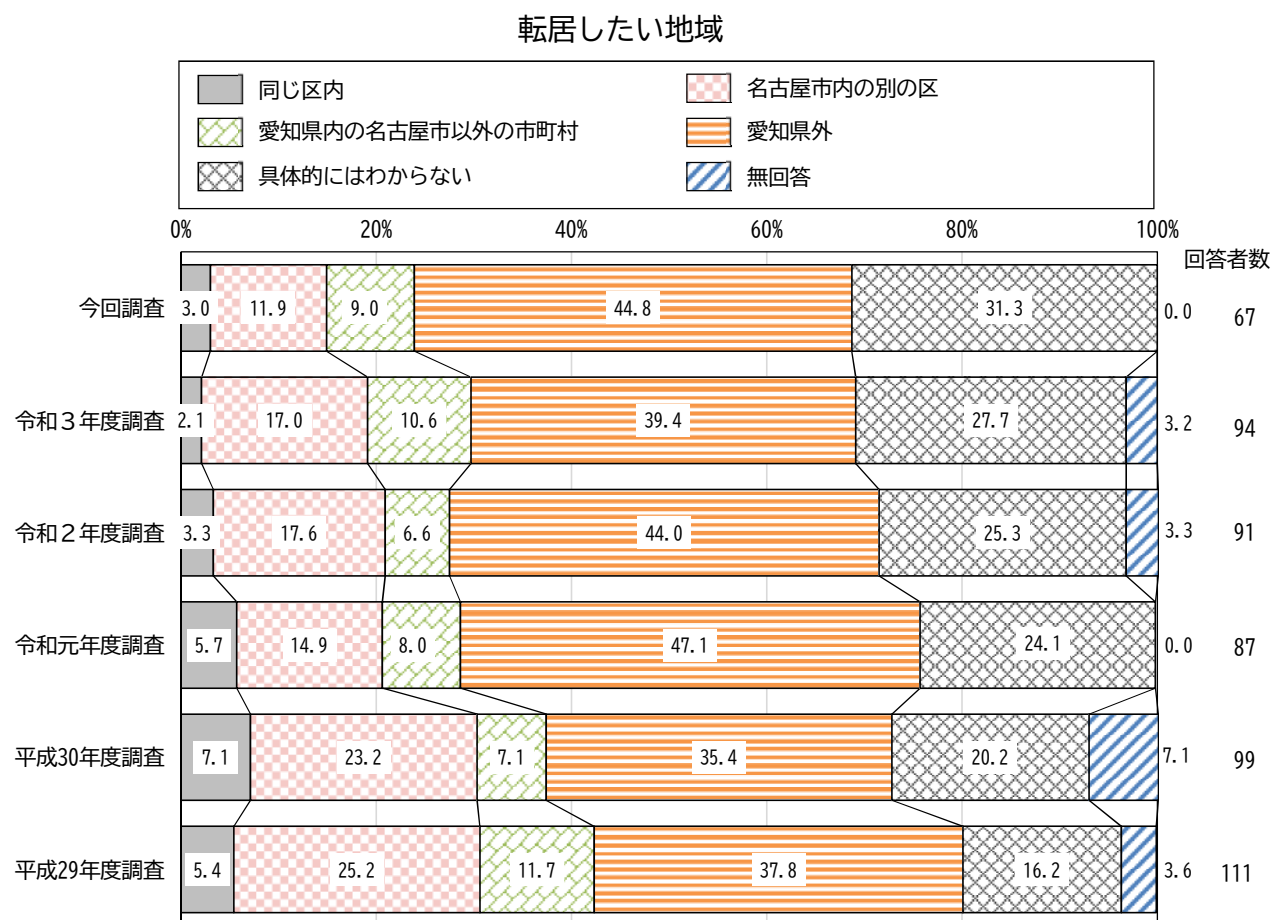
【居住歴別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「愛知県外」と答えた人の割合は、5年未満（63.6%）の方が、20年以上30年未満（33.3%）より、30.3ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 標本数が少ないため比較は難しいですが、転居したいところを「愛知県外」と答えた人の割合は、前回の調査（39.4%）より、今回の調査（44.8%）の方が、5.4ポイント高くなっています。

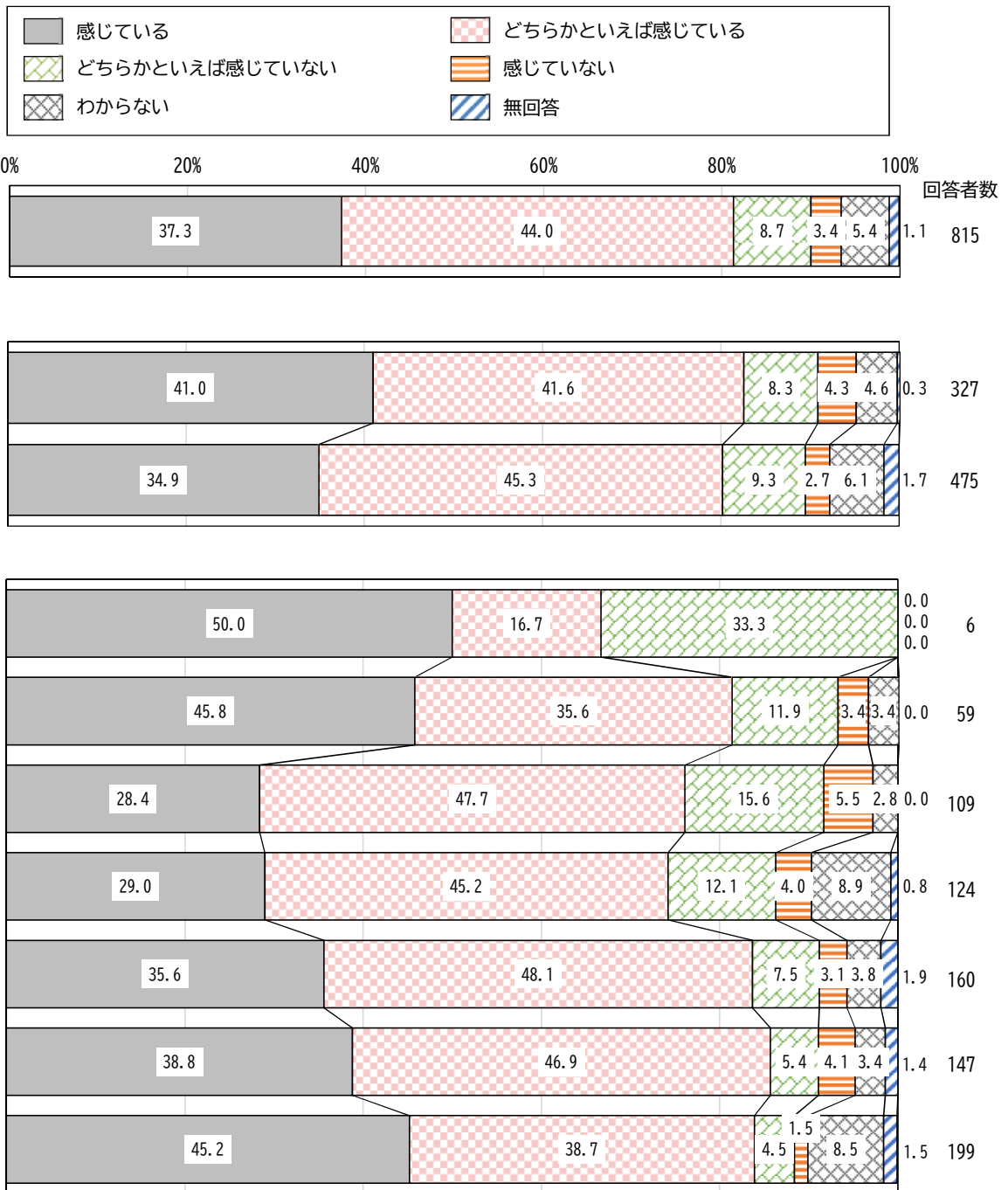


資料：名古屋市「市政世論調査」

（平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度
（今回の調査））

※各調査の詳細はP. 3参照

(8) 名古屋への愛着度 (問8・SA)



◆ 名古屋に「自分のまち」としての「愛着」を感じているかとたずねたところ、「感じている」と答えた人は37.3%、「どちらかといえば感じている」と答えた人は44.0%で、あわせると、名古屋に愛着を感じている人は約8割（81.3%）でした。

一方、「感じていない」と答えた人は3.4%、「どちらかといえば感じていない」と答えた人は8.7%で、あわせると、名古屋に愛着を感じていない人は約1割（12.1%）でした。

【性別比較】

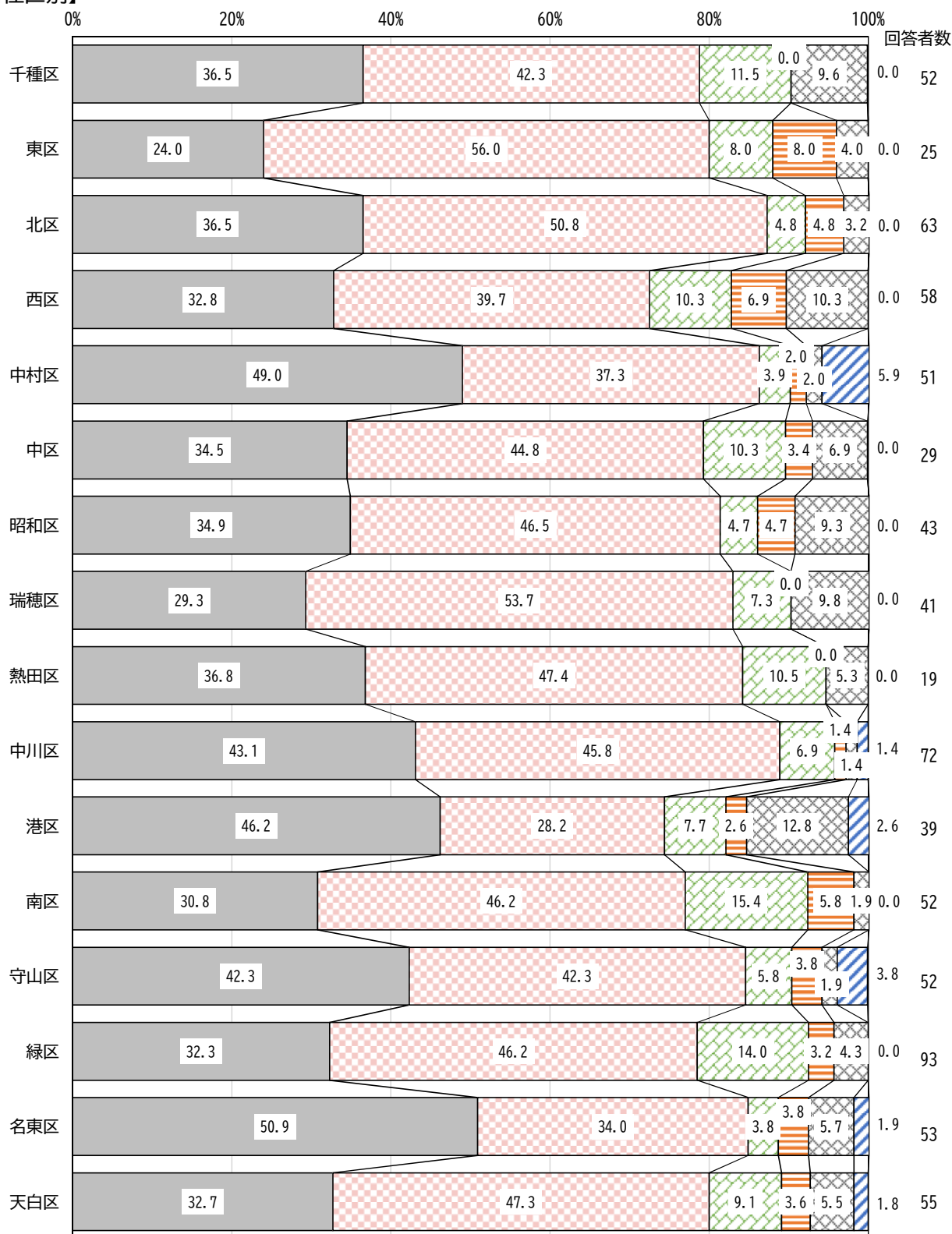
大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、60歳代（85.7%）の方が、10歳代（66.7%）より、19.0ポイント高くなっています。



【居住区別】

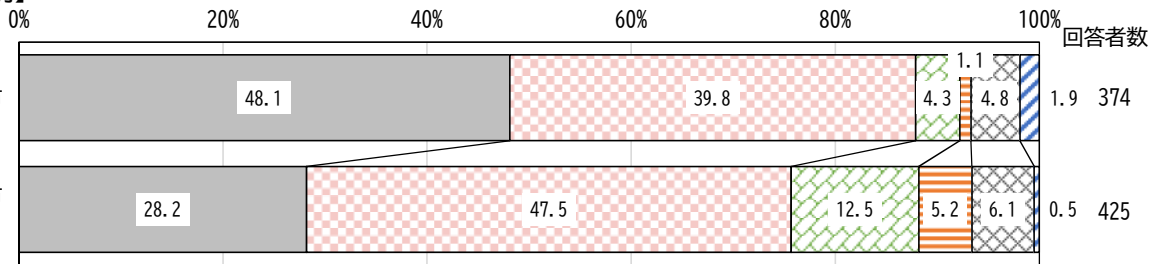


【居住区別比較】

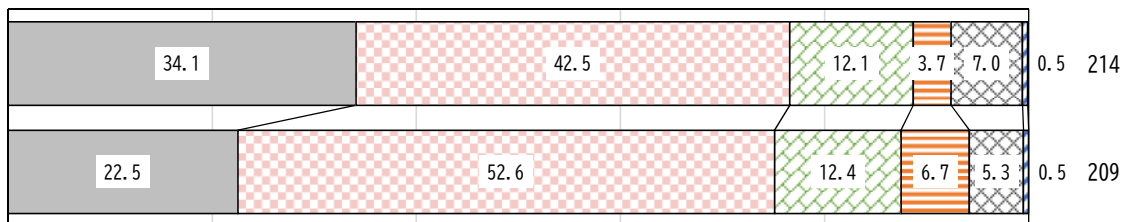
愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、中川区（88.9%）の方が、西区（72.5%）より、16.4ポイント高くなっています。



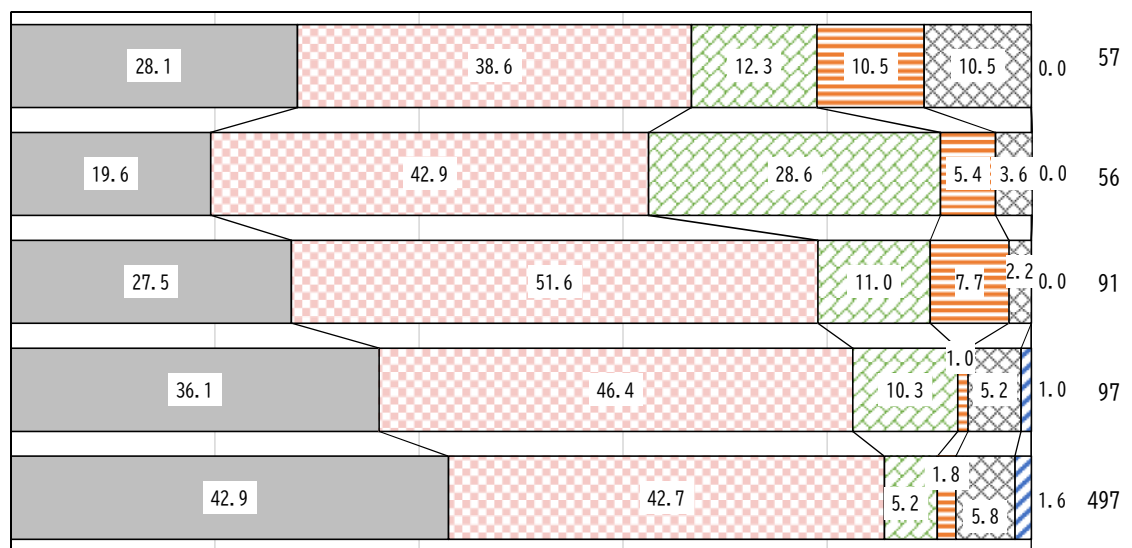
【出生地別】



【転居前の居住地別】



【居住歴別】



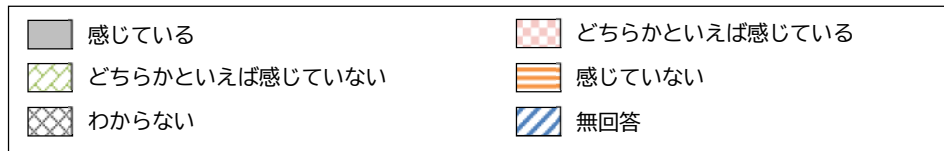
【出生地別比較】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（87.9%）の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人（75.7%）より、12.2ポイント高くなっています。

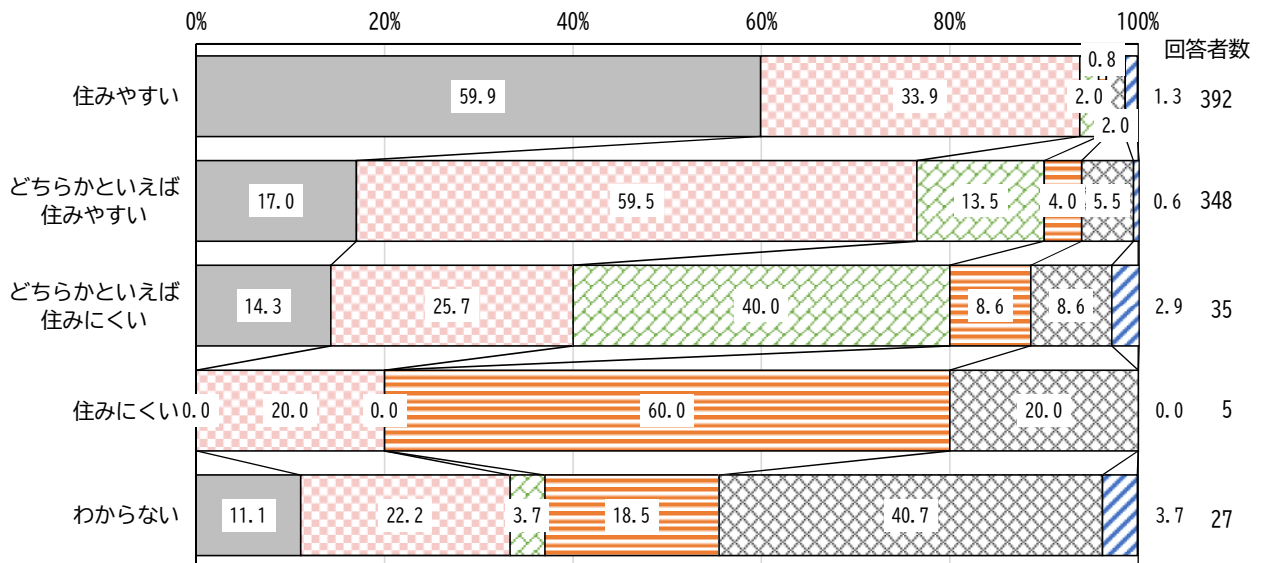
転居前の居住地別比較では、大きな差はみられませんでした。

【居住歴別比較】

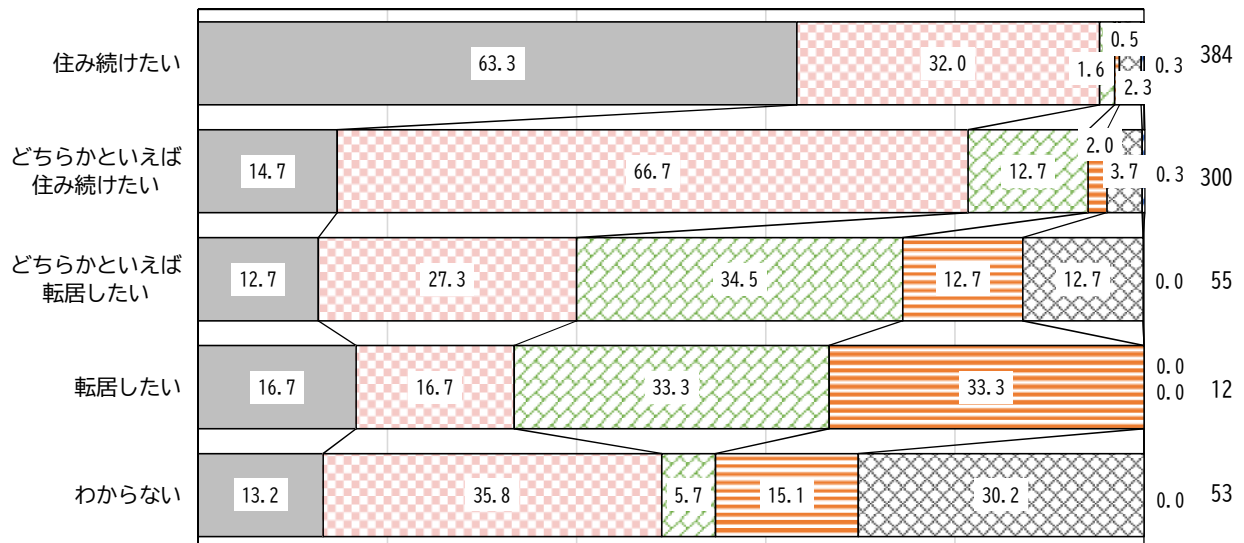
愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、30年以上（85.6%）の方が、5年以上10年未満（62.5%）より、23.1ポイント高くなっています。



【名古屋の住みやすさ別】



【今の地域での居住意向別】



【「問3 名古屋の住みやすさ」別比較 (*)】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、住みやすいと思う人 (93.8%) の方が、住みにくいと思う人 (20.0%) より、73.8 ポイント高くなっています。

* 「問3 名古屋の住みやすさ」については P.18 参照

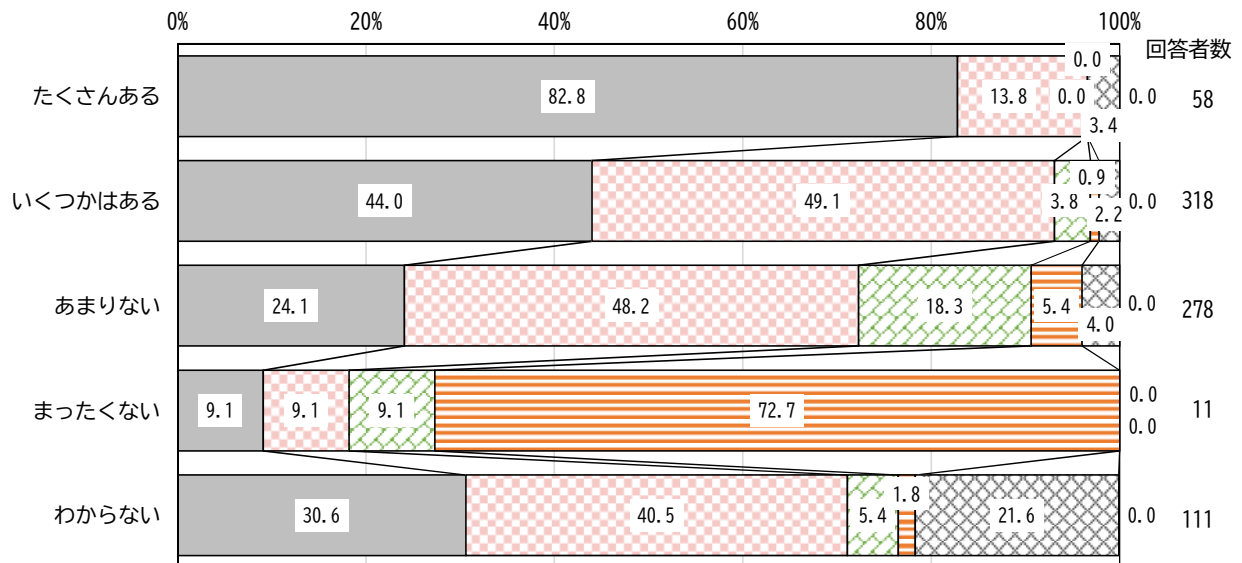
【「問6 今の地域での居住意向」別比較 (*)】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、住み続けたい人 (95.3%) の方が、転居したい人 (33.4%) より、61.9 ポイント高くなっています。

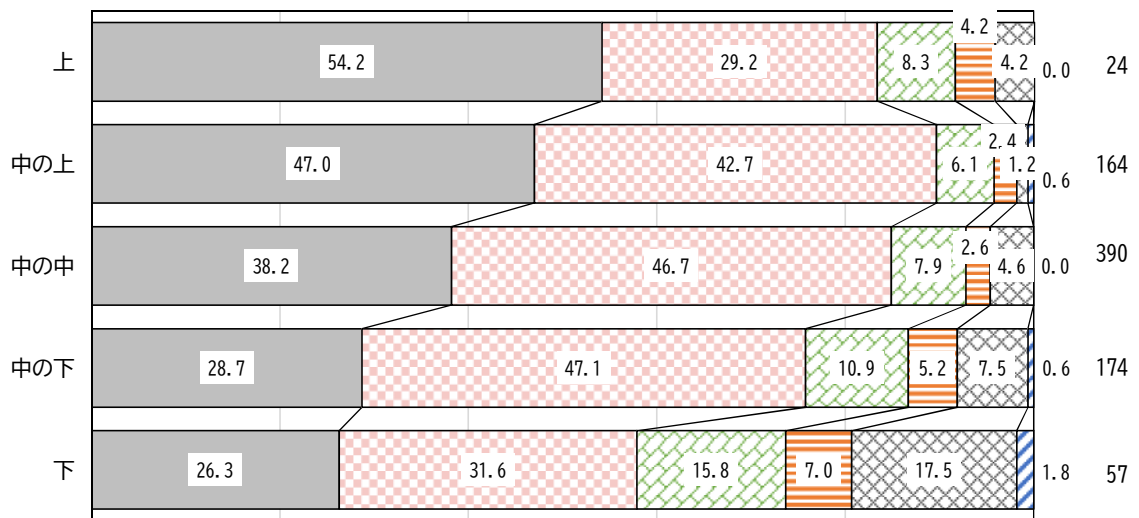
* 「問6 今の地域での居住意向」については P.31 参照。



【名古屋の自慢できること別】



【家庭の生活の程度別】



【「問9 名古屋の自慢できること」別比較（*）】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、たくさんある人（96.6%）の方が、自慢できることがまったくない人（18.2%）より、78.4ポイント高くなっています。

* 「問9 名古屋の自慢できること」については P. 45 参照

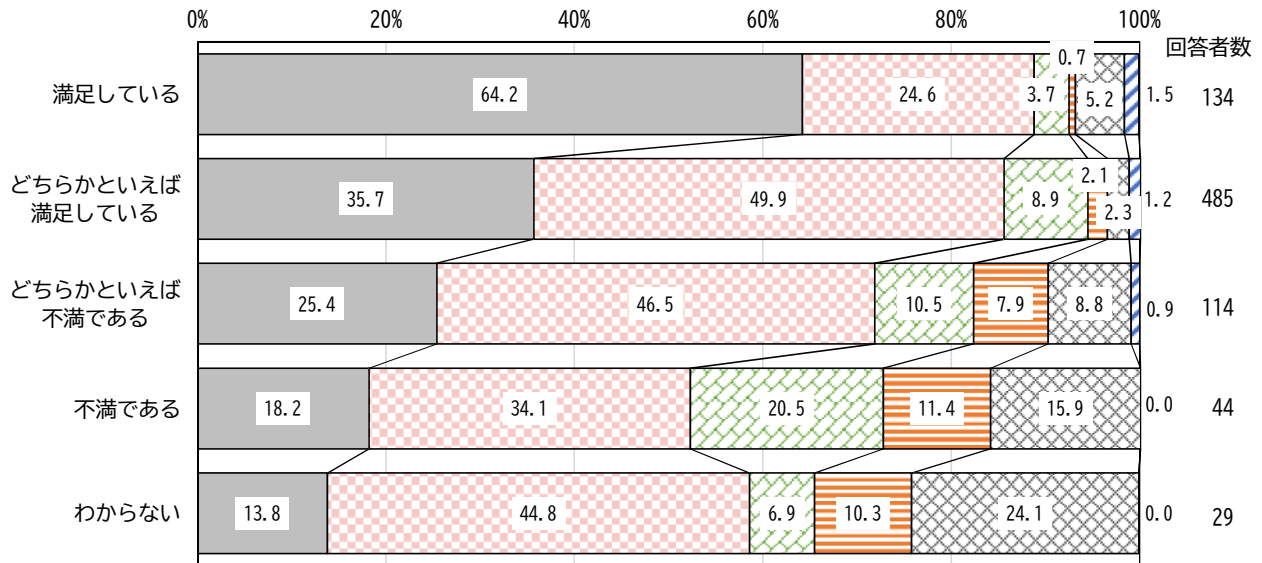
【「問12 家庭の生活の程度」別比較（*）】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、家庭の生活の程度が「中の上」だと思える人（89.7%）の方が、「下」だと思える人（57.9%）より、31.8ポイント高くなっています。

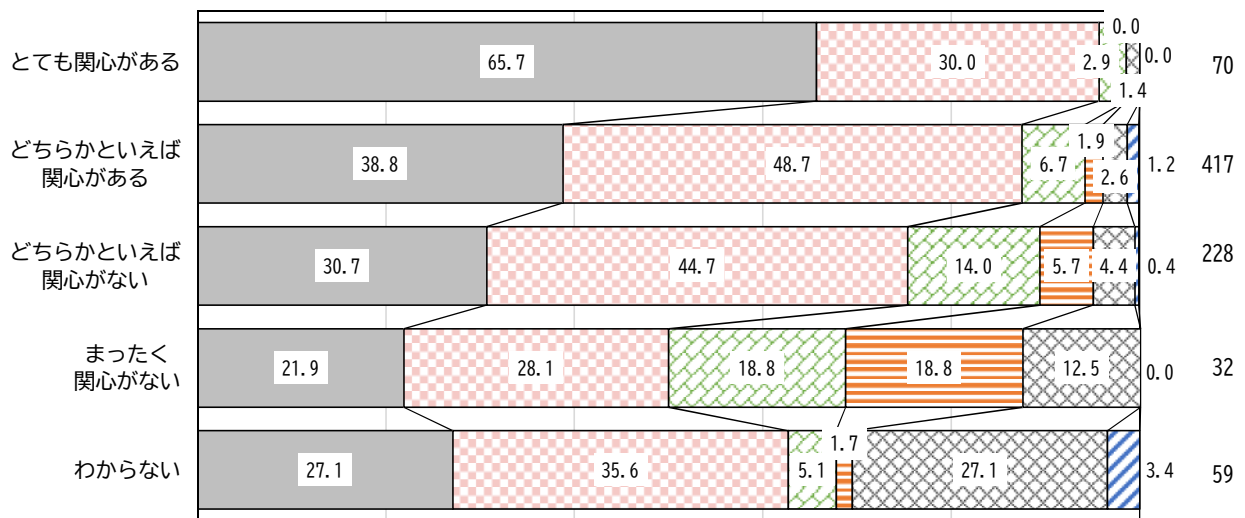
* 「問12 家庭の生活の程度」については P. 53 参照。



【生活の満足度別】



【市政への関心別】



【「問 13 生活の満足度」別比較 (*)】

愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、生活に満足している人 (88.8%) の方が、不満である人 (52.3%) より、36.5 ポイント高くなっています。

* 「問 13 生活の満足度」については P.55 参照

【「問 16 市政への関心」別比較 (*)】

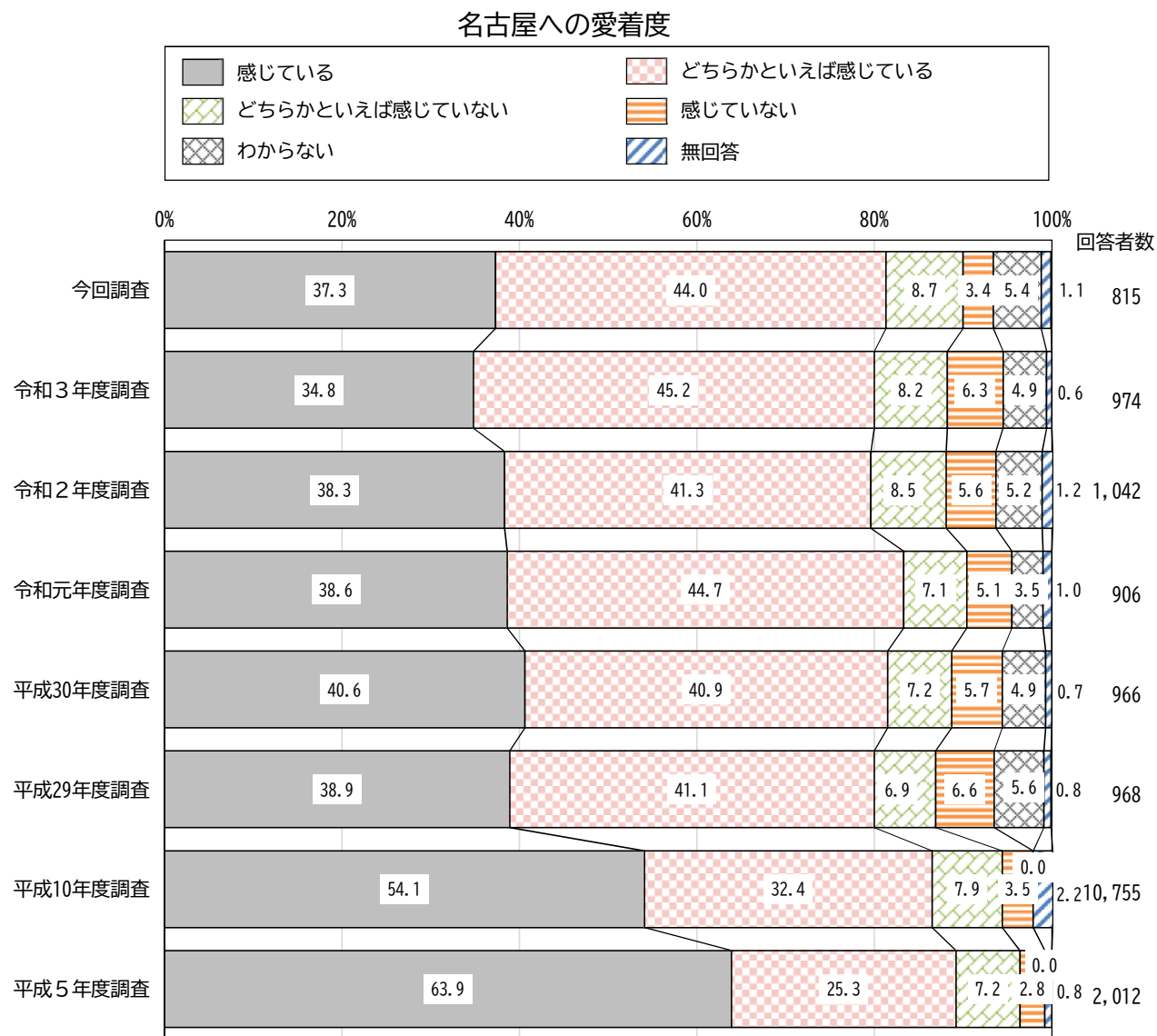
愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は、市政にとっても関心がある人 (95.7%) の方が、まったく関心がない人 (50.0%) より、45.7 ポイント高くなっています。

* 「問 16 市政への関心」については P.64 参照。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 調査方法や標本数が異なるため単純な増減の比較はできませんが、愛着を「感じている」と「どちらかといえば感じている」と答えた人をあわせた割合は81.3%で、令和2年度に減少したもののその後は増加傾向にあります。



資料：名古屋市「市政世論調査」（平成5年度）

名古屋市「市民2万人アンケート」（平成10年度）

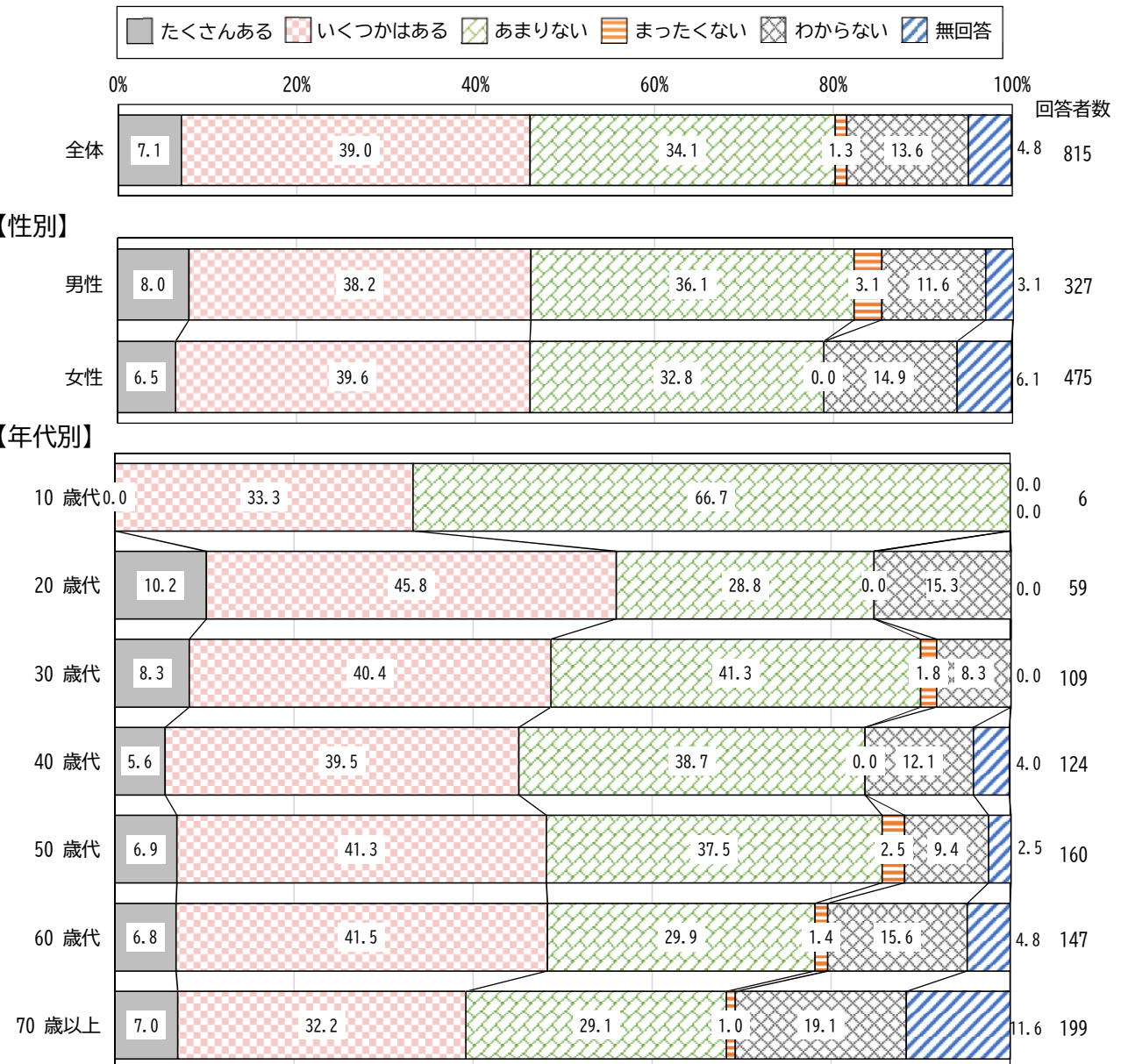
名古屋市「市政世論調査」

（平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度

（今回の調査）

※各調査の詳細はP. 3参照

(9) 名古屋の自慢できること (問9・SA)



◆ 名古屋によそのまちと比べて自慢できることがあるかとたずねたところ、「たくさんある」と答えた人は7.1%、「いくつかはある」と答えた人は39.0%で、あわせると、名古屋に自慢できることがある人は4割以上(46.1%)でした。

また、「まったくない」と答えた人は1.3%、「あまりない」と答えた人は34.1%で、あわせると、名古屋に自慢できることがない人は3割以上(35.4%)でした。

【性別比較】

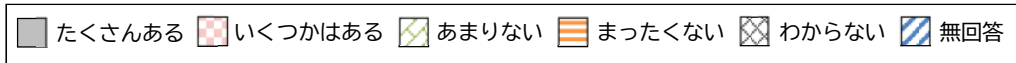
名古屋に自慢できることが「あまりない」と「まったくない」と答えた人をあわせた割合は、男性(39.2%)の方が、女性(32.8%)より、6.4ポイント高くなっています。

【年代別比較】

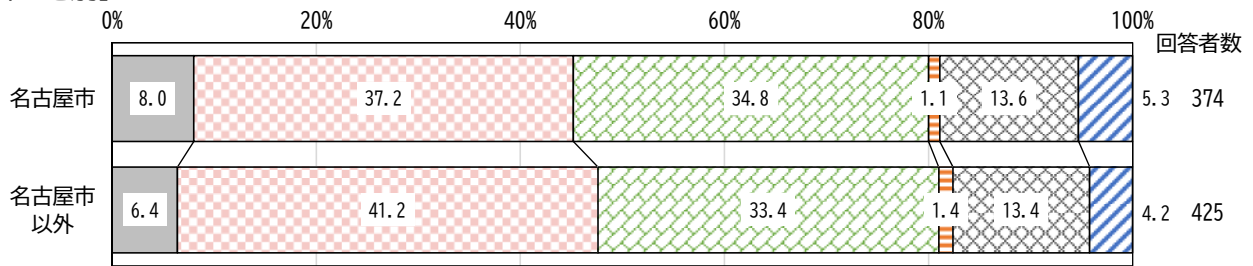
名古屋に自慢できることが「たくさんある」と「いくつかはある」と答えた人をあわせた割合は、20歳代(56.0%)の方が、70歳以上(39.2%)より、16.8ポイント高くなっています。

【具体的な記入の抜粋】

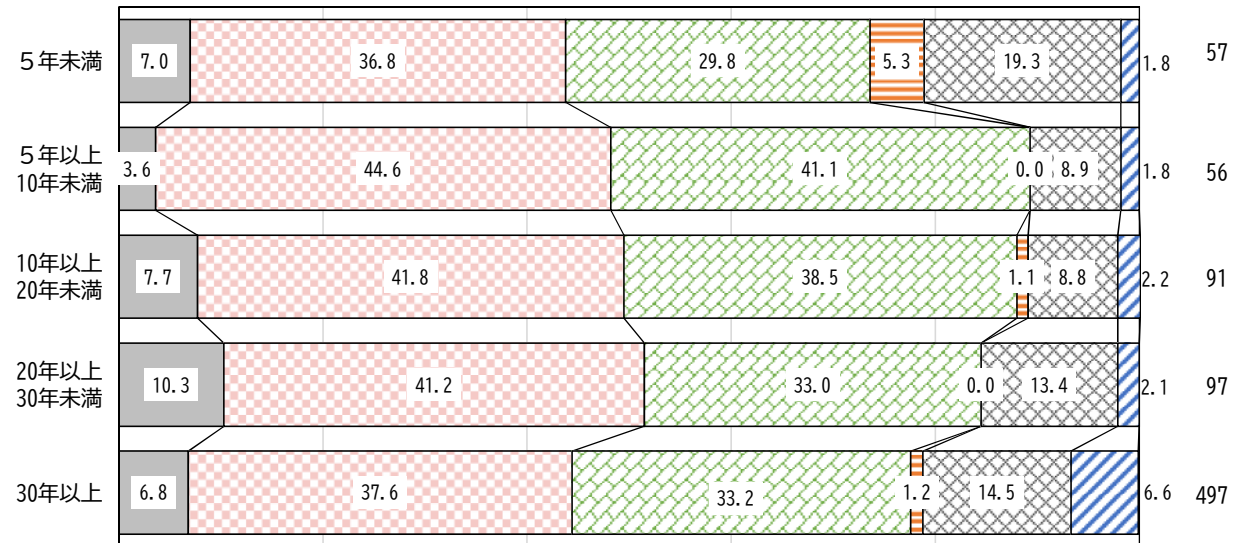
名古屋に自慢できることが「たくさんある」と「いくつかはある」と答えた人に具体的に記入していただいた名古屋の自慢できることの主なものは「交通の便がよく、道路が広くて整備されている」、「程々の都会で住みやすい」、「名古屋名物おいしい」などでした。



【出生地別】



【居住歴別】



【出生地別比較】

大きな差はみられませんでした。

【居住歴別比較】

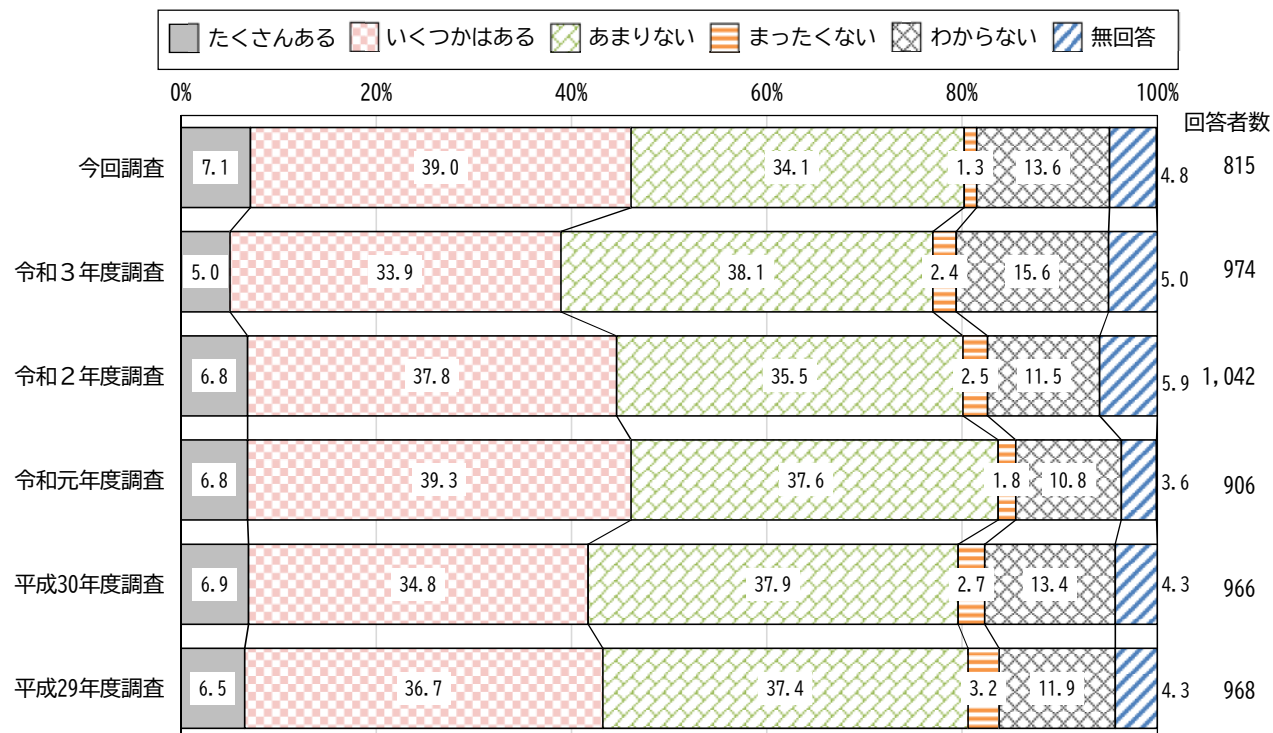
名古屋を自慢できることが「あまりない」と「まったくない」と答えた人をあわせた割合は、居住歴が5年以上10年未満（41.1%）の方が、5年未満（35.1%）より、11.3ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 名古屋に自慢できることが「たくさんある」と「いくつかはある」と答えた人をあわせた割合は46.1%となり、前回調査（38.9%）より7.2ポイント高くなっています。

名古屋の自慢できること

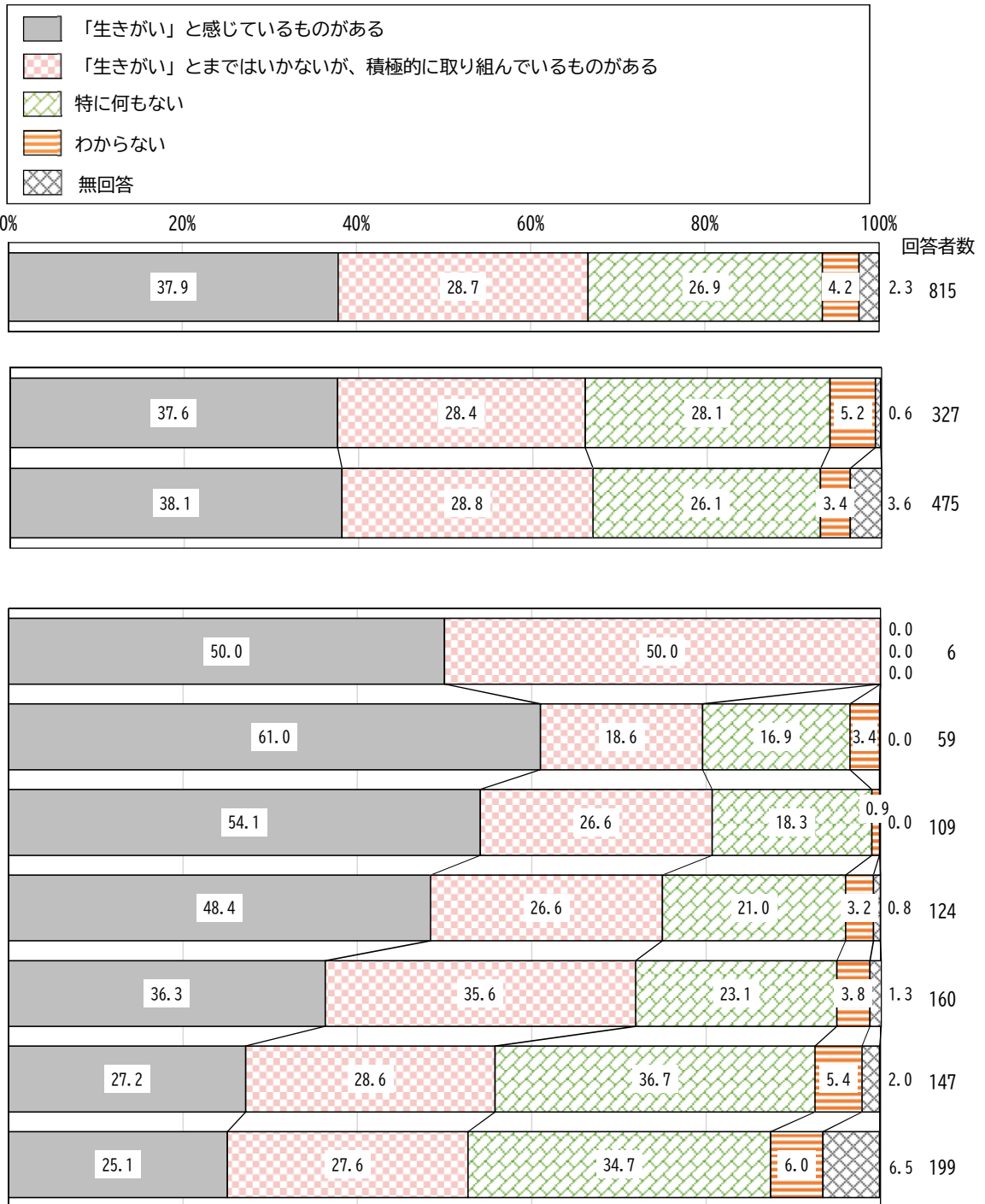


資料：名古屋市「市政世論調査」

（平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度
（今回の調査））

※各調査の詳細はP. 3参照

(10) 「生きがい」と感じるもの（問10・SA）



◆ 「生きがい」と感じるものがあるかとたずねたところ、「生きがいと感じているものがある」（37.9%）と答えた人が約4割で最も多く、「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人は28.7%でした。

一方、「特に何も無い」と答えた人は26.9%でした。

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

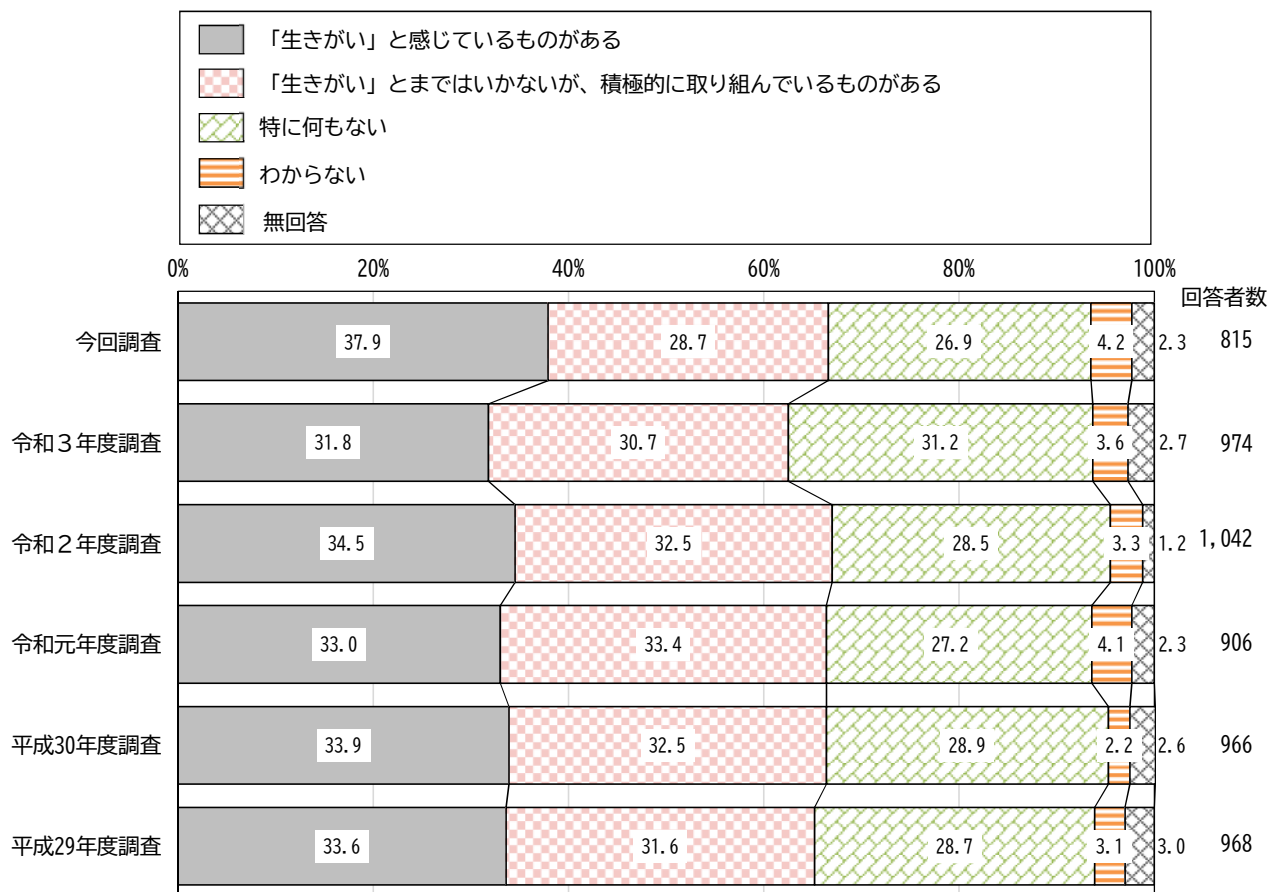
「生きがいと感じているものがある」と「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人をあわせた割合は、10歳代（100.0%）の方が、70歳以上（52.7%）より、47.3ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 「生きがいと感じているものがある」と「生きがいとまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある」と答えた人をあわせた割合は 66.6%で、過去の調査から大きな変化は見られませんでした。

「生きがい」と感じるもの

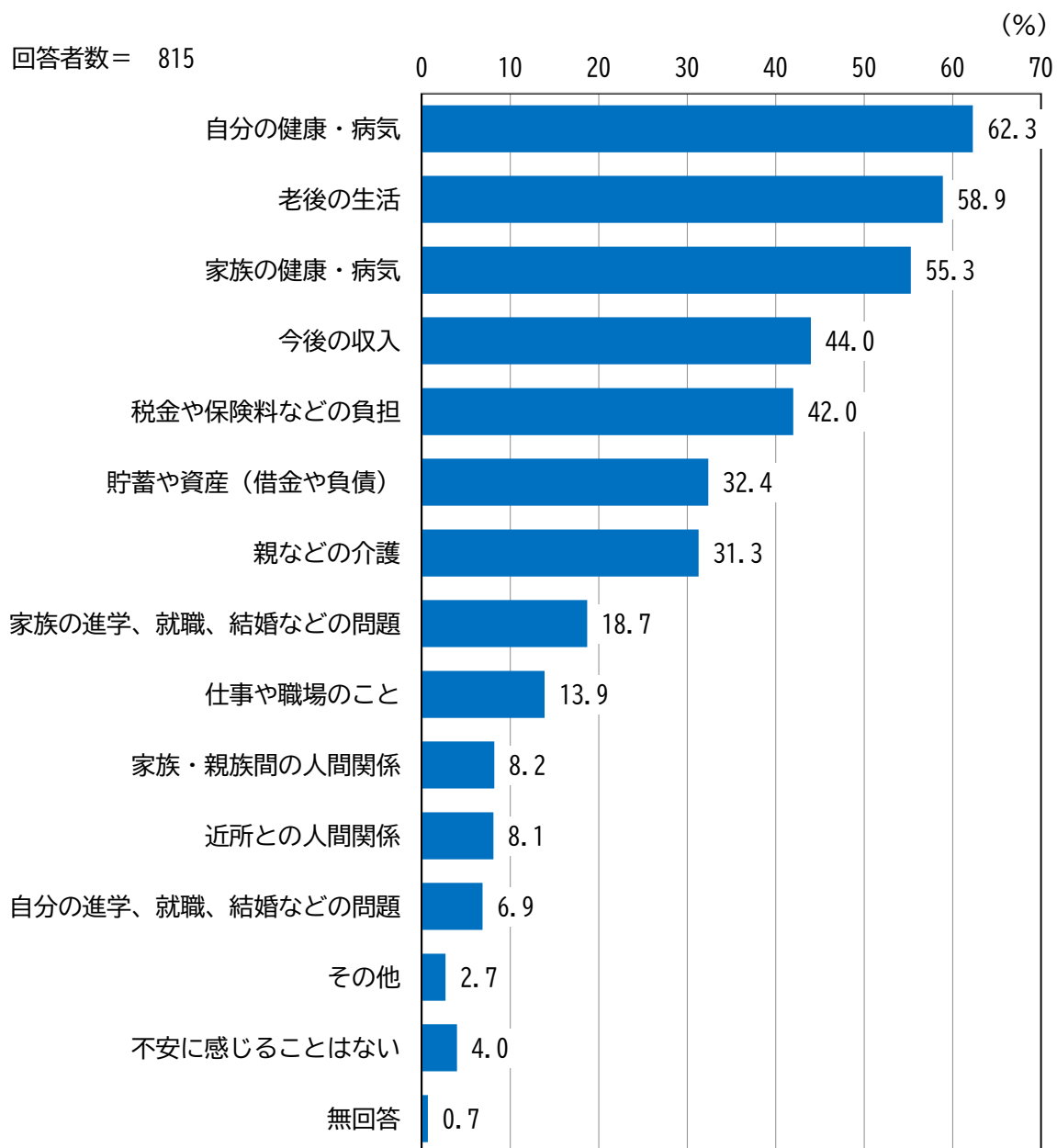


資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成 29 年度、平成 30 年度、令和元年度、令和 2 年度、令和 3 年度、令和 4 年度
(今回の調査))

※各調査の詳細は P. 3 参照

(11) 今後の生活で不安に感じること（問11・MA）



- ◆ 今後の生活を考えたとき不安に感じることをたずねたところ、「自分の健康・病気」（62.3%）と答えた人が約6割と多く、次いで「老後の生活」（58.9%）、「家族の健康・病気」（55.3%）と続いています。

	自分の健康・病気	老後の生活	家族の健康・病気	今後の収入	税金や保険料などの負担	貯蓄や資産（借金や負債）	親などの介護	家族の進学、就職、結婚などの問題	仕事や職場のこと	家族・親族間の人間関係	近所との人間関係	自分の進学、就職、結婚などの問題	その他	不安に感じることはない	無回答	回答者数	
全体	62.3	58.9	55.3	44.0	42.0	32.4	31.3	18.7	13.9	8.2	8.1	6.9	2.7	4.0	0.7	815	
性別	男性	65.1	59.3	52.6	50.5	42.5	36.4	31.2	16.8	15.6	5.8	6.7	7.0	3.1	4.3	0.0	327
	女性	60.2	58.5	56.6	38.9	40.8	29.5	30.9	19.8	12.2	9.7	9.1	6.9	2.5	3.8	1.3	475
年代別	10歳代	33.3	16.7	16.7	50.0	50.0	33.3	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	6
	20歳代	42.4	39.0	49.2	66.1	54.2	54.2	35.6	18.6	25.4	5.1	10.2	44.1	0.0	1.7	0.0	59
	30歳代	44.0	45.9	50.5	55.0	56.9	46.8	41.3	32.1	22.0	9.2	11.0	11.0	2.8	1.8	0.0	109
	40歳代	62.1	64.5	64.5	43.5	42.7	39.5	58.1	37.9	23.4	13.7	11.3	9.7	4.0	3.2	0.8	124
	50歳代	65.0	72.5	58.8	51.2	43.1	40.6	48.8	17.5	15.0	8.8	8.1	0.0	1.9	3.1	1.3	160
	60歳代	68.7	66.0	56.5	44.9	42.9	29.9	17.7	13.6	7.5	8.2	5.4	0.7	2.0	3.4	1.4	147
	70歳以上	72.4	53.8	50.8	24.6	27.1	8.5	3.5	5.0	2.0	4.5	6.0	0.0	4.0	7.5	0.5	199

(単位：%)

（上位5項目の過去との比較）

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和4年度	自分の健康・病気 62.3%	老後の生活 58.9%	家族の健康・病気 55.3%	今後の収入 44.0%	税金や保険料 などの負担 42.0%
令和3年度	自分の健康・病気 64.9%	家族の健康・病気 56.8%	老後の生活 55.5%	今後の収入 42.4%	税金や保険料 などの負担 35.6%
令和2年度	自分の健康・病気 63.2%	家族の健康・病気 55.9%	/	今後の収入 41.3%	税金や保険料 などの負担 34.0%
		老後の生活 55.9%			
令和元年度	自分の健康・病気 64.0%	老後の生活 62.9%	家族の健康・病気 58.6%	今後の収入 45.0%	税金や保険料 などの負担 42.3%
平成30年度	自分の健康・病気 63.9%	老後の生活 59.9%	家族の健康・病気 54.6%	今後の収入 44.4%	税金や保険料 などの負担 39.0%
平成29年度	自分の健康・病気 62.3%	老後の生活 59.9%	家族の健康・病気 54.6%	今後の収入 41.9%	税金や保険料 などの負担 39.3%

【上位5項目の経年比較】

前回と比べ、上位5項目に変化は見られませんが、前回第3位であった「老後の生活」が第2位となっています。

【性別比較】

今後の生活に不安を感じることとして「今後の収入」と答えた人の割合は、男性（50.5%）の方が、女性（38.9%）より、11.6ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「自分の健康・病気」と答えた人の割合は、70歳以上（72.4%）の方が、10歳代（33.3%）より、39.1ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 過去の調査と比較すると、ここ数年では、「自分の健康・病気」に関する不安を感じている人の割合は、6割台で推移しています。

今後の生活で不安を感じること

(単位：%)

	自分の健康・病気	老後の生活	家族の健康・病気	今後の収入	税金や保険料などの負担	貯蓄や資産(借金や負債)
名古屋市 (令和4年度)	62.3	58.9	55.3	44.0	42.0	32.4
(令和3年度)	64.9	55.5	56.8	42.4	35.6	25.8
(令和2年度)	63.2	55.9	55.9	41.3	34.0	24.6
(令和元年度)	64.0	62.9	58.6	45.0	42.3	33.4
(平成30年度)	63.9	59.9	54.6	44.4	39.0	26.3
(平成29年度)	62.3	59.9	54.6	41.9	39.3	26.1

	親などの介護	家族の進学、就職、結婚などの問題	仕事や職場のこと	家族・親族間の人間関係	近所との人間関係	自分の進学、就職、結婚などの問題
名古屋市 (令和4年度)	31.3	18.7	13.9	8.2	8.1	6.9
(令和3年度)	27.0	16.7	14.5	7.9	6.8	7.0
(令和2年度)	29.1	16.2	11.7	8.4	7.0	8.3
(令和元年度)	32.7	19.4	14.1	8.9	7.7	8.1
(平成30年度)	32.3	17.8	13.6	8.6	8.2	7.2
(平成29年度)	30.6	17.9	12.1	8.0	7.9	8.0

	その他	不安に感じることはない	無回答	件数
名古屋市 (令和4年度)	2.7	4.0	0.7	815
(令和3年度)	2.5	4.7	0.7	974
(令和2年度)	2.6	3.7	0.7	1,042
(令和元年度)	2.2	2.9	0.9	906
(平成30年度)	3.1	3.8	1.0	966
(平成29年度)	2.2	3.1	1.2	968

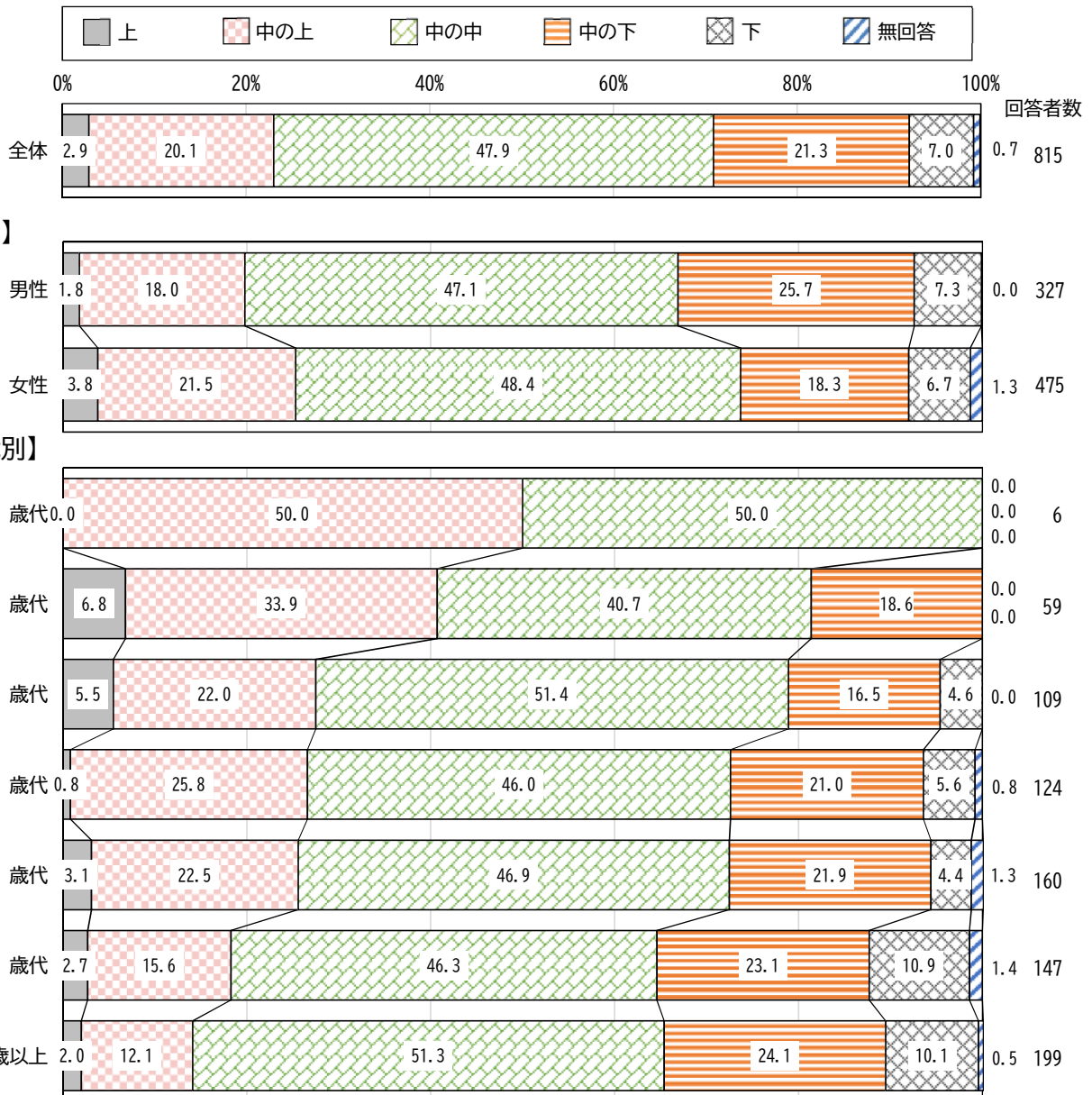
資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度

(今回の調査))

※各調査の詳細は P. 3 参照

(12) 家庭の生活の程度 (問 12・S A)



◆ 家庭の生活の程度は、世間一般からみてどうだと思いかとたずねたところ、「中の中」(47.9%)と答えた人が約5割で最も多く、次いで「中の下」(21.3%)、「中の上」(20.1%)と続いています。

【性別比較】

自分の生活の程度が「中の下」と答えた人は、男性(25.7%)の方が、女性(18.3%)より、7.4ポイント高くなっています。

【年代別比較】

自分の生活の程度が「中の上」と答えた人の割合は、10歳代(50.0%)が最も高く、70歳以上(12.1%)より、37.9ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 「中の中」と答えた人の割合は約5割で推移しており、過去の調査から大きな変化は見られませんでした。

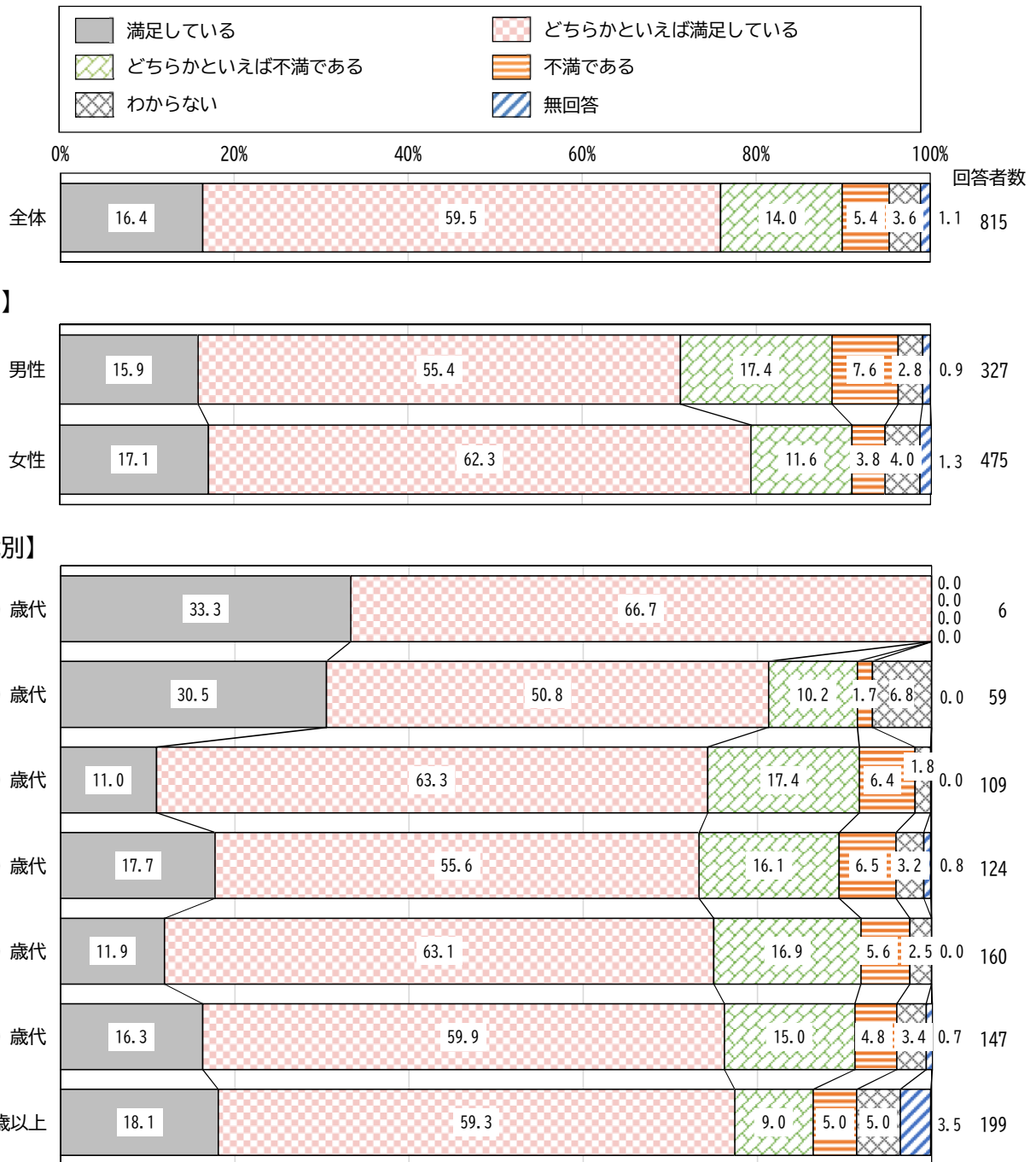


資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度
(今回の調査))

※各調査の詳細はP. 3参照

(13) 生活の満足度 (問 13・SA)



◆ 現在の生活に満足しているかとたずねたところ、「満足している」と答えた人は16.4%、「どちらかといえば満足している」と答えた人は59.5%で、あわせると、現在の生活に満足している人は7割以上(75.9%)でした。

一方、「不満である」と答えた人は5.4%、「どちらかといえば不満である」と答えた人は14.0%で、あわせると、不満である人は約2割(19.4%)でした。

【性別比較】

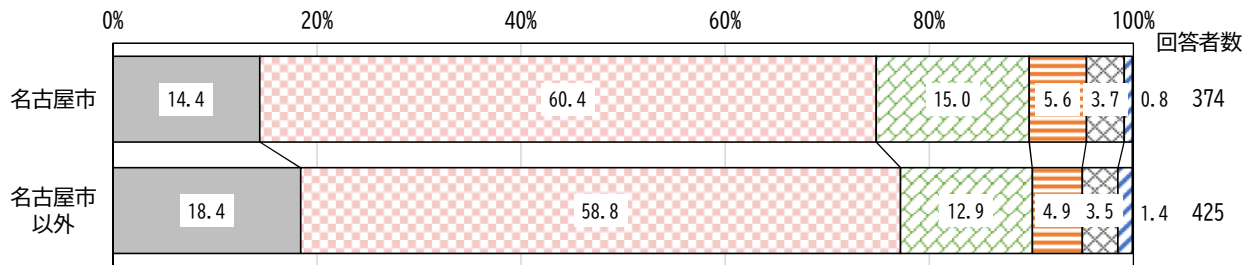
「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人をあわせた割合は、女性(79.4%)の方が、男性(71.3%)より、8.1ポイント高くなっています。

【年代別比較】

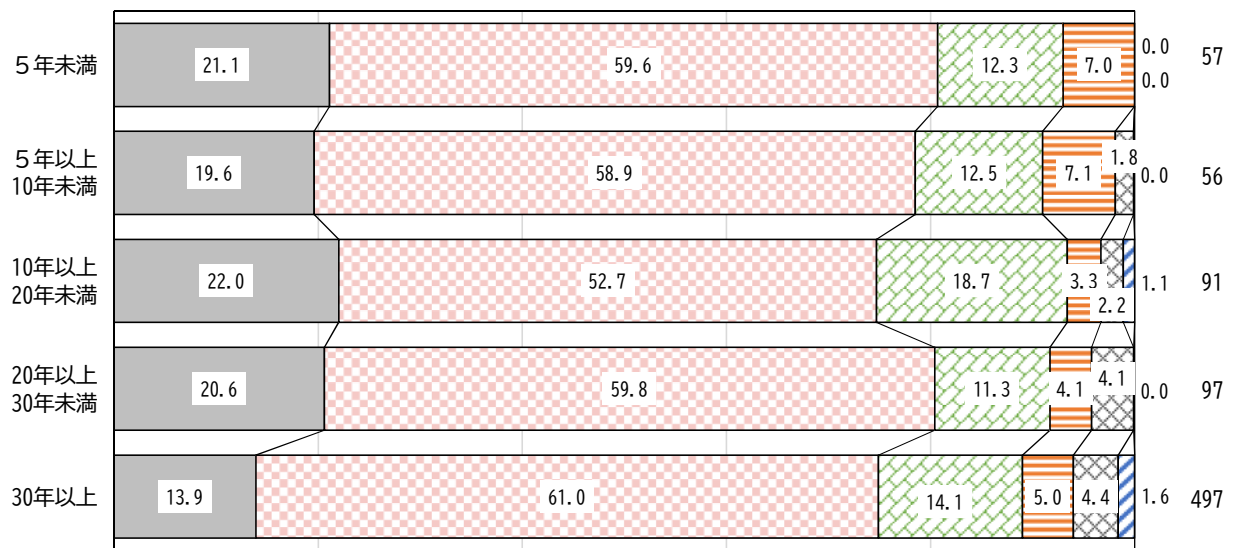
「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人をあわせた割合は、10歳代(100.0%)の方が、40歳代(73.3%)より、26.7ポイント高くなっています。



【出生地別】



【居住歴別】



【出生地別比較】

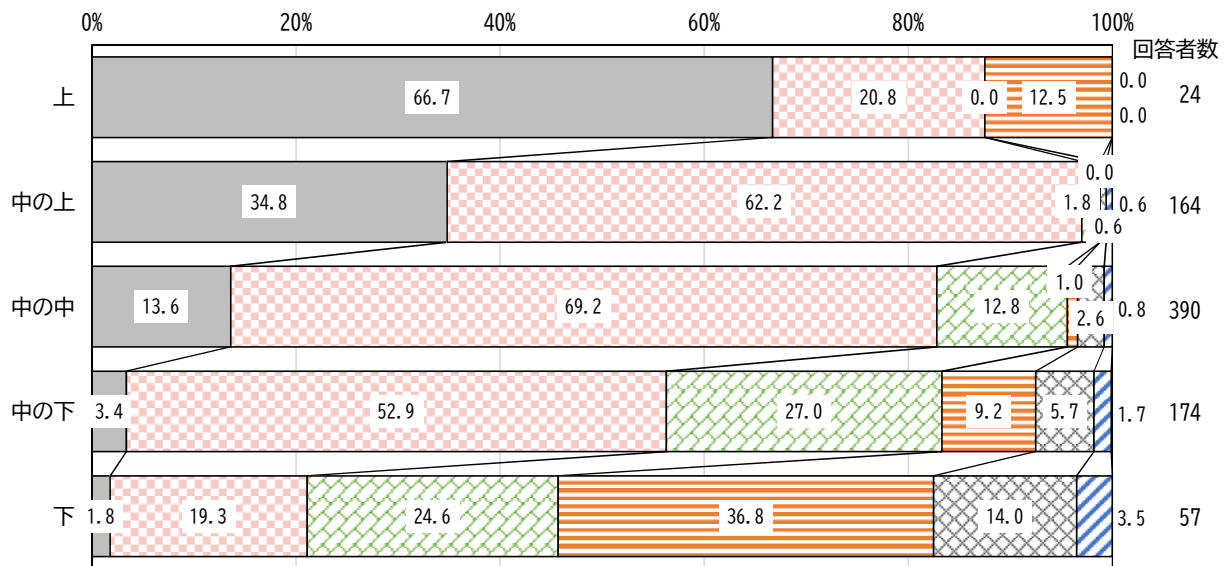
大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人をあわせた割合は、5年未満（80.7%）の方が、10年以上20年未満（74.7%）より、6.0ポイント高くなっています。



【家庭の生活の程度別】



【「問 12 家庭の生活の程度」別比較 (*)】

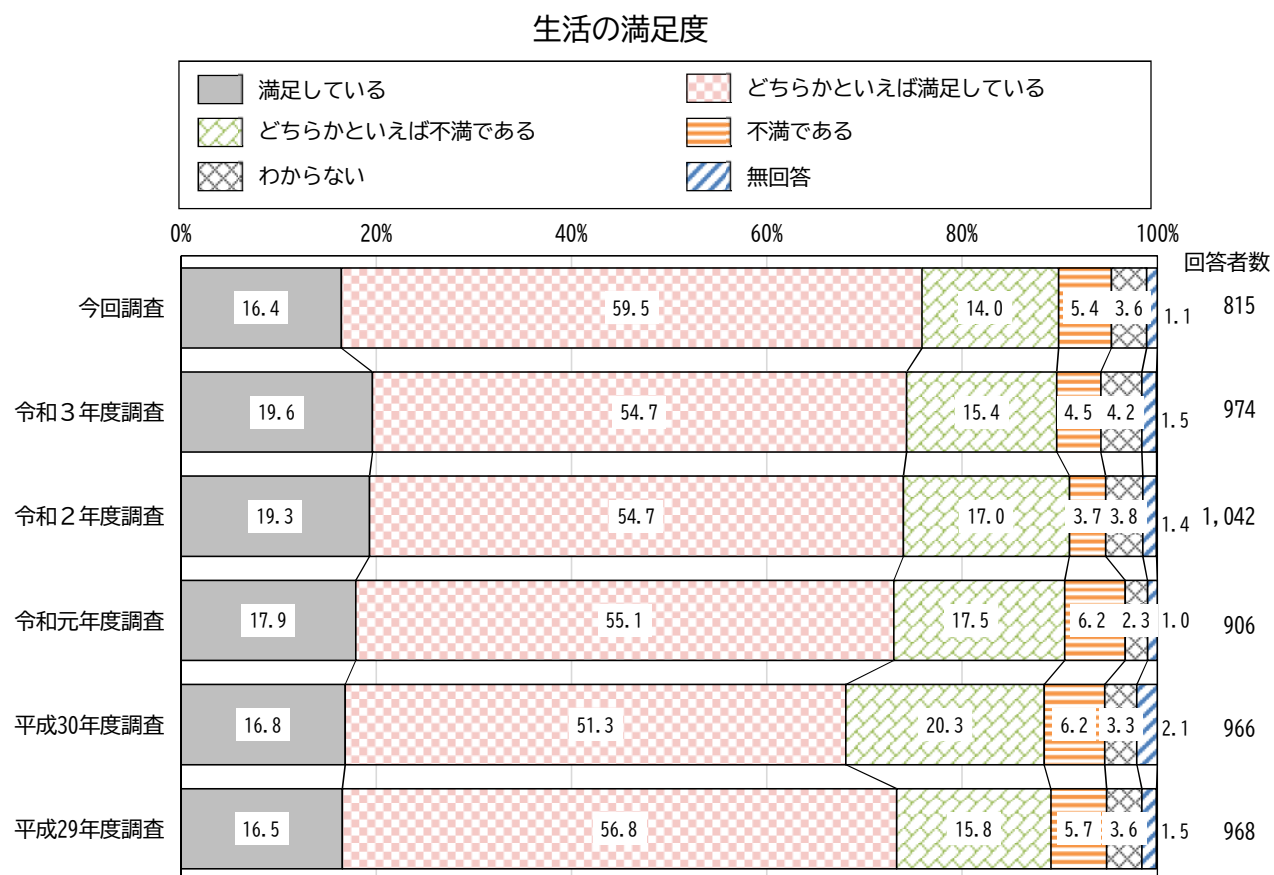
「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人をあわせた割合は、家庭の生活の程度が「中の上」だと思える人 (97.0%) が最も高く、次いで、「上」だと思える人 (87.5%)、「中の中」だと思える人 (82.8%) と続いています。

* 「問 12 家庭の生活の程度」については、P. 53 参照。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 「満足している」と「どちらかといえば満足している」と答えた人をあわせた割合は75.9%で、平成30年度に減少したもののその後は増加傾向にあります。

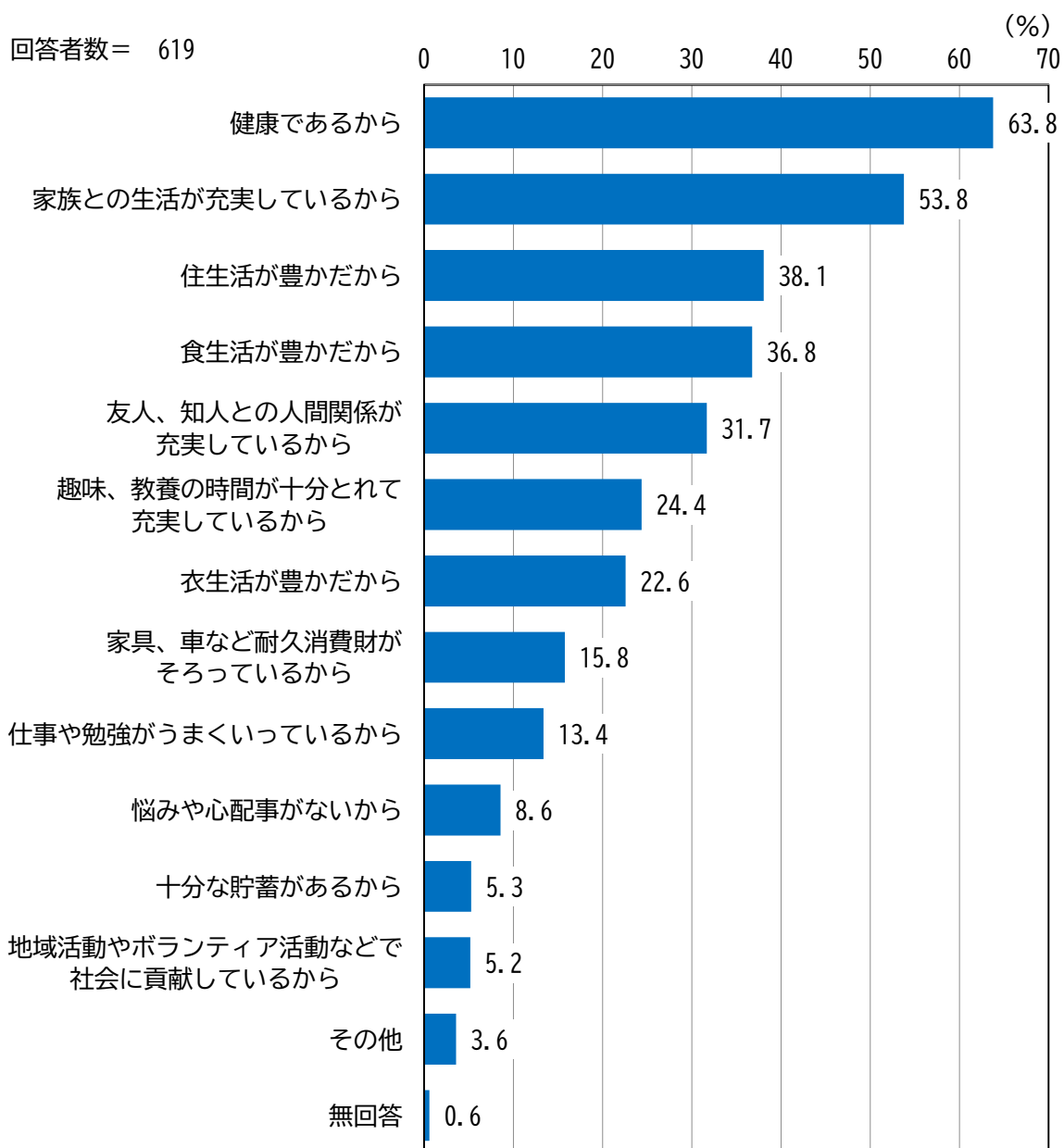


資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度
(今回の調査))

※各調査の詳細はP. 3参照

(14) 生活に満足している理由 (問 14・MA)



- ◆ 現在の生活に満足していると答えた人に、その理由をたずねたところ、「健康であるから」(63.8%)と答えた人が約6割で最も多く、次いで「家族との生活が充実しているから」(53.8%)、「住生活が豊かだから」(38.1%)、「食生活が豊かだから」(36.8%)と続いています。

	健康であるから	家族との生活が充実しているから	住生活が豊かだから	食生活が豊かだから	友人、知人との人間関係が充実しているから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	衣生活が豊かだから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	仕事や勉強がうまくいっているから	悩みや心配事がないから	十分な貯蓄があるから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	その他	無回答	回答者数
全体	63.8	53.8	38.1	36.8	31.7	24.4	22.6	15.8	13.4	8.6	5.3	5.2	3.6	0.6	619
性別	男性	65.7	49.8	34.8	31.8	24.9	32.2	18.0	12.9	7.3	5.2	6.4	3.0	1.3	233
	女性	62.6	56.2	39.8	39.8	36.1	19.6	24.9	14.1	9.3	5.6	4.2	4.0	0.3	377
年代別	10歳代	100.0	16.7	66.7	66.7	50.0	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6
	20歳代	68.8	54.2	54.2	52.1	52.1	39.6	39.6	25.0	22.9	10.4	6.3	2.1	4.2	48
	30歳代	67.9	70.4	46.9	44.4	32.1	13.6	32.1	21.0	17.3	2.5	6.2	2.5	1.2	81
	40歳代	65.9	60.4	37.4	35.2	19.8	17.6	26.4	15.4	17.6	3.3	2.2	2.2	1.1	91
	50歳代	67.5	54.2	36.7	33.3	25.8	26.7	20.0	18.3	20.0	9.2	4.2	4.2	5.0	120
	60歳代	55.4	51.8	27.7	33.9	31.3	25.0	15.2	12.5	11.6	8.9	4.5	6.3	4.5	112
	70歳以上	60.4	44.2	35.7	32.5	37.0	27.3	15.6	11.7	3.2	14.3	8.4	9.7	4.5	0.6

(上位5項目の過去との比較)

(単位：%)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和4年度	健康であるから 63.8%	家族との生活が充実しているから 53.8%	住生活が豊かだから 38.1%	食生活が豊かだから 36.8%	友人、知人との人間関係が充実しているから 31.7%
令和3年度	健康であるから 60.8%	家族との生活が充実しているから 55.2%	食生活が豊かだから 39.0%	住生活が豊かだから 34.0%	友人、知人との人間関係が充実しているから 31.5%
令和2年度	健康であるから 62.9%	家族との生活が充実しているから 53.4%	食生活が豊かだから 36.8%	友人、知人との人間関係が充実しているから 33.5%	住生活が豊かだから 32.6%
令和元年度	健康であるから 66.0%	家族との生活が充実しているから 54.3%	友人、知人との人間関係が充実しているから 35.1%	食生活が豊かだから 34.6%	住生活が豊かだから 33.1%
平成30年度	健康であるから 65.0%	家族との生活が充実しているから 55.3%	友人、知人との人間関係が充実しているから 35.3%	食生活が豊かだから 34.8%	住生活が豊かだから 32.2%
平成29年度	健康であるから 69.9%	家族との生活が充実しているから 52.3%	友人、知人との人間関係が充実しているから 35.4%	食生活が豊かだから 33.7%	住生活が豊かだから 30.0%

【上位5項目の経年比較】

前回と比べ、上位5項目に変化は見られませんが、前回第4位であった「住生活が豊かだから」が第3位、前回第3位であった「食生活が豊かだから」が第4位となっています。

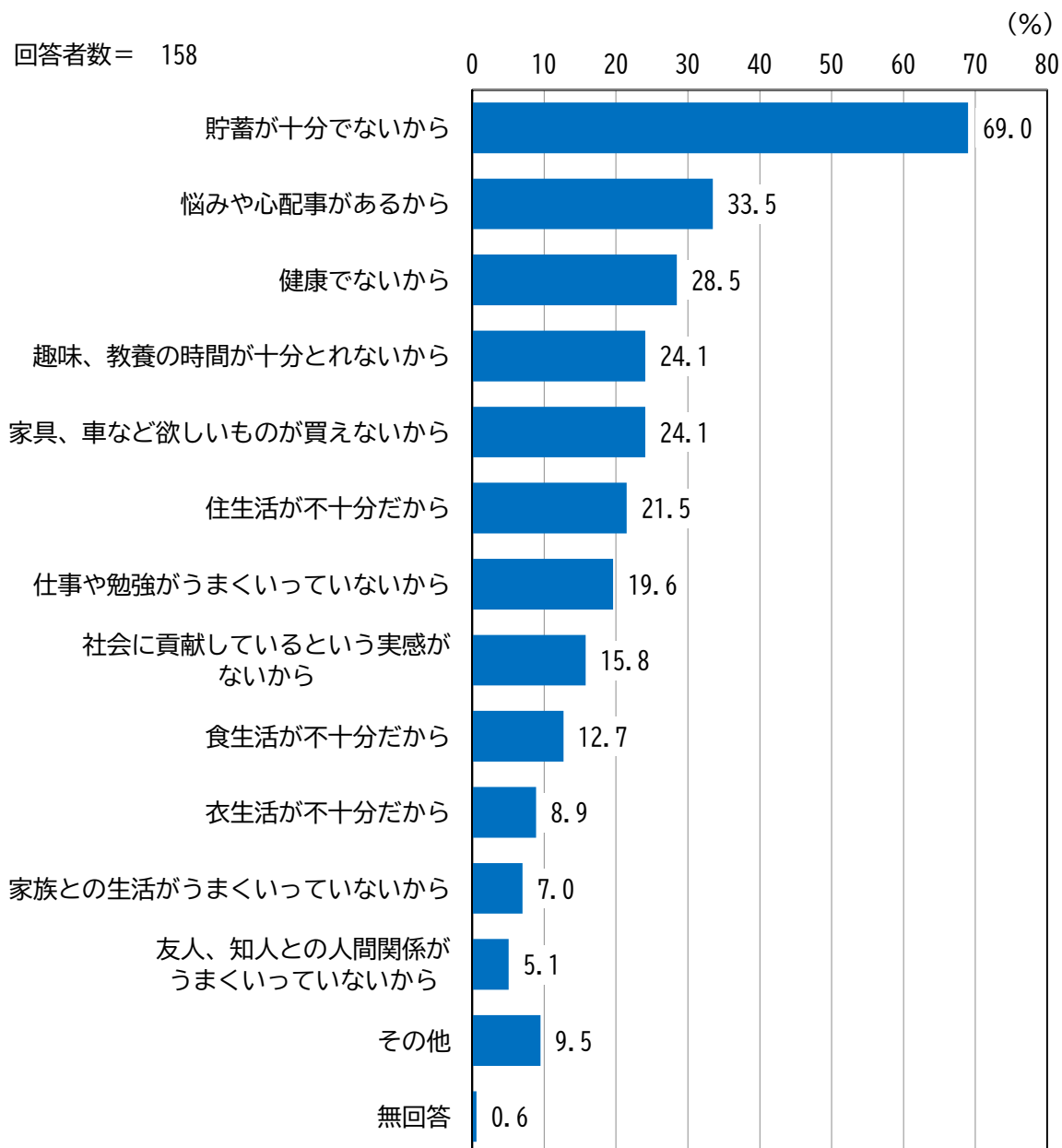
【性別比較】

「友人、知人との人間関係が充実しているから」と答えた人の割合は、女性（36.1%）の方が、男性（24.9%）より、11.2ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「家族との生活が充実しているから」と答えた人の割合は、30歳代（70.4%）の方が、10歳代（16.7%）より、53.7ポイント高くなっています。

(15) 生活に不満である理由 (問 15・MA)



- ◆ 現在の生活に不満であると答えた人に、その理由をたずねたところ、「貯蓄が十分でないから」(69.0%)と答えた人が約7割で最も多く、次いで「悩みや心配事があるから」(33.5%)、「健康でないから」(28.5%)、「趣味、教養の時間が十分とれないから」(24.1%)、「家具、車など欲しいものが買えないから」(24.1%)と続いています。

	貯蓄が十分でないから	悩みや心配事があるから	健康でないから	趣味、教養の時間が十分とれないから	家具、車など欲しいものを買えないから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいっていないから	社会に貢献していないから	食生活が不十分だから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答	回答者数	
全体	69.0	33.5	28.5	24.1	24.1	21.5	19.6	15.8	12.7	8.9	7.0	5.1	9.5	0.6	158	
性別	男性	69.5	26.8	32.9	26.8	20.7	18.3	25.6	19.5	13.4	6.1	7.3	3.7	9.8	1.2	82
	女性	68.5	39.7	23.3	21.9	27.4	24.7	12.3	12.3	9.6	9.6	6.8	6.8	9.6	0.0	73
年代別	10歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	20歳代	57.1	28.6	14.3	28.6	57.1	0.0	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7
	30歳代	80.8	42.3	15.4	38.5	26.9	23.1	30.8	11.5	3.8	7.7	7.7	3.8	11.5	0.0	26
	40歳代	75.0	42.9	25.0	35.7	25.0	25.0	35.7	21.4	10.7	10.7	14.3	3.6	17.9	0.0	28
	50歳代	61.1	30.6	25.0	19.4	22.2	11.1	11.1	5.6	8.3	2.8	5.6	8.3	11.1	0.0	36
	60歳代	75.9	41.4	44.8	24.1	20.7	31.0	13.8	20.7	20.7	13.8	10.3	6.9	6.9	0.0	29
70歳以上	60.7	14.3	35.7	7.1	14.3	21.4	3.6	17.9	14.3	3.6	0.0	3.6	3.6	3.6	28	

(単位：%)

(上位5項目の過去との比較)

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和4年度	貯蓄が十分でないから 69.0%	悩みや心配事があるから 33.5%	健康でないから 28.5%	趣味、教養の時間が十分とれないから 24.1%	
				家具、車など欲しいものを買えないから 24.1%	
令和3年度	貯蓄が十分でないから 69.1%	悩みや心配事があるから 36.6%	健康でないから 24.7%	住生活が不十分だから 22.7%	
				仕事や勉強がうまくいっていないから 22.7%	
令和2年度	貯蓄が十分でないから 64.4%	悩みや心配事があるから 34.3%	健康でないから 29.6%	家具、車など欲しいものを買えないから 23.1%	趣味、教養の時間が十分とれないから 17.6%
令和元年度	貯蓄が十分でないから 66.5%	悩みや心配事があるから 41.9%	住生活が不十分だから 27.0%	健康でないから 24.7%	趣味、教養の時間が十分とれないから 23.7%
平成30年度	貯蓄が十分でないから 65.6%	悩みや心配事があるから 37.5%	健康でないから 27.3%	住生活が不十分だから 23.4%	趣味、教養の時間が十分とれないから 22.3%
平成29年度	貯蓄が十分でないから 64.9%	悩みや心配事があるから 39.9%	健康でないから 28.4%	住生活が不十分だから 22.1%	家具、車など欲しいものを買えないから 21.2%

【上位5項目の経年比較】

前回と比べ、第1位から第3位に変化は見られませんが、前回調査では上位5項目外であった「趣味、教養の時間が十分とれないから」と「家具、車など欲しいものが買えないから」が第4位となっています。また、前回第4位であった「住生活が不十分だから」と「仕事や勉強がうまくいっていないから」は、今回の調査で上位5項目外になっています。

【性別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「悩みや心配事があるから」と答えた人の割合は、女性（39.7%）の方が、男性（26.8%）より、12.9ポイント高くなっています。

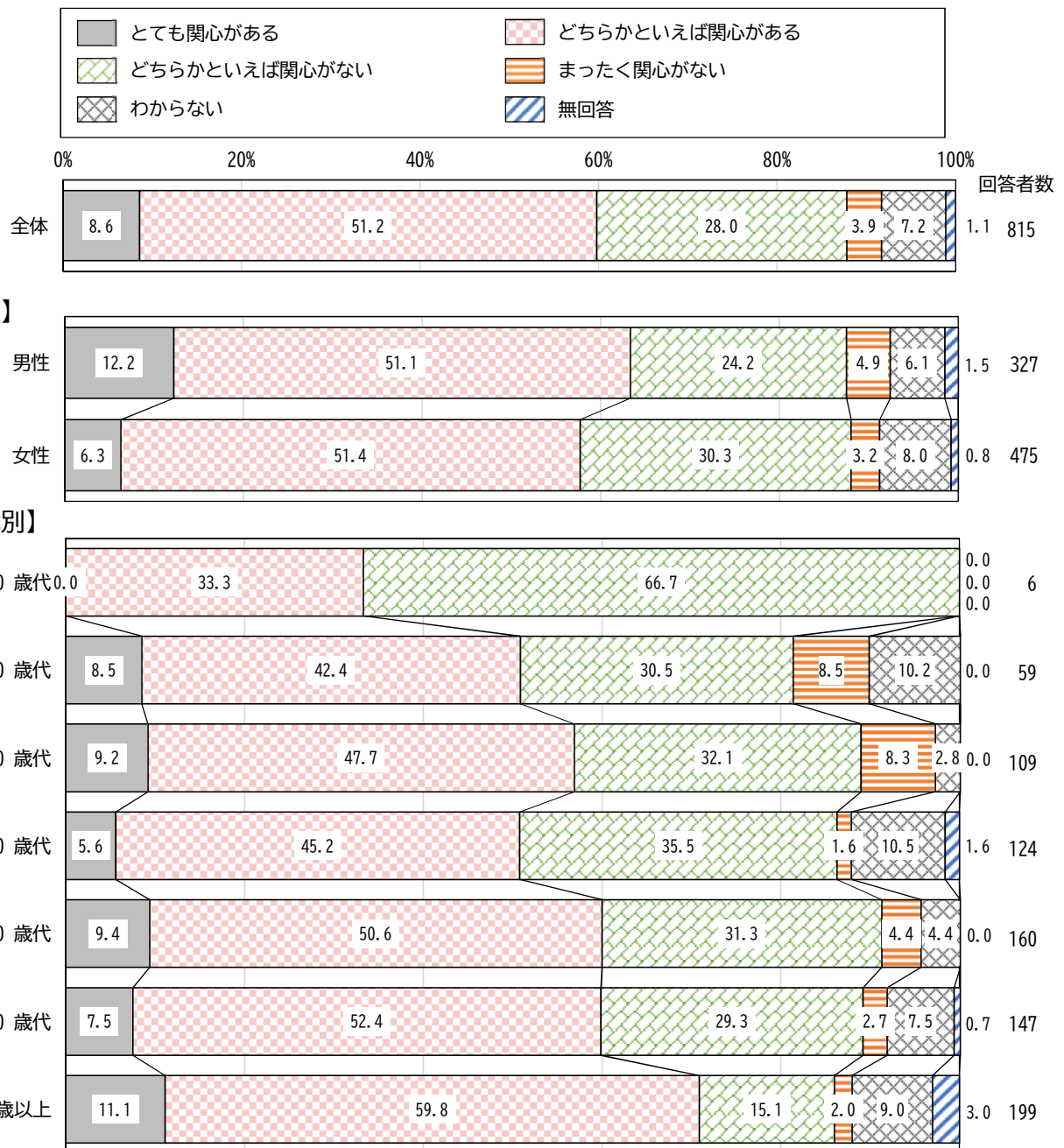
また、「健康でないから」と答えた人の割合は、男性（32.9%）の方が、女性（23.3%）より、9.6ポイント高くなっています。

【年代別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「家具、車など欲しいものが買えないから」と答えた人の割合は、20歳代（57.1%）の方が、70歳以上（14.3%）より、42.8ポイント高くなっています。

2 市政について

(1) 市政への関心 (問 16・SA)



◆ 市政（市の施策や事業など）に関心があるかとたずねたところ、「とても関心がある」と答えた人は 8.6%、「どちらかといえば関心がある」と答えた人は 51.2%で、あわせると、市政に関心がある人は約 6 割（59.8%）でした。

一方、「まったく関心がない」と答えた人は 3.9%、「どちらかといえば関心がない」と答えた人は 28.0%で、あわせると、市政に関心がない人は約 3 割（31.9%）でした。

【性別比較】

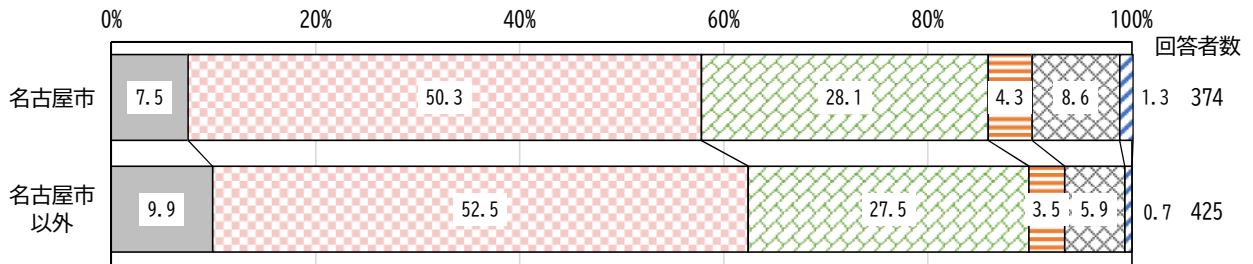
「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」と答えた人をあわせた割合は、男性（63.3%）の方が、女性（57.7%）より、5.6 ポイント高くなっています。

【年代別比較】

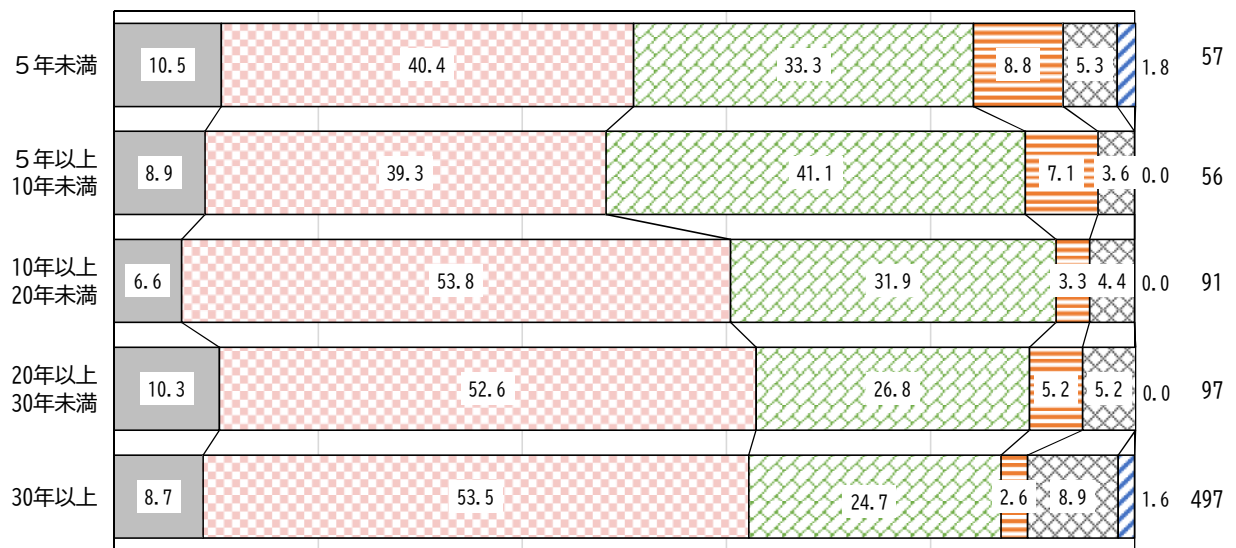
「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」と答えた人をあわせた割合は、70 歳以上（70.9%）の方が、10 歳代（33.3%）より、37.6 ポイント高くなっています。



【出生地別】



【居住歴別】



【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

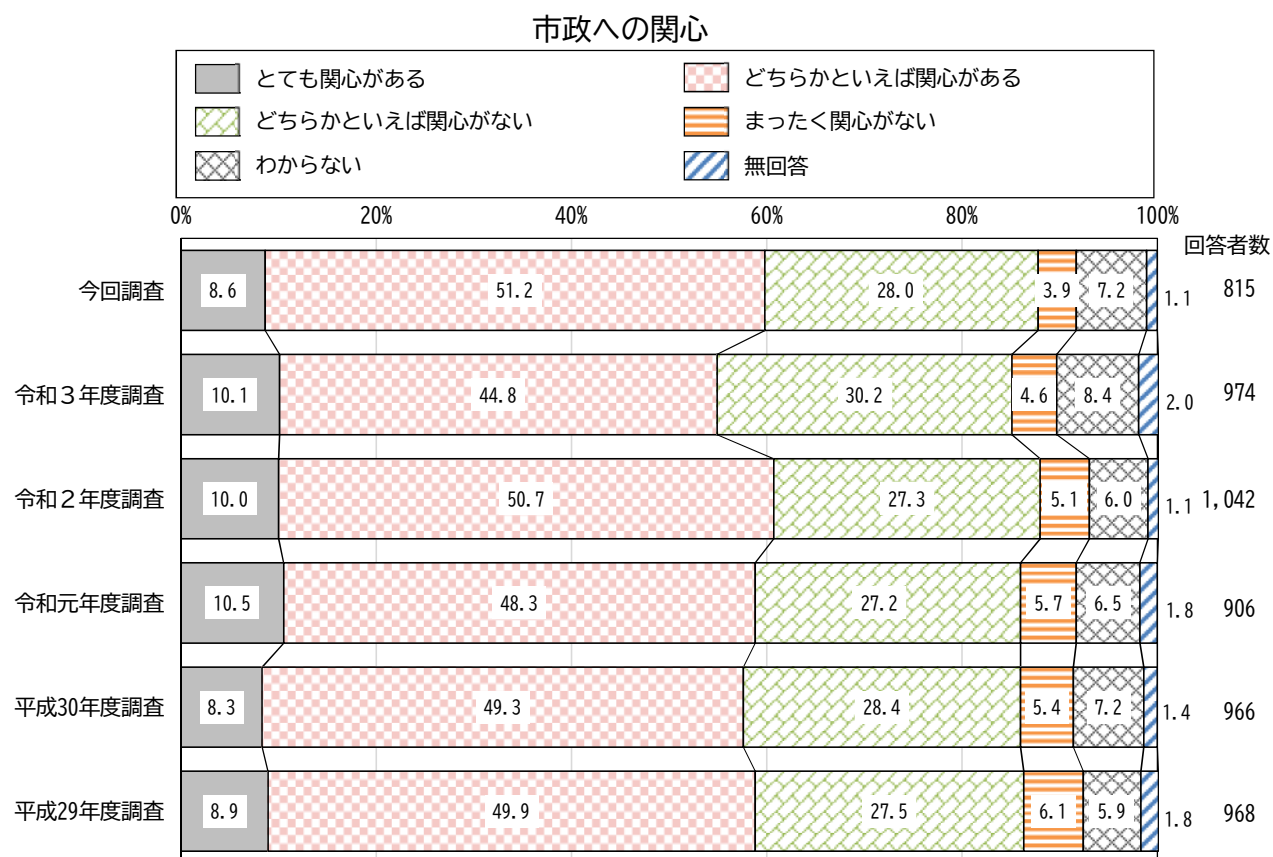
【居住歴別比較】

「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」と答えた人をあわせた割合は、20年以上30年未満（62.9%）の方が、5年以上10年未満（48.2%）より、14.7ポイント高くなっています。

<参考>

【過去の市政世論調査との比較】

- ◆ 市政に「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」と答えた人をあわせた割合は59.8%で、前回の調査と大きな変化は見られませんでした。

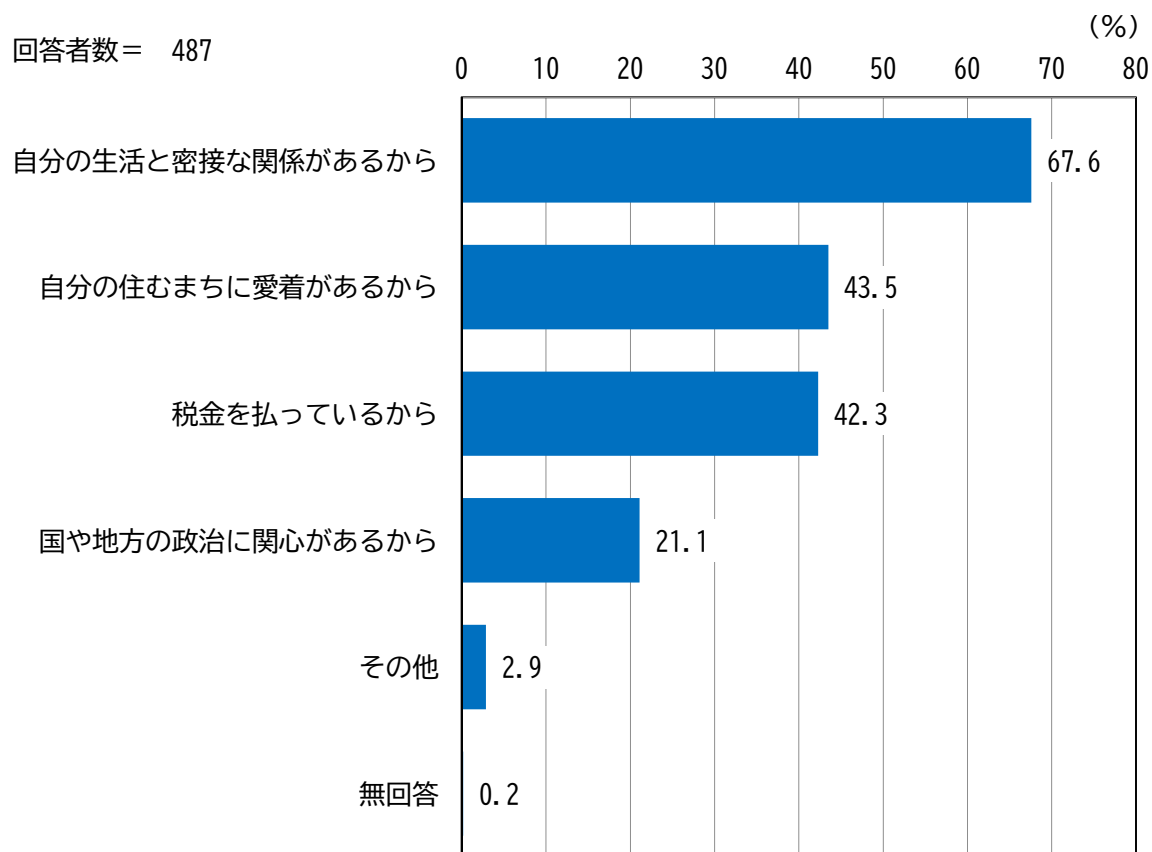


資料：名古屋市「市政世論調査」

(平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度
(今回の調査))

※各調査の詳細はP. 3参照

(2) 市政に関心がある理由 (問 17・MA)



- ◆ 市政に関心があると答えた人に、その理由をたずねたところ、「自分の生活と密接な関係があるから」(67.6%)と答えた人が約7割で最も多く、次いで「自分の住むまちに愛着があるから」(43.5%)、「税金を払っているから」(42.3%)と続いています。

		が自分の生活と密接な関係	あるから自分の住むまちに愛着が	税金を払っているから	あるから国や地方の政治に関心が	その他	無回答	回答者数
全体		67.6	43.5	42.3	21.1	2.9	0.2	487
性別	男性	62.8	53.1	36.2	29.0	3.9	0.0	207
	女性	70.8	37.2	46.4	15.7	2.2	0.4	274
年代別	10歳代	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	20歳代	70.0	30.0	46.7	20.0	3.3	0.0	30
	30歳代	74.2	35.5	58.1	12.9	3.2	0.0	62
	40歳代	79.4	34.9	55.6	22.2	3.2	0.0	63
	50歳代	67.7	41.7	40.6	16.7	4.2	0.0	96
	60歳代	68.2	48.9	44.3	22.7	1.1	0.0	88
	70歳以上	58.2	53.2	29.1	27.0	2.8	0.7	141
地出生別	名古屋市	63.0	50.0	40.3	22.7	2.8	0.5	216
	名古屋市以外	71.3	38.9	43.0	20.4	3.0	0.0	265
居住歴別	5年未満	79.3	27.6	31.0	17.2	3.4	0.0	29
	5年以上10年未満	77.8	25.9	63.0	7.4	3.7	0.0	27
	10年以上20年未満	72.7	34.5	45.5	20.0	3.6	0.0	55
	20年以上30年未満	77.0	36.1	52.5	19.7	0.0	0.0	61
	30年以上	62.5	49.8	38.8	23.3	3.2	0.3	309

(単位：%)

【性別比較】

「自分の住むまちに愛着があるから」と答えた人の割合は、男性(53.1%)の方が、女性(37.2%)より、15.9ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「自分の生活と密着な関係があるから」と答えた人の割合は、40歳代(79.4%)の方が、10歳代(50.0%)より、29.4ポイント高くなっています。

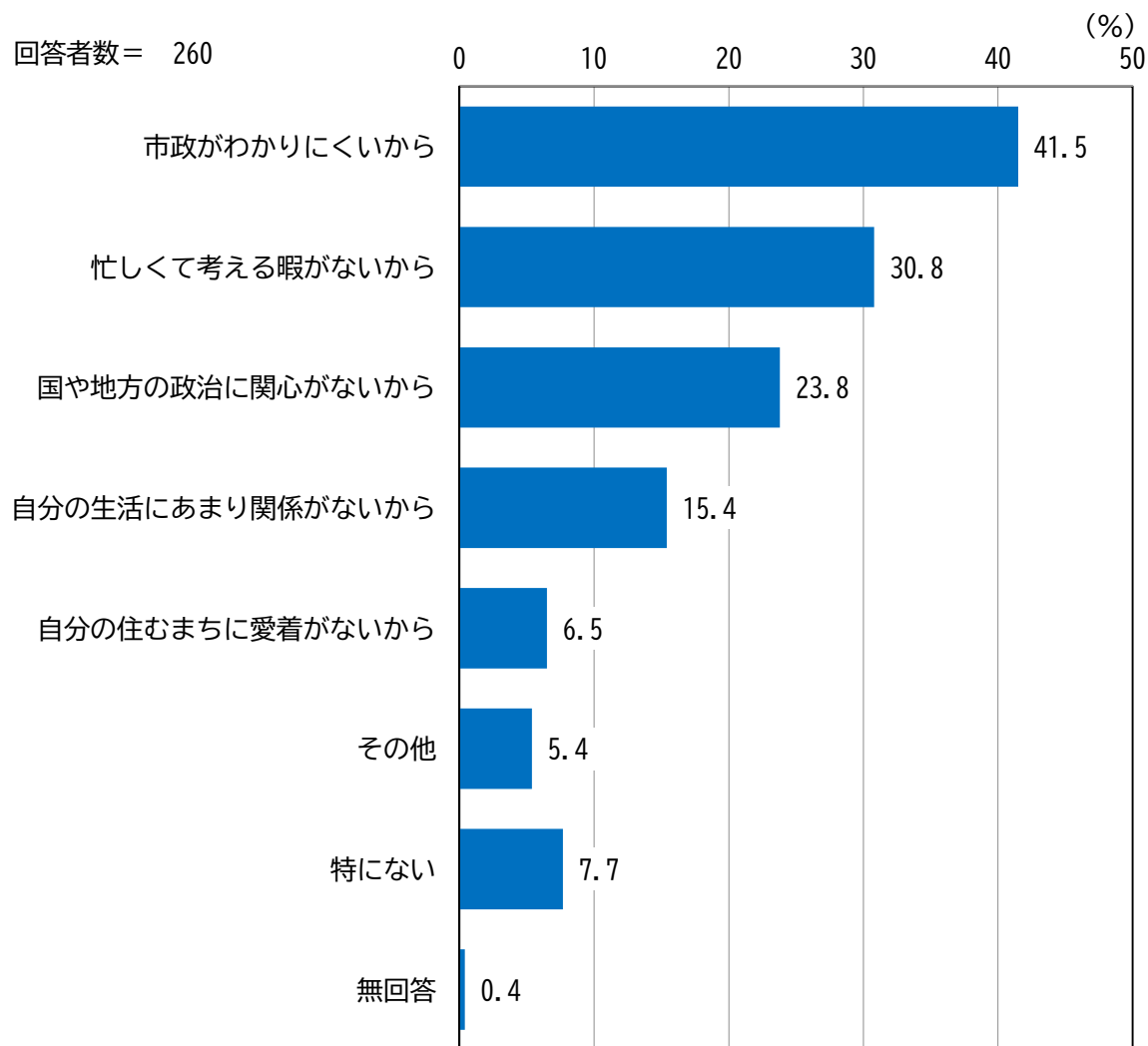
【出生地別比較】

「自分の住むまちに愛着があるから」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人(50.0%)の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人(38.9%)より、11.1ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

「自分の住むまちに愛着があるから」と答えた人の割合は、30年以上(49.8%)の方が、5年以上10年未満(25.9%)より、23.9ポイント高くなっています。

(3) 市政に関心がない理由 (問 18・MA)



- ◆ 市政に関心がないと答えた人に、その理由をたずねたところ、「市政がわかりにくいから」(41.5%)と答えた人が約4割で最も多く、次いで「忙しくて考える暇がないから」(30.8%)、「国や地方の政治に関心がないから」(23.8%)と続いています。

		市政がわかりにくいから	忙しくて考える暇がないから	国や地方の政治に関心がないから	自分の生活にあまり関係がないから	自分の住むまちに愛着がないから	その他	特に理由はない	無回答	回答者数
全体		41.5	30.8	23.8	15.4	6.5	5.4	7.7	0.4	260
性別	男性	33.7	27.4	23.2	18.9	8.4	7.4	10.5	1.1	95
	女性	47.2	32.7	24.5	12.6	5.7	4.4	5.7	0.0	159
年代別	10歳代	75.0	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4
	20歳代	30.4	39.1	21.7	17.4	4.3	8.7	4.3	0.0	23
	30歳代	45.5	40.9	13.6	6.8	4.5	6.8	4.5	0.0	44
	40歳代	39.1	43.5	28.3	10.9	4.3	6.5	2.2	0.0	46
	50歳代	43.9	31.6	26.3	8.8	8.8	7.0	3.5	0.0	57
	60歳代	40.4	19.1	25.5	21.3	8.5	4.3	14.9	2.1	47
	70歳以上	44.1	8.8	23.5	32.4	5.9	0.0	17.6	0.0	34
出生地別	名古屋市	40.5	30.6	30.6	15.7	4.1	5.8	7.4	0.0	121
	名古屋市以外	43.2	31.8	17.4	15.2	9.1	3.8	7.6	0.8	132
居住歴別	5年未満	33.3	50.0	29.2	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	24
	5年以上10年未満	40.7	25.9	3.7	14.8	18.5	7.4	7.4	0.0	27
	10年以上20年未満	56.3	31.3	18.8	12.5	6.3	0.0	6.3	0.0	32
	20年以上30年未満	45.2	41.9	25.8	9.7	6.5	9.7	6.5	0.0	31
	30年以上	39.0	25.7	27.2	19.1	3.7	5.1	9.6	0.7	136

(単位：%)

【性別比較】

「市政がわかりにくいから」と答えた人の割合は、女性（47.2%）の方が、男性（33.7%）より、13.5ポイント高くなっています。

【年代別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「忙しくて考える暇がないから」と答えた人の割合は、10歳代（50.0%）の方が、70歳以上（8.8%）より、41.2ポイント高くなっています。

【出生地別比較】

「国や地方の政治に関心がないから」と答えた人の割合は、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人（30.6%）の方が、名古屋市以外から引っ越してきた人（17.4%）より、13.2ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

標本数が少ないため比較は難しいですが、「忙しくて考える暇がないから」と答えた人の割合は、5年未満（50.0%）の方が、30年以上（25.7%）より、24.3ポイント高くなっています。

(4) 市政への評価と要望 (問 19・20)

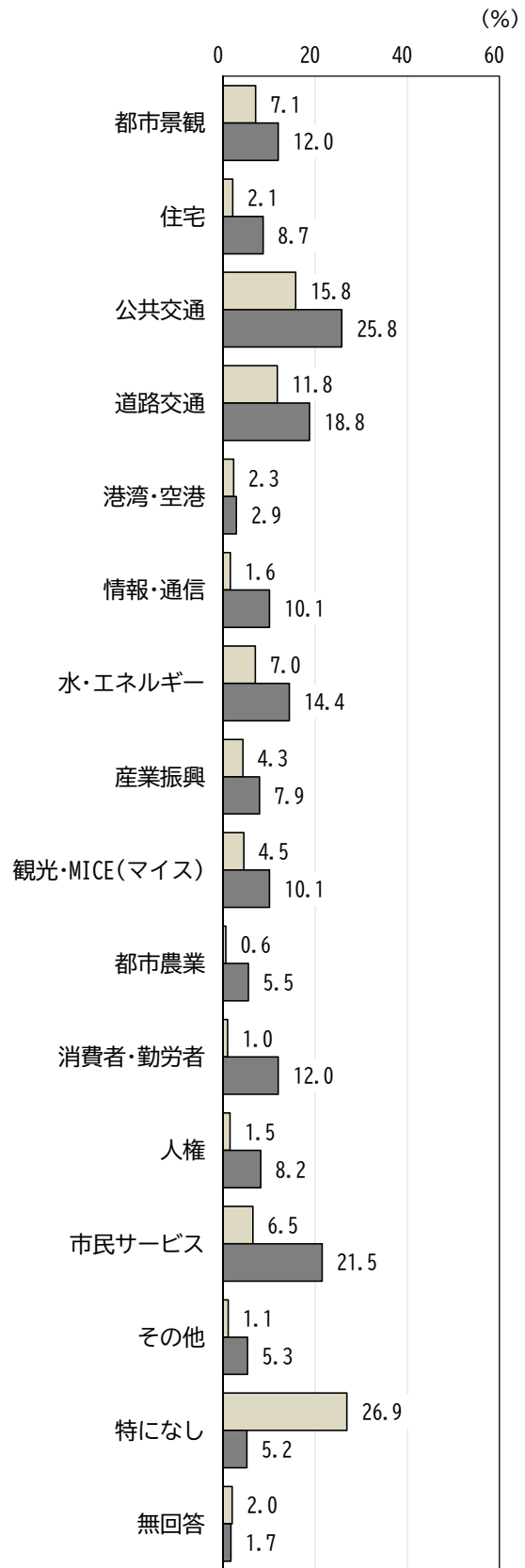
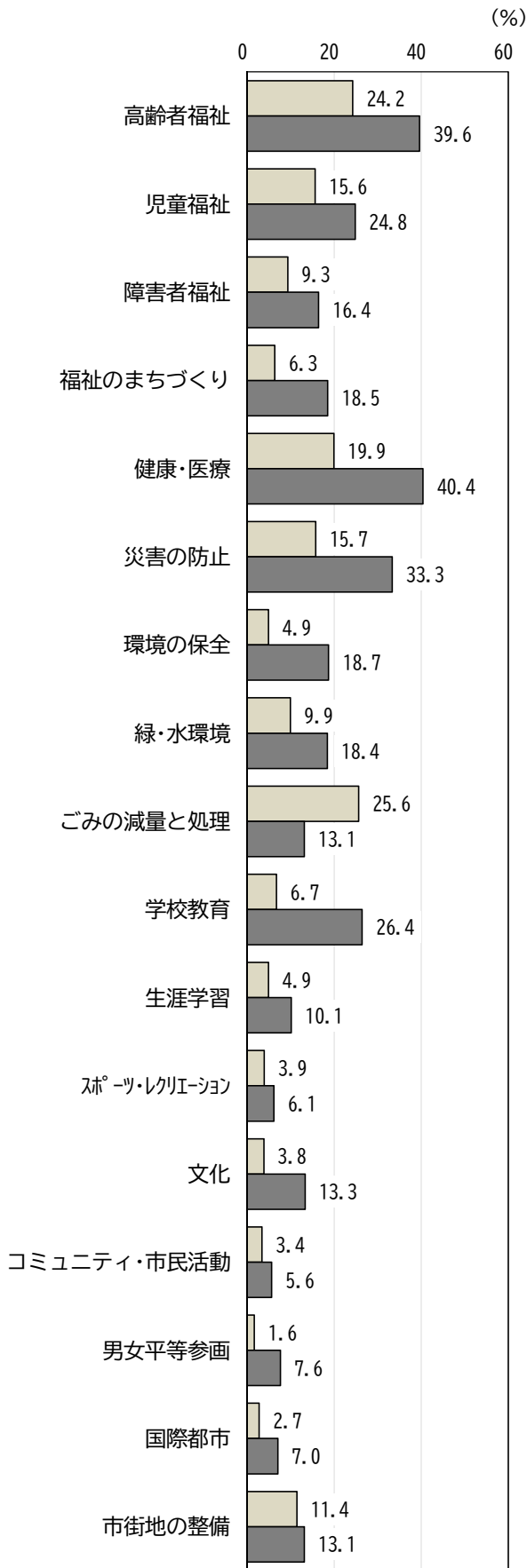
市政について、その評価と今後の要望をたずねました。

名古屋市基本構想に基づき構成した 30 項目(「その他」を除く)の中から、「特によく取り組んでいると思う」項目(問 19)及び「特に力を入れて進めてほしい」項目(問 20)を、それぞれ複数選んでもらう方式で行ったもので、同じ項目では平成 12 年度の第 39 回市政世論調査から実施しています。

以下の項目は、現在、名古屋市が進めている事業を分野別に 30 項目でまとめたものです。

		問 19 特によく 取り組んで いると思うこと	問 20 特に力を入 れて進め てほしいこと	
1	高齢者福祉	介護サービスの充実、高齢者が生きがいを感じ安心して暮らすための支援など	24.2	39.6
2	児童福祉	保育の充実、子どもや子育て家庭に対する支援、虐待への対策など	15.6	24.8
3	障害者福祉	障害者のための施設や制度の充実、仕事をもって暮らすための支援など	9.3	16.4
4	福祉のまちづくり	バリアフリーのまちづくり、高齢者の知恵や経験を生かした地域活動の推進など	6.3	18.5
5	健康・医療	市民の健康づくり、病気の予防、感染症対策や医療の充実など	19.9	40.4
6	災害の防止	地震対策や河川・下水道の水害対策、消防・救急の体制の充実など	15.7	33.3
7	環境の保全	温室効果ガスの排出抑制などの地球環境問題、公害防止への取り組みなど	4.9	18.7
8	緑・水環境	まちに緑を増やしたり、公園の整備やうろのおいのある水辺づくりへの取り組みなど	9.9	18.4
9	ごみの減量と処理	ごみの発生を抑えること、リサイクルの推進、処理施設の整備など	25.6	13.1
10	学校教育	幼児期から大学までの教育内容や教育環境の充実、保護者に対する経済的支援など	6.7	26.4
11	生涯学習	誰もが学びたいときに自由に学べるような環境づくりやそのための情報提供など	4.9	10.1
12	スポーツ・レクリエーション	スポーツやレクリエーション活動の普及、施設の整備など	3.9	6.1
13	文化	芸術や文化活動の支援、独自の魅力・文化の発信、文化財を守ることなど	3.8	13.3
14	コミュニティ・市民活動	住民が地域で活動するための条件整備や活動を活発にしていくことなど	3.4	5.6
15	男女平等参画	性別にかかわる人権侵害の解消、あらゆる分野における女性の活躍推進など	1.6	7.6
16	国際都市	国際交流の推進、外国人市民が暮らしやすいまちづくりなど	2.7	7.0
17	市街地の整備	土地の合理的な利用、まちの整備など	11.4	13.1
18	都市景観	魅力あるまちなみづくり、歴史的に重要な建築物の保存・活用など	7.1	12.0
19	住宅	質の高い住まいづくりや住まいの確保への支援など	2.1	8.7
20	公共交通	市バス・地下鉄などの公共交通の利便性向上や利用促進など	15.8	25.8
21	道路交通	車道や歩道など道路の整備、駐車・駐輪対策、交通安全対策など	11.8	18.8
22	港湾・空港	国際競争力をもつ港や空港を整備することなど	2.3	2.9
23	情報・通信	情報セキュリティの確保、安全で格差のない情報化の推進など	1.6	10.1
24	水・エネルギー	安心・安全でおいしい水道水の安定的な供給、地球環境に配慮したE1冷媒-利用の促進など	7.0	14.4
25	産業振興	中小企業や商店街の支援、企業誘致や創業支援、研究や開発の活発化など	4.3	7.9
26	観光・MICE(マイス)	観光客を増やしたり、国際会議や見本市などの MICE を誘致したりすることなど	4.5	10.1
27	都市農業	農業への支援、農業を通じた交流の推進など	0.6	5.5
28	消費者・勤労者	消費者を守る取り組み、ワーク・ライフ・バランスや就労支援の推進など	1.0	12.0
29	人権	人権が尊重され差別や偏見がない社会の実現をめざすことなど	1.5	8.2
30	市民サービス	情報公開や情報提供・情報発信の推進、区役所・支所などにおける市民の利便性を向上させることなど	6.5	21.5
31	その他		1.1	5.3
32	特になし		26.9	5.2
	無回答		2.0	1.7

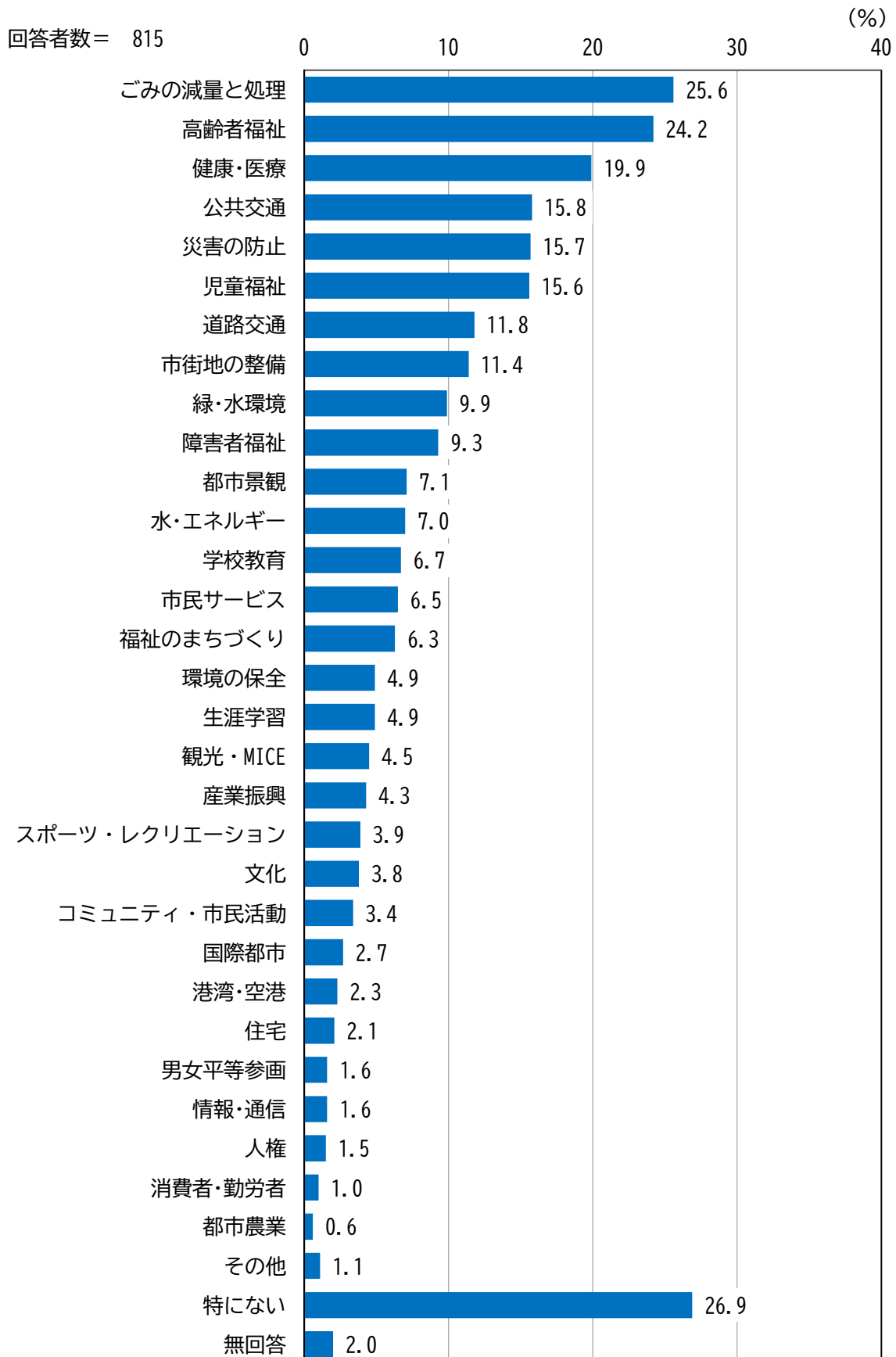
(単位：%)



問 19 名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと
 問 20 名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと

(4) ① 市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）（問19・MA）

名古屋市が特によく取り組んでいると思う事業の分野をたずねたところ、「ごみの減量と処理」（25.6%）、「高齢者福祉」（24.2%）が2割以上となり、これらに次いで「健康・医療」（19.9%）、「公共交通」（15.8%）、「災害の防止」（15.7%）と続いています。



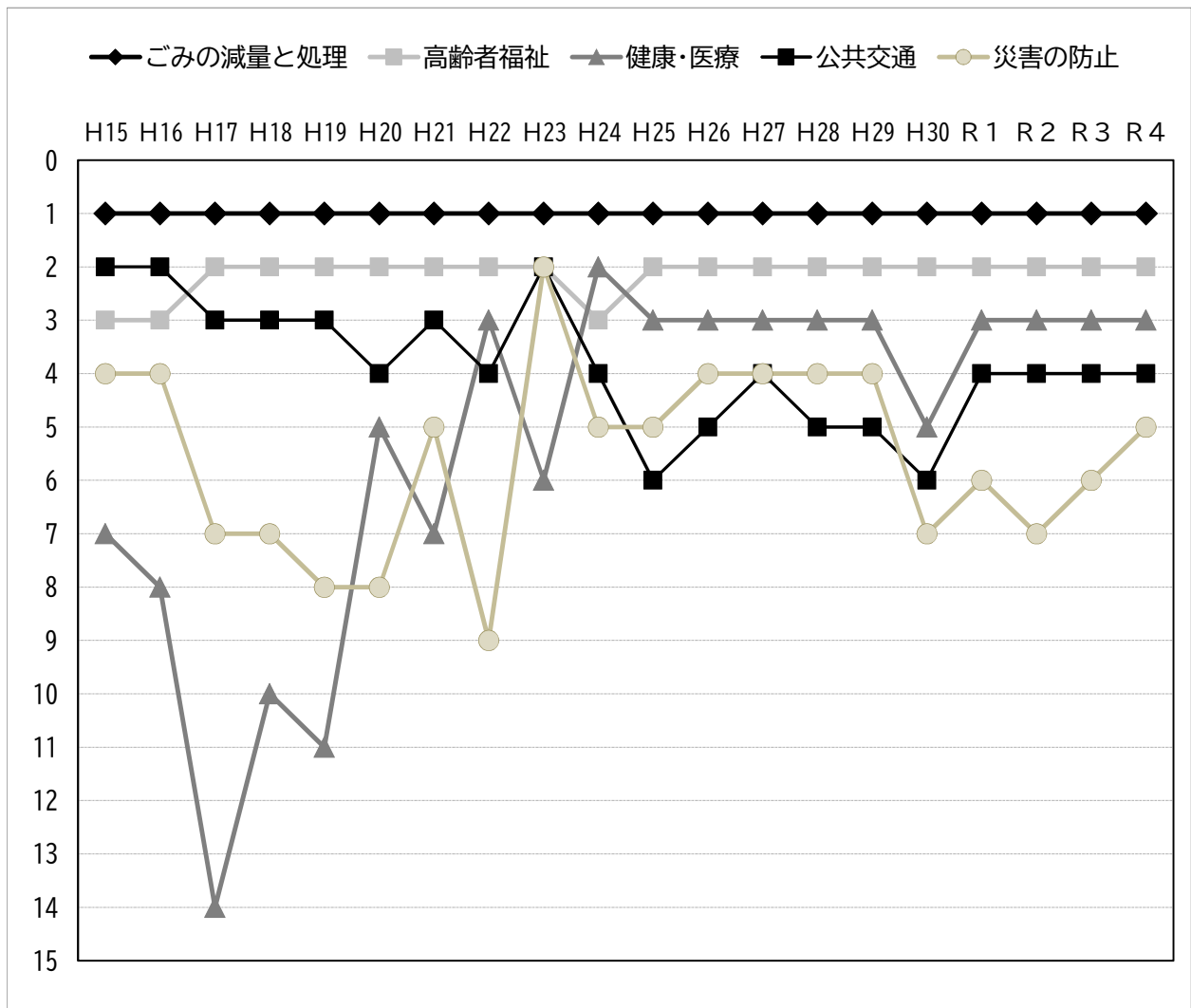
市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）で評価されたものの内、上位10項目は以下のとおりです。（以降、「特にない」は除きます。）

今回調査			前回調査		前回比較
順位	項目	%	順位	%	順位
1	ごみの減量と処理	25.6	①	21.7	→
2	高齢者福祉	24.2	②	20.8	→
3	健康・医療	19.9	③	17.7	→
4	公共交通	15.8	④	15.1	→
5	災害の防止	15.7	⑥	12.7	↑
6	児童福祉	15.6	⑤	14.3	↓
7	道路交通	11.8	⑧	11.4	↑
8	市街地の整備	11.4	⑦	11.5	↓
9	緑・水環境	9.9	11	7.3	↑
10	障害者福祉	9.3	⑨	8.1	↓

◆ 市政への評価では、「ごみの減量と処理」が前回の調査と同様に第1位でした。第2位の「高齢者福祉」、第3位の「健康・医療」、第4位の「公共交通」も前回の調査と同じ順位でした。

前回の調査と比較して、順位が上昇したのは、「災害の防止」、「道路交通」、「緑・水環境」でした。一方、順位が下降したのは、「児童福祉」、「市街地の整備」「障害者福祉」でした。

上位5項目の順位の経年変化（市政の評価）



- ◆ 「ごみの減量と処理」は毎年第1位となっています。
- ◆ 「高齢者福祉」は、平成25年度調査以降、毎年第2位となっています。
- ◆ 「健康・医療」は、平成25年度調査以降、平成30年度の第5位を除き毎年第3位となっています。
- ◆ 「公共交通」は、平成30年度は第6位でしたが、令和元年度以降は第4位となっています。
- ◆ 「災害の防止」は、平成26年度から平成29年度では第4位、平成30年度及び令和2年度では第7位、令和元年度および令和3年度は第6位でしたが、今回の調査では第5位となっています。

資料：名古屋市「市政世論調査」

（平成15年度、平成16年度、平成17年度、平成18年度、平成19年度、平成20年度、平成21年度、平成22年度、平成23年度、平成24年度、平成25年度、平成26年度、平成27年度、平成28年度、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度（今回の調査））

※各調査の詳細については、P. 3参照

市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）について、第1位から第5位までの傾向は、次のとおりです。（性別、年代別などのデータ一覧は、P.82 以降にあります。）

第1位 ごみの減量と処理（25.6%）

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

70歳以上（36.2%）の方が、30歳代（11.0%）より、25.2ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

瑞穂区（34.1%）の方が、中区（13.8%）より、20.3ポイント高くなっています。

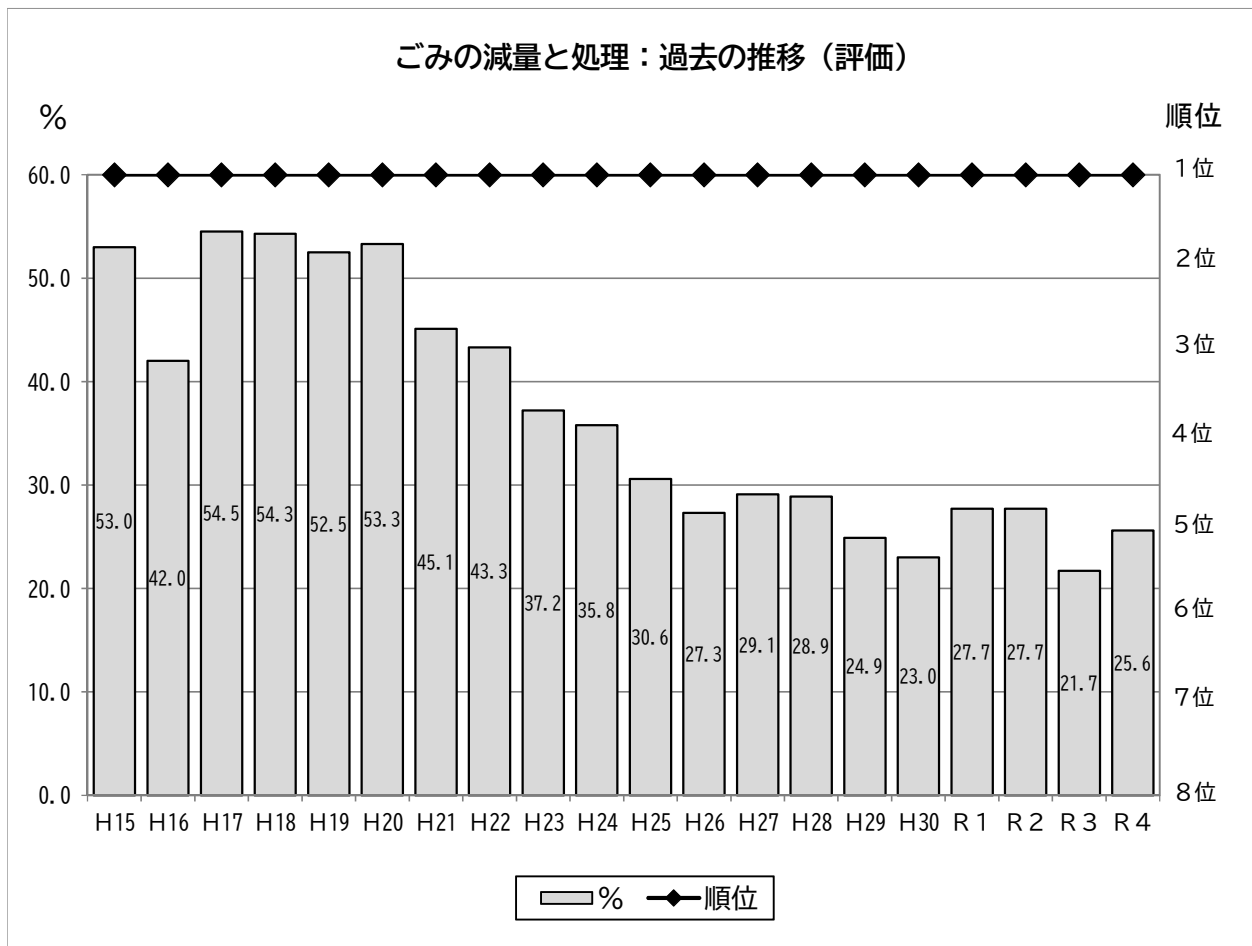
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

30年以上（30.6%）の方が、5年未満（8.8%）より、21.8ポイント高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P.3参照）。

第2位 高齢者福祉 (24.2%)

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

70歳以上 (43.2%)の方が、30歳代 (11.9%)より、31.3ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

中村区 (39.2%)の方が、東区 (12.0%)より、27.2ポイント高くなっています。

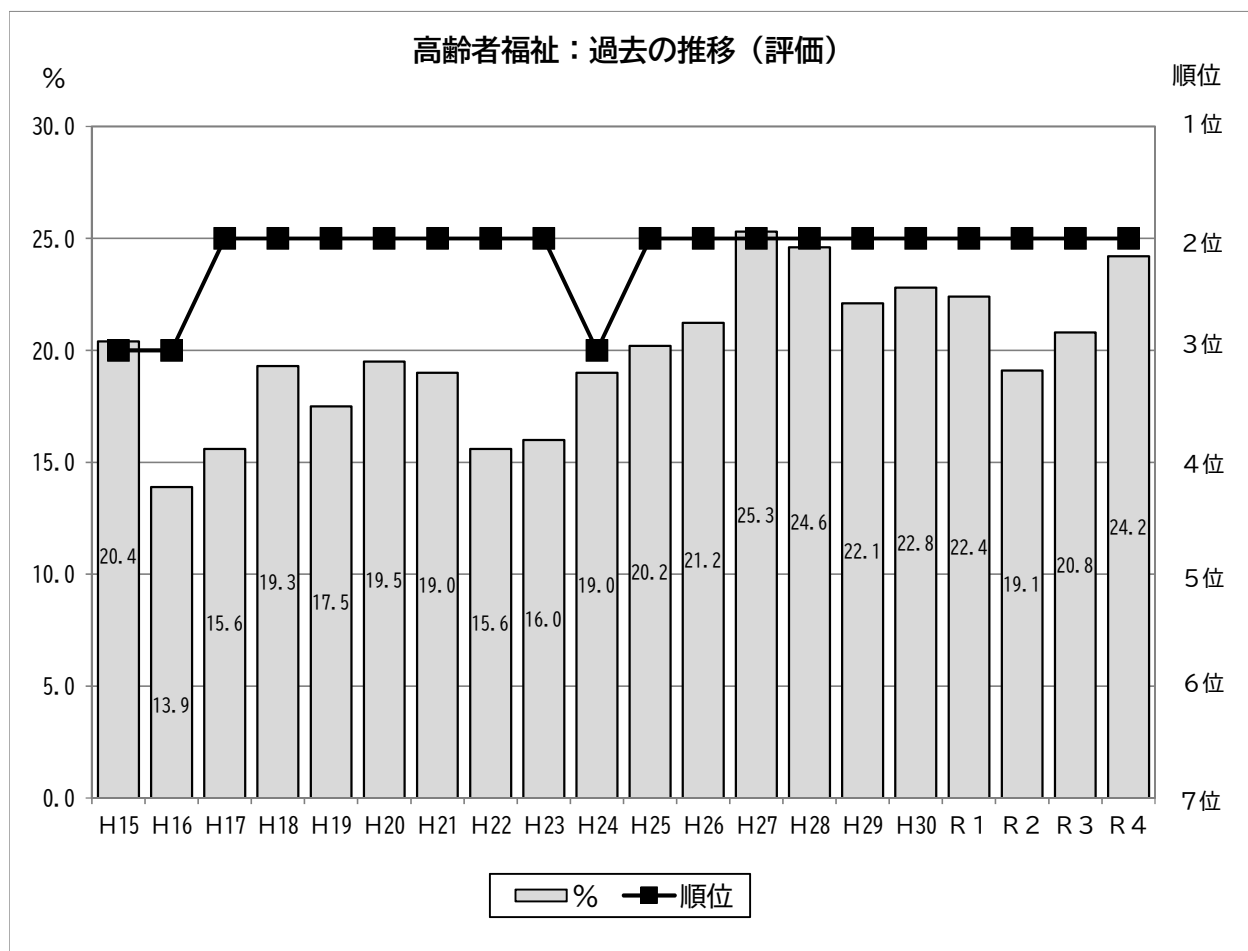
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

30年以上 (29.2%)の方が、5年以上10年未満 (10.7%)より、18.5ポイント高くなっています。

【過去の推移 (比率、順位)】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています (各調査の詳細については、P. 3参照)。

第3位 健康・医療 (19.9%)

【性別比較】

男性 (23.2%) の方が、女性 (17.9%) より、5.3 ポイント高くなっています。

【年代別比較】

70 歳以上 (26.6%) の方が、20 歳代 (10.2%) より、16.4 ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

熱田区 (42.1%) の方が、西区 (8.6%) より、33.5 ポイント高くなっています。

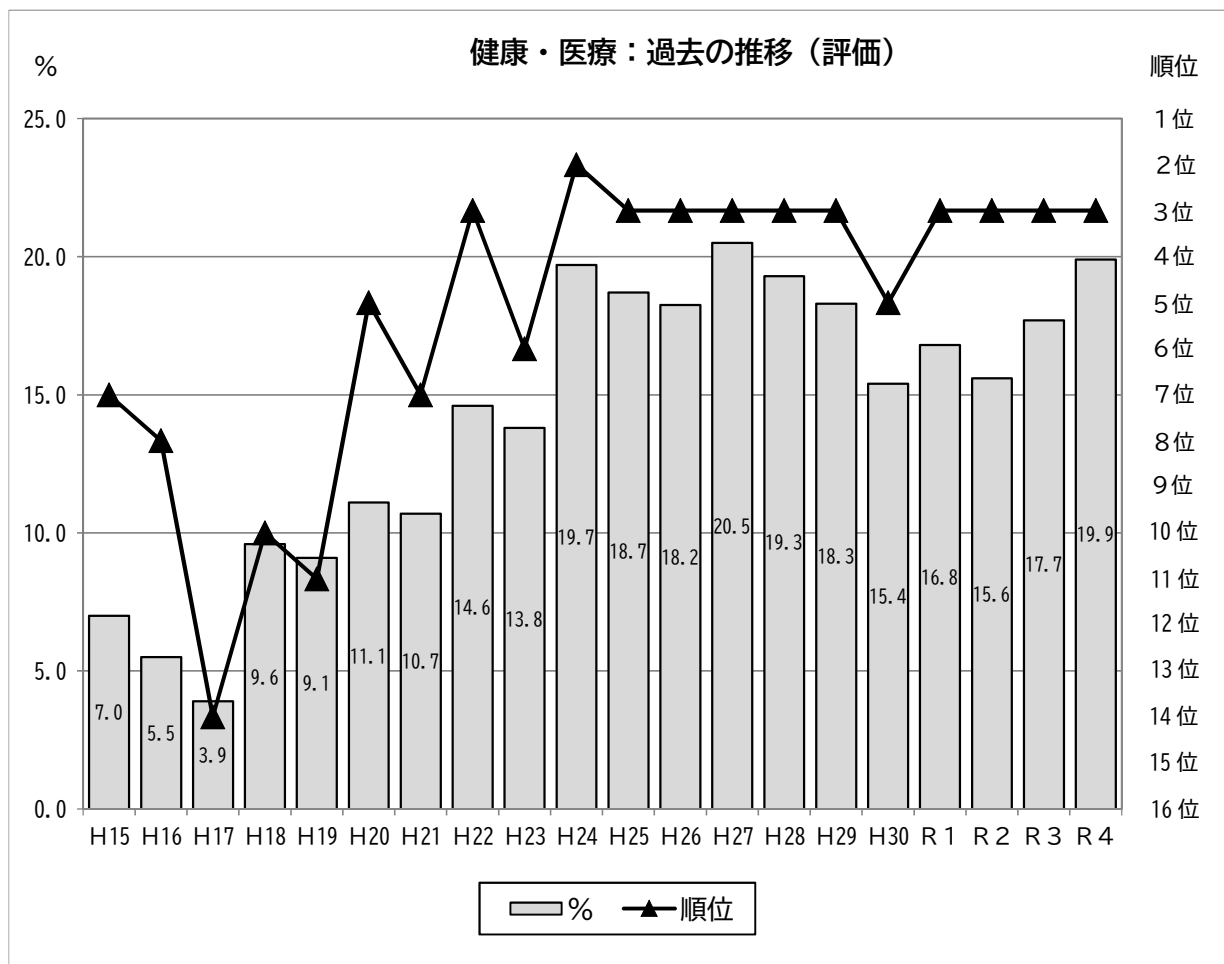
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

10 年以上 20 年未満 (26.4%) の方が、20 年以上 30 年未満 (11.3%) より、15.1 ポイント高くなっています。

【過去の推移 (比率、順位)】



注：質問に対して選択できる数は、平成 17 年度まで 3 つとしていましたが、平成 18 年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています (各調査の詳細については、P. 3 参照)。

第4位 公共交通（15.8%）

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

20歳代（23.7%）の方が、30歳代（11.0%）より、12.7ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

名東区（28.3%）の方が、東区（8.0%）より、20.3ポイント高くなっています。

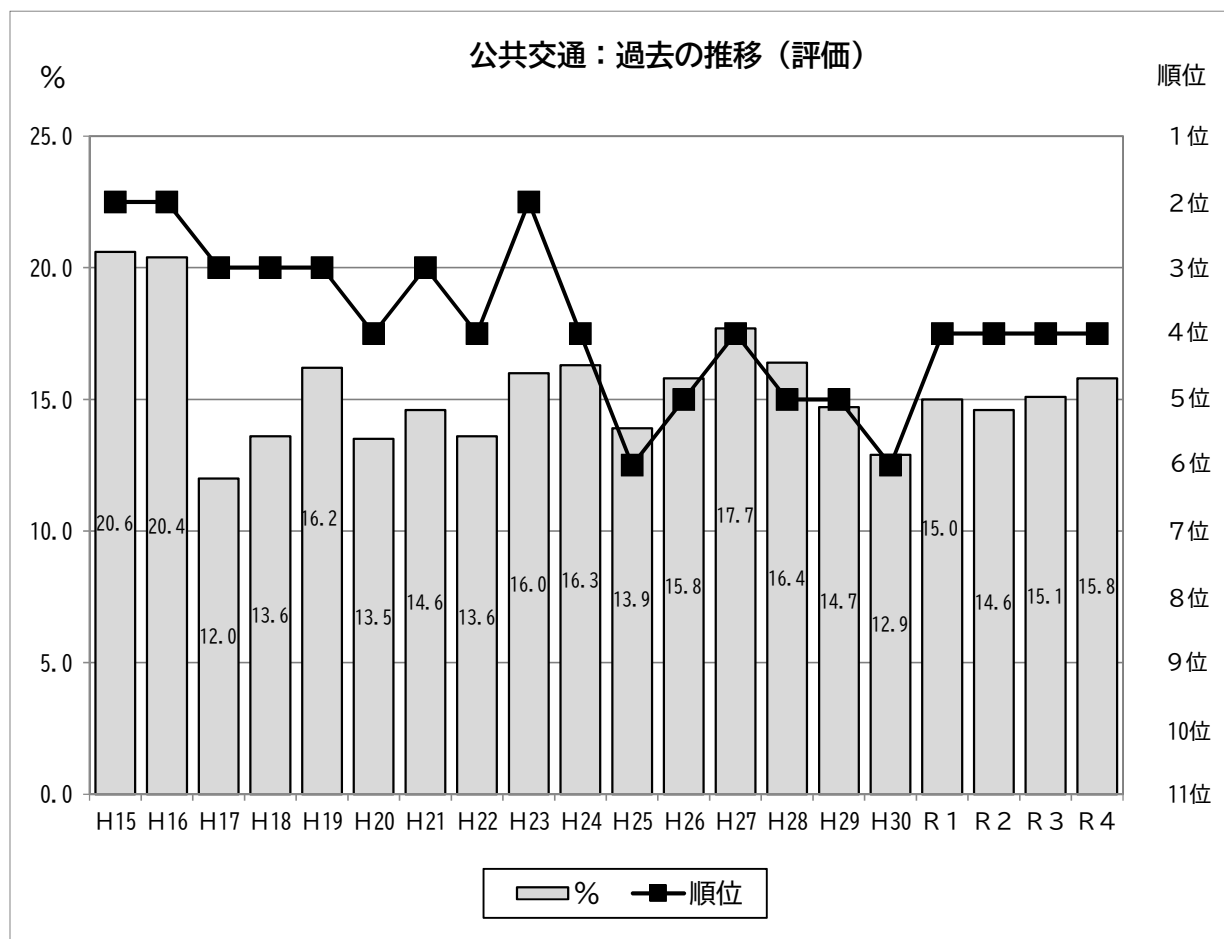
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

5年未満（17.5%）の方が、5年以上10年未満（10.7%）より、6.8ポイント高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P.3参照）。

第5位 災害の防止 (15.7%)

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

50歳代 (18.1%) の方が、20歳代 (8.5%) より、9.6ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

熱田区 (47.4%) の方が、千種区 (3.8%) より、43.6ポイント高くなっています。

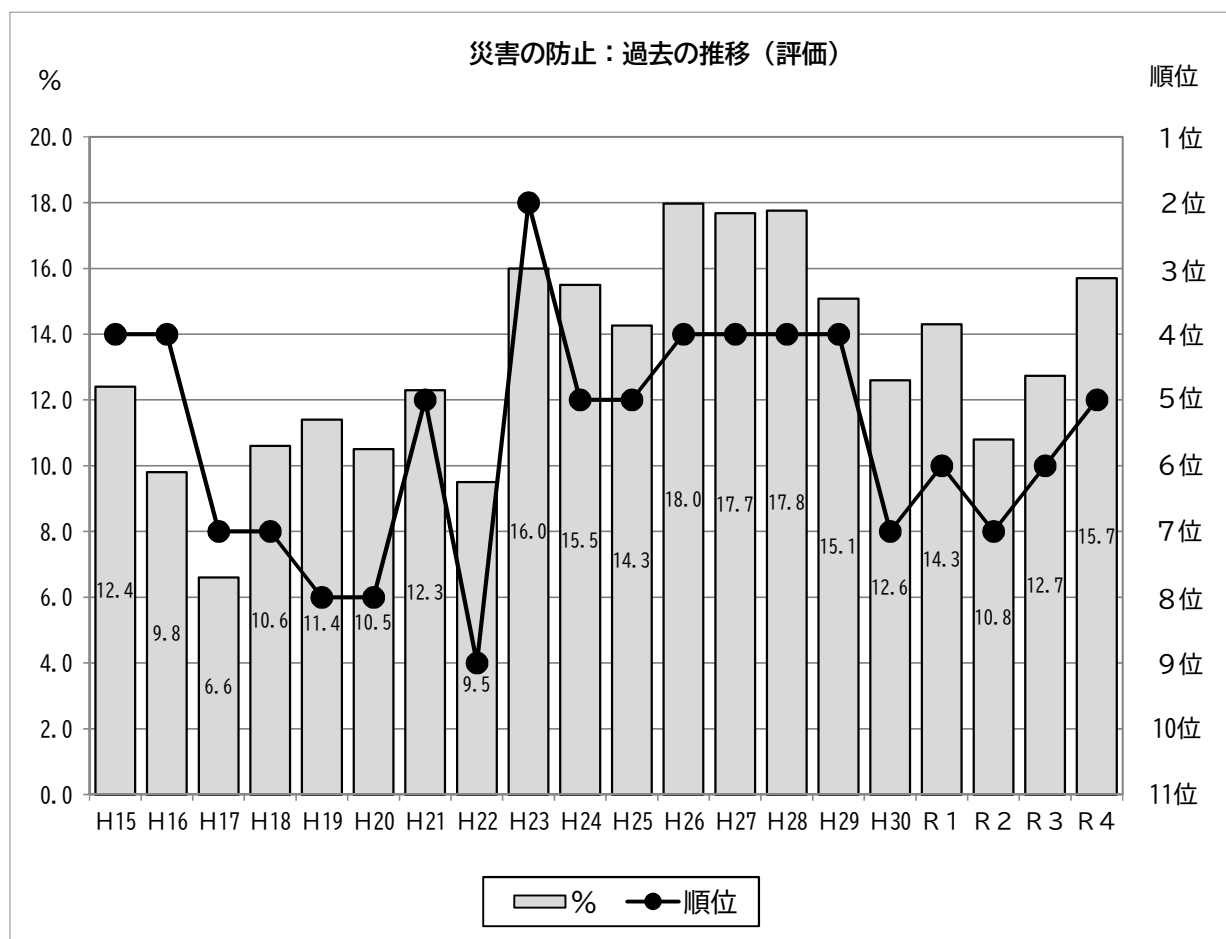
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

30年以上 (17.3%) の方が、5年未満 (10.5%) より、6.8ポイント高くなっています。

【過去の推移 (比率、順位)】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています (各調査の詳細については、P. 3参照)。

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体	ごみの減量と処理 25.6%	高齢者福祉 24.2%	健康・医療 19.9%	公共交通 15.8%	災害の防止 15.7%

性別	男性	ごみの減量と処理 24.2%	/	健康・医療 23.2%	災害の防止 18.3%	公共交通 14.1%
		高齢者福祉 24.2%				児童福祉 14.1%
女性	女性	ごみの減量と処理 26.7%	高齢者福祉 24.4%	健康・医療 17.9%	公共交通 17.3%	市街地の整備 14.1%
		児童福祉 16.8%				

年代別	10歳代	高齢者福祉 33.3%	/	/	※1	/
		健康・医療 33.3%				
		災害の防止 33.3%				
	20歳代	公共交通 23.7%	/	道路交通 20.3%	高齢者福祉 16.9%	市街地の整備 15.3%
		児童福祉 23.7%				
	30歳代	児童福祉 20.2%	市街地の整備 16.5%	健康・医療 13.8%	/	高齢者福祉 11.9%
		都市景観 13.8%		災害の防止 11.9%		
40歳代	健康・医療 19.4%	ごみの減量と処理 18.5%	高齢者福祉 16.1%	市街地の整備 15.3%	児童福祉 14.5%	
50歳代	ごみの減量と処理 24.4%	災害の防止 18.1%	健康・医療 16.3%	高齢者福祉 14.4%	公共交通 13.1%	
60歳代	ごみの減量と処理 34.7%	高齢者福祉 27.9%	健康・医療 24.5%	災害の防止 17.7%	/	
				児童福祉 16.8%		
70歳以上	高齢者福祉 43.2%	ごみの減量と処理 36.2%	健康・医療 26.6%	公共交通 20.6%	災害の防止 17.1%	

※1 道路交通、市街地の整備、緑・水環境、産業振興、文化 同率 16.7%

【上位5項目の性別順位比較】

男女共に「ごみの減量と処理」、「高齢者福祉」、「健康・医療」、「公共交通」が上位5項目内に入っています。一方、女性では上位5項目外の「災害の防止」が、男性では第4位となっています。

【上位5項目の年代別順位比較】

「ごみの減量と処理」は、50歳代、60歳代で第1位、40歳代、70歳以上で第2位となっています。

「高齢者福祉」は、70歳以上で第1位、60歳代で第2位となっています。

「児童福祉」は20歳代、30歳代で第1位となっています。

問 19 市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）（その1）

		ごみの減量と処理	高齢者福祉	健康・医療	公共交通	災害の防止	児童福祉	道路交通	市街地の整備	緑・水環境	障害者福祉	都市景観	水・エネルギー	学校教育	市民サービス	福祉のまちづくり	環境の保全	生涯学習
全体		25.6	24.2	19.9	15.8	15.7	15.6	11.8	11.4	9.9	9.3	7.1	7.0	6.7	6.5	6.3	4.9	4.9
性別	男性	24.2	24.2	23.2	14.1	18.3	14.1	12.8	14.1	12.5	9.5	8.6	8.0	6.4	7.3	5.5	5.8	4.9
	女性	26.7	24.4	17.9	17.3	13.7	16.8	10.5	9.7	8.2	9.5	6.3	6.5	7.2	6.1	6.9	4.0	5.1
年代別	10歳代	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	13.6	16.9	10.2	23.7	8.5	23.7	20.3	15.3	5.1	6.8	1.7	6.8	10.2	1.7	8.5	3.4	0.0
	30歳代	11.0	11.9	13.8	11.0	11.9	20.2	10.1	16.5	6.4	8.3	13.8	2.8	5.5	4.6	5.5	1.8	2.8
	40歳代	18.5	16.1	19.4	12.1	13.7	14.5	12.9	15.3	4.8	5.6	4.8	4.0	8.1	8.1	2.4	4.8	4.0
	50歳代	24.4	14.4	16.3	13.1	18.1	10.6	8.1	8.1	10.0	7.5	7.5	6.3	5.0	5.0	5.0	6.3	3.8
	60歳代	34.7	27.9	24.5	17.0	17.7	17.7	12.2	10.2	15.6	10.2	6.8	6.8	8.8	6.1	8.2	4.8	8.2
	70歳以上	36.2	43.2	26.6	20.6	17.1	14.6	11.1	8.5	12.1	14.6	7.0	12.6	6.0	10.1	8.0	5.5	7.0
居住区別	千種区	32.7	21.2	25.0	17.3	3.8	17.3	7.7	13.5	17.3	11.5	15.4	9.6	7.7	13.5	5.8	3.8	1.9
	東区	16.0	12.0	12.0	8.0	4.0	8.0	8.0	16.0	4.0	0.0	16.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	8.0
	北区	23.8	22.2	20.6	17.5	11.1	17.5	14.3	6.3	14.3	11.1	6.3	4.8	7.9	7.9	3.2	4.8	4.8
	西区	20.7	17.2	8.6	19.0	19.0	10.3	10.3	10.3	10.3	5.2	8.6	13.8	3.4	6.9	8.6	12.1	3.4
	中村区	21.6	39.2	19.6	13.7	15.7	21.6	13.7	7.8	7.8	15.7	3.9	0.0	9.8	5.9	3.9	3.9	5.9
	中区	13.8	20.7	13.8	17.2	10.3	10.3	10.3	20.7	6.9	6.9	3.4	10.3	3.4	10.3	3.4	3.4	0.0
	昭和区	23.3	20.9	18.6	11.6	11.6	14.0	11.6	7.0	7.0	4.7	11.6	4.7	7.0	0.0	11.6	2.3	4.7
	瑞穂区	34.1	17.1	12.2	19.5	12.2	24.4	9.8	4.9	4.9	9.8	7.3	4.9	7.3	7.3	7.3	7.3	4.9
	熱田区	26.3	26.3	42.1	15.8	47.4	15.8	21.1	31.6	0.0	5.3	5.3	21.1	5.3	15.8	10.5	10.5	15.8
	中川区	25.0	29.2	19.4	12.5	16.7	16.7	6.9	8.3	11.1	13.9	9.7	4.2	6.9	6.9	5.6	2.8	1.4
	港区	23.1	35.9	23.1	28.2	25.6	20.5	23.1	23.1	15.4	20.5	10.3	12.8	15.4	10.3	10.3	7.7	7.7
	南区	26.9	23.1	23.1	11.5	17.3	13.5	3.8	7.7	5.8	9.6	0.0	3.8	7.7	5.8	7.7	1.9	3.8
	守山区	17.3	25.0	15.4	9.6	15.4	11.5	5.8	7.7	7.7	3.8	1.9	3.8	3.8	5.8	3.8	3.8	5.8
	緑区	32.3	22.6	16.1	16.1	17.2	16.1	11.8	12.9	9.7	6.5	1.1	6.5	5.4	3.2	3.2	4.3	6.5
	名東区	32.1	24.5	30.2	28.3	20.8	13.2	17.0	17.0	18.9	11.3	9.4	9.4	5.7	5.7	11.3	5.7	3.8
	天白区	27.3	27.3	34.5	12.7	16.4	16.4	18.2	9.1	7.3	10.9	9.1	12.7	7.3	5.5	7.3	3.6	9.1
地出生別	名古屋市	26.7	25.7	17.9	15.8	15.0	16.3	10.4	10.7	7.8	9.9	6.1	8.0	5.3	5.3	6.1	4.8	3.7
	名古屋市以外	24.5	23.1	22.4	16.0	16.5	15.5	12.7	12.2	12.0	9.2	8.2	6.1	8.2	7.5	6.6	4.9	6.1
居住歴別	5年未満	8.8	14.0	19.3	17.5	10.5	8.8	8.8	12.3	8.8	3.5	7.0	1.8	7.0	5.3	1.8	1.8	3.5
	5年以上10年未満	16.1	10.7	21.4	10.7	12.5	23.2	8.9	12.5	10.7	10.7	5.4	1.8	7.1	7.1	1.8	5.4	1.8
	10年以上20年未満	19.8	17.6	26.4	16.5	14.3	16.5	15.4	13.2	6.6	7.7	5.5	3.3	11.0	8.8	8.8	4.4	3.3
	20年以上30年未満	20.6	20.6	11.3	15.5	14.4	16.5	15.5	15.5	7.2	6.2	9.3	6.2	6.2	4.1	5.2	2.1	5.2
	30年以上	30.6	29.2	20.9	16.7	17.3	15.5	10.9	10.3	11.3	11.1	7.4	9.3	6.2	6.6	7.0	5.6	5.8

(単位：%)

問 19 市政への評価（名古屋市が特によく取り組んでいると思うこと）（その2）

		観光・コンベンション	産業振興	スポーツ・レクリエーション	文化	コミュニティ・市民活動	国際都市	港湾・空港	住宅	男女平等参画	情報・通信	人権	消費者・勤労者	都市農業	その他	特にない	無回答	回答者数
全 体		4.5	4.3	3.9	3.8	3.4	2.7	2.3	2.1	1.6	1.6	1.5	1.0	0.6	1.1	26.9	2.0	815
性別	男性	5.5	5.2	4.0	4.9	4.3	3.1	2.8	3.1	1.5	0.9	2.4	2.1	0.9	1.2	27.8	2.4	327
	女性	4.0	3.8	3.8	3.2	2.9	2.5	2.1	1.5	1.7	2.1	0.8	0.2	0.4	1.1	26.1	1.7	475
年代別	10歳代	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	6
	20歳代	1.7	8.5	3.4	6.8	0.0	3.4	1.7	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.6	0.0	59
	30歳代	9.2	1.8	2.8	3.7	1.8	3.7	0.9	0.9	2.8	1.8	3.7	1.8	0.9	0.9	30.3	0.9	109
	40歳代	6.5	2.4	6.5	2.4	1.6	2.4	1.6	0.8	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	1.6	25.0	2.4	124
	50歳代	6.3	5.6	5.6	5.6	1.3	2.5	3.8	2.5	0.6	1.9	0.6	1.3	0.6	1.3	28.7	1.9	160
	60歳代	2.0	4.1	2.7	1.4	5.4	1.4	3.4	2.7	2.0	0.7	0.0	0.0	0.0	1.4	21.1	2.7	147
	70歳以上	2.5	4.5	3.0	4.0	7.0	3.5	2.0	2.5	2.0	3.5	3.0	1.5	1.5	1.0	26.6	2.5	199
居住区別	千種区	0.0	5.8	5.8	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	1.9	3.8	19.2	5.8	52
	東区	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	8.0	25
	北区	6.3	1.6	0.0	4.8	1.6	1.6	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	31.7	0.0	63
	西区	3.4	1.7	3.4	5.2	3.4	3.4	3.4	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	31.0	3.4	58
	中村区	2.0	5.9	3.9	3.9	5.9	5.9	7.8	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	3.9	25.5	2.0	51
	中区	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	37.9	3.4	29
	昭和区	11.6	4.7	2.3	0.0	7.0	4.7	0.0	2.3	4.7	4.7	2.3	2.3	2.3	0.0	37.2	2.3	43
	瑞穂区	2.4	2.4	9.8	0.0	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	24.4	0.0	41
	熱田区	10.5	5.3	5.3	10.5	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0	15.8	5.3	19
	中川区	4.2	5.6	4.2	4.2	1.4	4.2	1.4	1.4	1.4	2.8	1.4	1.4	0.0	2.8	33.3	1.4	72
	港区	7.7	10.3	5.1	7.7	7.7	2.6	7.7	2.6	2.6	7.7	5.1	5.1	2.6	0.0	17.9	2.6	39
	南区	3.8	3.8	1.9	5.8	3.8	3.8	0.0	0.0	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	1.9	34.6	0.0	52
	守山区	1.9	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	25.0	3.8	52
	緑区	3.2	1.1	4.3	1.1	2.2	1.1	0.0	6.5	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	26.9	0.0	93
	名東区	9.4	9.4	5.7	9.4	3.8	9.4	3.8	3.8	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	17.0	0.0	53
	天白区	5.5	9.1	9.1	9.1	1.8	0.0	5.5	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	20.0	1.8	55
地出生別	名古屋市	2.9	3.2	3.5	2.1	2.7	1.6	2.9	1.9	1.1	1.1	0.8	0.8	0.3	1.3	29.7	1.6	374
	名古屋市以外	6.1	5.4	4.5	5.4	4.2	3.5	1.9	2.4	2.1	2.1	2.1	1.2	0.9	0.9	24.0	2.1	425
居住歴別	5年未満	5.3	3.5	1.8	8.8	1.8	3.5	1.8	3.5	1.8	1.8	3.5	0.0	0.0	0.0	33.3	5.3	57
	5年以上10年未満	7.1	8.9	5.4	7.1	1.8	3.6	3.6	3.6	1.8	3.6	0.0	0.0	1.8	1.8	19.6	3.6	56
	10年以上20年未満	8.8	8.8	5.5	7.7	1.1	4.4	1.1	2.2	1.1	1.1	2.2	2.2	0.0	0.0	16.5	0.0	91
	20年以上30年未満	4.1	5.2	6.2	4.1	4.1	2.1	2.1	3.1	2.1	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	28.9	2.1	97
	30年以上	3.6	3.0	3.4	2.2	4.2	2.2	2.6	1.6	1.6	1.6	1.4	0.8	0.8	1.6	28.0	1.8	497

(単位：%)

問 19 市政への評価（時系列）（その1）

	平成14年度		平成19年度		平成24年度		平成29年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1 高齢者福祉	②	20.3	②	17.5	③	19.0	②	22.1
2 児童福祉	14	4.1	⑦	11.9	⑧	11.7	⑥	14.6
3 障害者福祉	11	4.8	⑩	9.5	⑩	8.3	⑩	9.3
4 福祉のまちづくり	⑧	6.1	15	6.4	16	6.4	17	5.5
5 健康・医療	⑦	6.5	11	9.1	②	19.7	③	18.3
6 災害の防止	④	12.8	⑧	11.4	⑤	15.5	④	15.1
7 環境の保全	17	3.5	14	7.1	18	5.0	23	3.6
8 緑・水環境	⑤	9.6	⑨	10.0	⑨	10.2	11	6.8
9 ごみの減量と処理	①	60.1	①	52.5	①	35.8	①	24.9
10 学校教育	22	2.1	23	2.6	22	4.4	20	4.9
11 生涯学習	⑩	4.9	13	7.4	13	6.8	14	6.0
12 スポーツ・レクリエーション	⑨	5.2	20	4.9	20	4.8	21	4.0
13 文化	18	3.4	24	2.4	18	5.0	13	6.2
14 コミュニティ・市民活動	20	2.9	18	5.7	17	5.7	22	3.7
15 男女平等参画	25	1.4	27	1.2	29	1.3	26	1.0
16 国際都市	23	1.5	17	6.1	24	2.5	19	5.0
17 市街地の整備	16	3.7	⑤	12.8	⑦	12.0	⑨	10.8
18 都市景観	14	4.1	12	7.6	14	6.7	12	6.4
19 住宅	21	2.4	22	3.4	24	2.5	25	1.7
20 公共交通	③	13.1	③	16.2	④	16.3	⑤	14.7
21 道路交通	⑥	7.5	④	15.5	⑥	13.0	⑧	11.6
22 港湾・空港	12	4.7	⑤	12.8	23	3.7	24	2.6
23 情報・通信	26	0.6	26	2.2	27	1.5	27	0.9
24 水・エネルギー	13	4.5	19	5.0	15	6.6	17	5.5
25 産業振興	29	0.4	16	6.2	21	4.5	16	5.8
26 観光・MICE	23	1.5	25	2.3	12	7.1	⑥	14.6
27 都市農業	30	0.1	30	0.4	30	0.9	29	0.5
28 消費者・勤労者	28	0.5	28	0.8	27	1.5	28	0.7
29 人権	26	0.6	29	0.6	26	1.6	29	0.5
30 市民サービス	19	3.3	21	3.5	11	7.6	15	5.9
31 その他	-	0.2	-	1.2	-	1.0	-	2.8
32 特になし	-	14.9	-	23.0	-	25.1	-	26.0
※ 無回答	-	2.1	-	2.5	-	3.6	-	4.8

注：％が小数点以下第1位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。

注：質問に対して選択できる数は、平成17年度までは3つとしていましたが、平成18年度より
あてはまるものすべてを選択できるようになりました。

問 19 市政への評価（時系列）（その2）

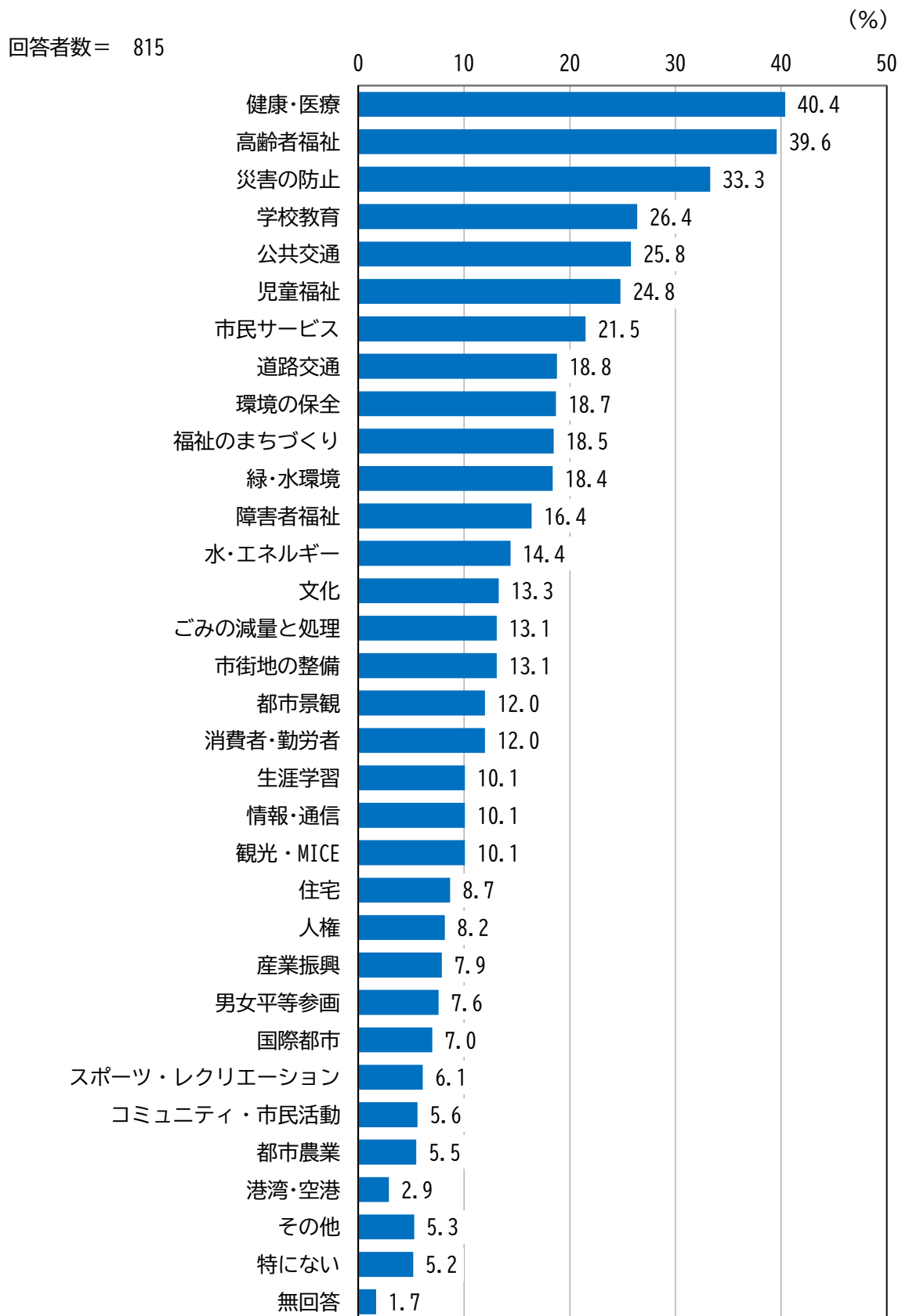
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1 高齢者福祉	②	22.8	②	22.4	②	19.1	②	20.8	②	24.2
2 児童福祉	④	15.7	④	15.0	⑤	12.4	⑤	14.3	⑥	15.6
3 障害者福祉	11	8.6	⑩	8.8	⑨	9.1	⑨	8.1	⑩	9.3
4 福祉のまちづくり	20	5.1	16	5.4	15	5.8	14	6.0	15	6.3
5 健康・医療	⑤	15.4	③	16.8	③	15.6	③	17.7	③	19.9
6 災害の防止	⑦	12.6	⑥	14.3	⑦	10.8	⑥	12.7	⑤	15.7
7 環境の保全	24	3.8	22	4.3	21	4.0	21	3.2	16	4.9
8 緑・水環境	⑩	8.7	12	6.7	⑩	8.4	11	7.3	⑨	9.9
9 ごみの減量と処理	①	23.0	①	27.7	①	27.7	①	21.7	①	25.6
10 学校教育	12	8.3	15	6.5	12	6.6	⑩	7.5	13	6.7
11 生涯学習	18	5.2	20	4.5	20	4.2	19	3.5	16	4.9
12 スポーツ・レクリエーション	23	4.1	21	4.4	19	4.4	20	3.3	20	3.9
13 文化	14	7.1	13	6.6	17	4.9	18	3.8	21	3.8
14 コミュニティ・市民活動	22	4.3	24	3.3	21	4.0	22	2.6	22	3.4
15 男女平等参画	28	0.8	29	0.8	30	0.9	28	0.9	26	1.6
16 国際都市	17	5.8	16	5.4	23	3.3	23	2.2	23	2.7
17 市街地の整備	⑨	9.6	⑨	12.3	⑥	11.7	⑦	11.5	⑧	11.4
18 都市景観	13	7.8	11	8.1	11	7.4	13	6.1	11	7.1
19 住宅	25	2.4	25	2.9	25	2.1	24	2.1	25	2.1
20 公共交通	⑥	12.9	④	15.0	④	14.6	④	15.1	④	15.8
21 道路交通	⑧	11.8	⑧	12.6	⑧	9.3	⑧	11.4	⑦	11.8
22 港湾・空港	21	4.6	19	4.7	24	2.2	25	1.3	24	2.3
23 情報・通信	27	1.1	26	1.3	28	1.2	26	1.0	26	1.6
24 水・エネルギー	18	5.2	13	6.6	14	6.0	12	6.3	12	7.0
25 産業振興	16	5.9	18	5.2	15	5.8	16	4.1	19	4.3
26 観光・MICE	③	19.0	⑦	13.0	12	6.6	17	3.9	18	4.5
27 都市農業	30	0.6	30	0.4	29	1.1	30	0.3	30	0.6
28 消費者・勤労者	26	1.4	27	1.1	26	1.3	28	0.9	29	1.0
29 人権	28	0.8	28	0.9	26	1.3	26	1.0	28	1.5
30 市民サービス	15	6.6	22	4.3	18	4.6	15	5.3	14	6.5
31 その他	-	2.7	-	2.4	-	1.9	-	1.6	-	1.1
32 特になし	-	26.6	-	24.7	-	31.0	-	33.1	-	26.9
※ 無回答	-	3.5	-	3.9	-	3.5	-	4.4	-	2.0

注：%が小数点以下第1位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。

注：質問に対して選択できる数は、平成17年度までは3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

(4) ② 市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）（問20・MA）

名古屋市に特に力を入れて進めてほしいと思う事業の分野をたずねたところ、「健康・医療」（40.4%）、「高齢者福祉」（39.6%）、と答えた人が約4割となり、これらに次いで「災害の防止」（33.3%）と続いています。



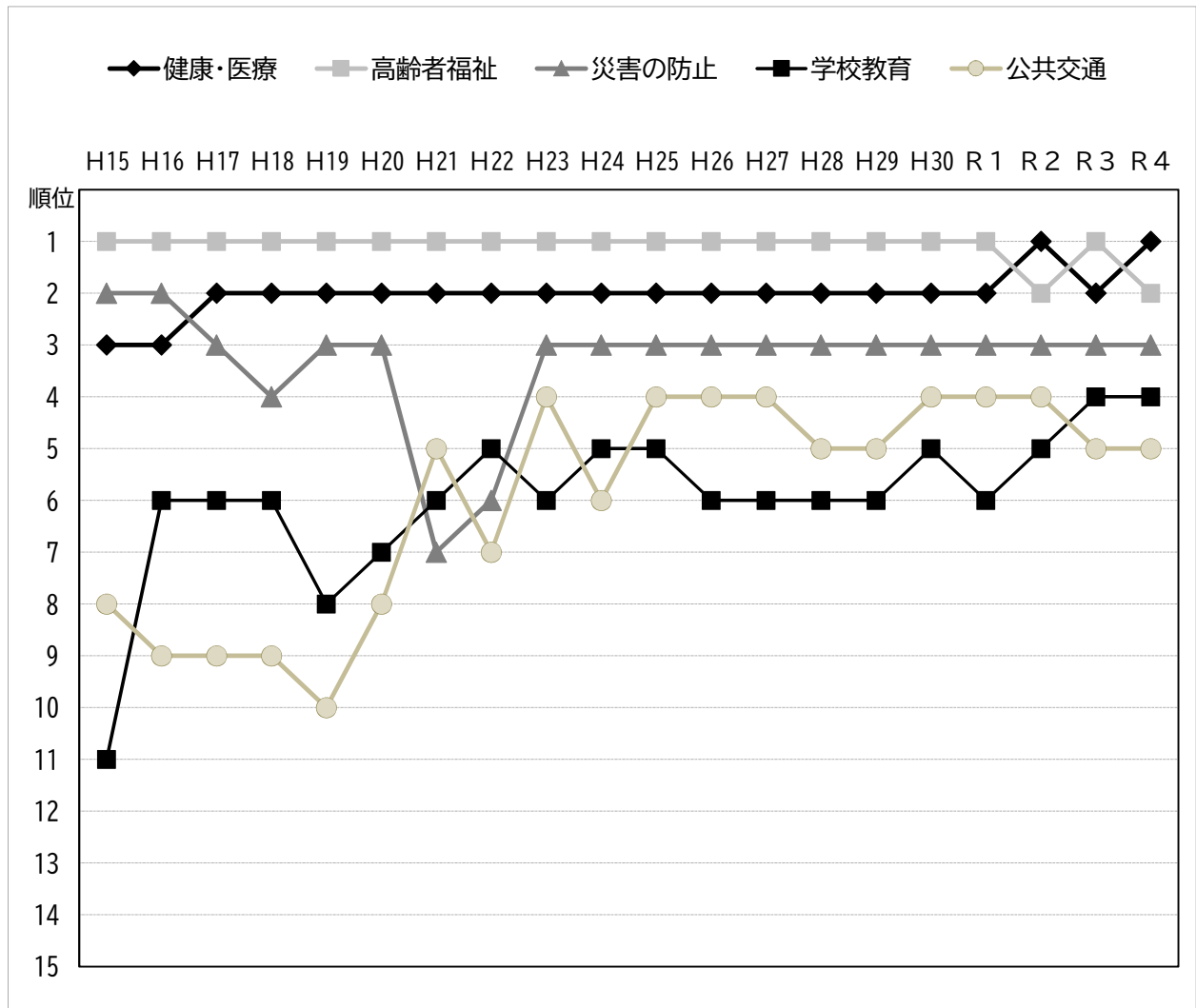
市政への要望（名古屋市が特に力を入れて進めてほしいこと）で評価されたものの内、上位10項目は以下のとおりです。（以降、「特にない」は除きます。）

今回調査			前回調査		前回比較
順位	項目	%	順位	%	順位
1	健康・医療	40.4	②	38.6	↑
2	高齢者福祉	39.6	①	39.6	↓
3	災害の防止	33.3	③	30.2	→
4	学校教育	26.4	④	24.8	→
5	公共交通	25.8	⑤	24.7	→
6	児童福祉	24.8	⑥	24.1	→
7	市民サービス	21.5	⑦	22.7	→
8	道路交通	18.8	11	17.6	↑
9	環境の保全	18.7	⑨	17.9	→
10	福祉のまちづくり	18.5	12	16.0	↑

◆ 市政への要望では前回第2位の「健康・医療」が約4割で第1位でした。前回第1位の「高齢者福祉」は第2位でした。

前回の調査と比較して、順位が上昇したのは「健康・医療」、「道路交通」、「福祉のまちづくり」でした。一方、順位が下降したのは、「高齢者福祉」でした。

上位5項目の順位の経年変化（市政への要望）



- ◆ 「健康・医療」は、平成17年度調査以降、令和2年度の第1位を除き第2位でしたが、今回の調査では第1位となっています。
- ◆ 「高齢者福祉」は、令和2年度の第2位を除き毎年第1位でしたが、今回の調査では第2位となっています。
- ◆ 「災害の防止」は、平成21年度では第7位、平成22年度では第6位でしたが、平成23年度以降は毎年第3位となっています。
- ◆ 「学校教育」は、平成26年度調査以降、平成30年度の第5位を除き毎年第6位、令和2年度は第5位でしたが、令和3年度と今回の調査では第4位となっています。
- ◆ 「公共交通」は、平成28年度と平成29年度は第5位、平成30年度以降令和2年度まで第4位でしたが、令和3年度と今回の調査では第5位となっています。

資料：名古屋市「市政世論調査」

（平成15年度、平成16年度、平成17年度、平成18年度、平成19年度、平成20年度、平成21年度、平成22年度、平成23年度、平成24年度、平成25年度、平成26年度、平成27年度、平成28年度、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度（今回の調査））

※各調査の詳細については、P.3参照

市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）について、第1位から第5位までの傾向は、次のとおりです。（性別、年代別などのデータ一覧は、P.95以降にあります。）

第1位 健康医療（40.4%）

【性別比較】

女性（44.4%）の方が、男性（34.3%）より、10.1ポイント高くなっています。

【年代別比較】

50歳代（46.9%）の方が、10歳代（0.0%）より、46.9ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

東区（52.0%）の方が、中区（27.6%）より、24.4ポイント高くなっています。

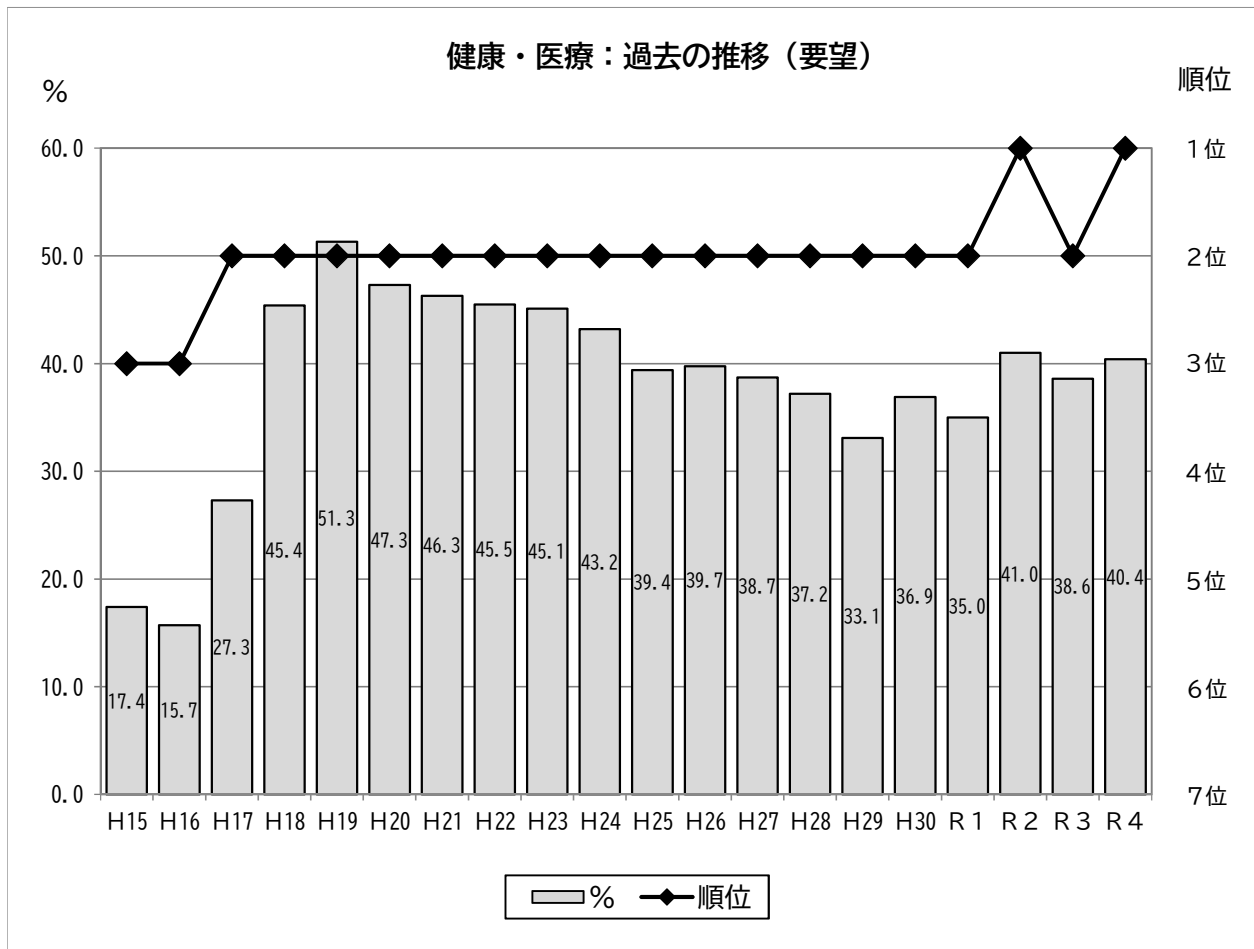
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

20年以上30年未満（45.4%）の方が、5年未満（28.1%）より、17.3ポイント高くなっています。

【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P.3参照）。

第2位 高齢者福祉 (39.6%)

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

70歳以上 (52.3%) の方が、20歳代 (10.2%) より、42.1ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

東区 (48.0%) の方が、熱田区 (31.6%) より、16.4ポイント高くなっています。

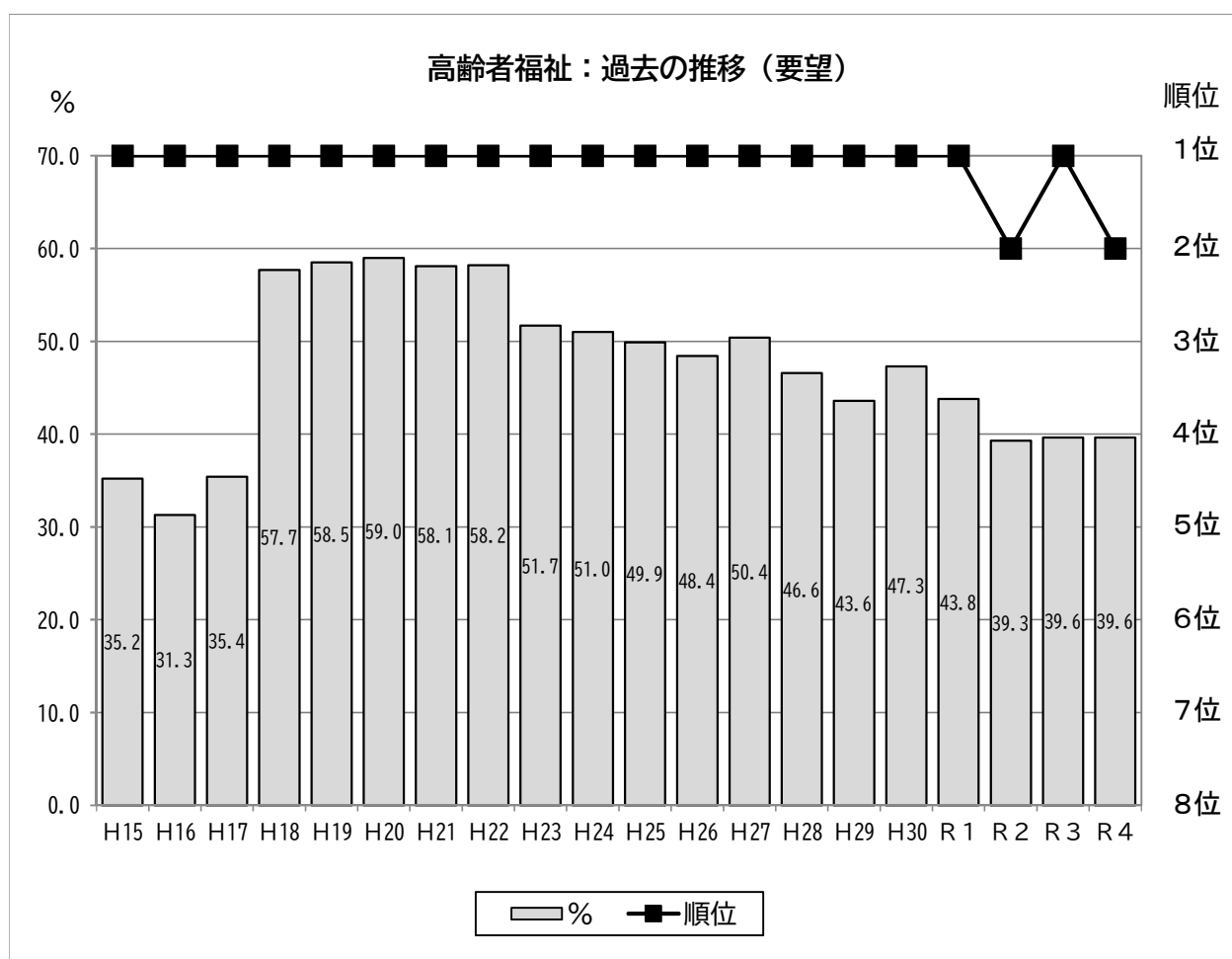
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

30年以上 (46.9%) の方が、5年以上10年未満 (16.1%) より、30.8ポイント高くなっています。

【過去の推移 (比率、順位)】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています (各調査の詳細については、P. 3参照)。

第3位 災害の防止 (33.3%)

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

50歳代 (40.0%) の方が、70歳以上 (28.1%) より、11.9ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

西区 (44.8%) の方が、千種区 (25.0%) より、19.8ポイント高くなっています。

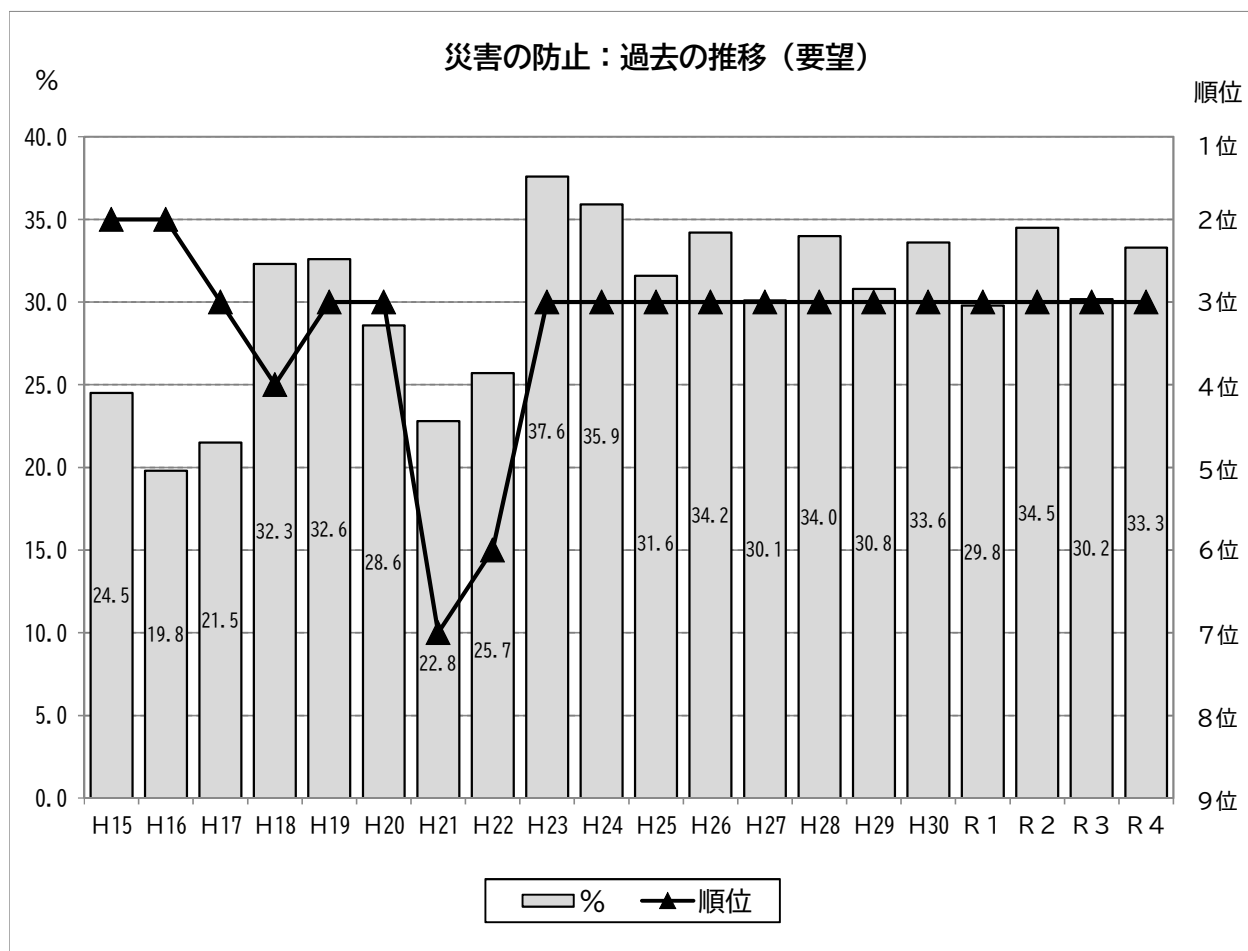
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

10年以上20年未満 (38.5%) の方が、5年未満 (21.1%) より、17.4ポイント高くなっています。

【過去の推移 (比率、順位)】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています (各調査の詳細については、P. 3参照)。

第4位 学校教育 (26.4%)

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

30歳代 (45.9%) の方が、10歳代 (16.7%) より、29.2ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

熱田区 (42.1%) の方が、中区 (10.3%) より、31.8ポイント高くなっています。

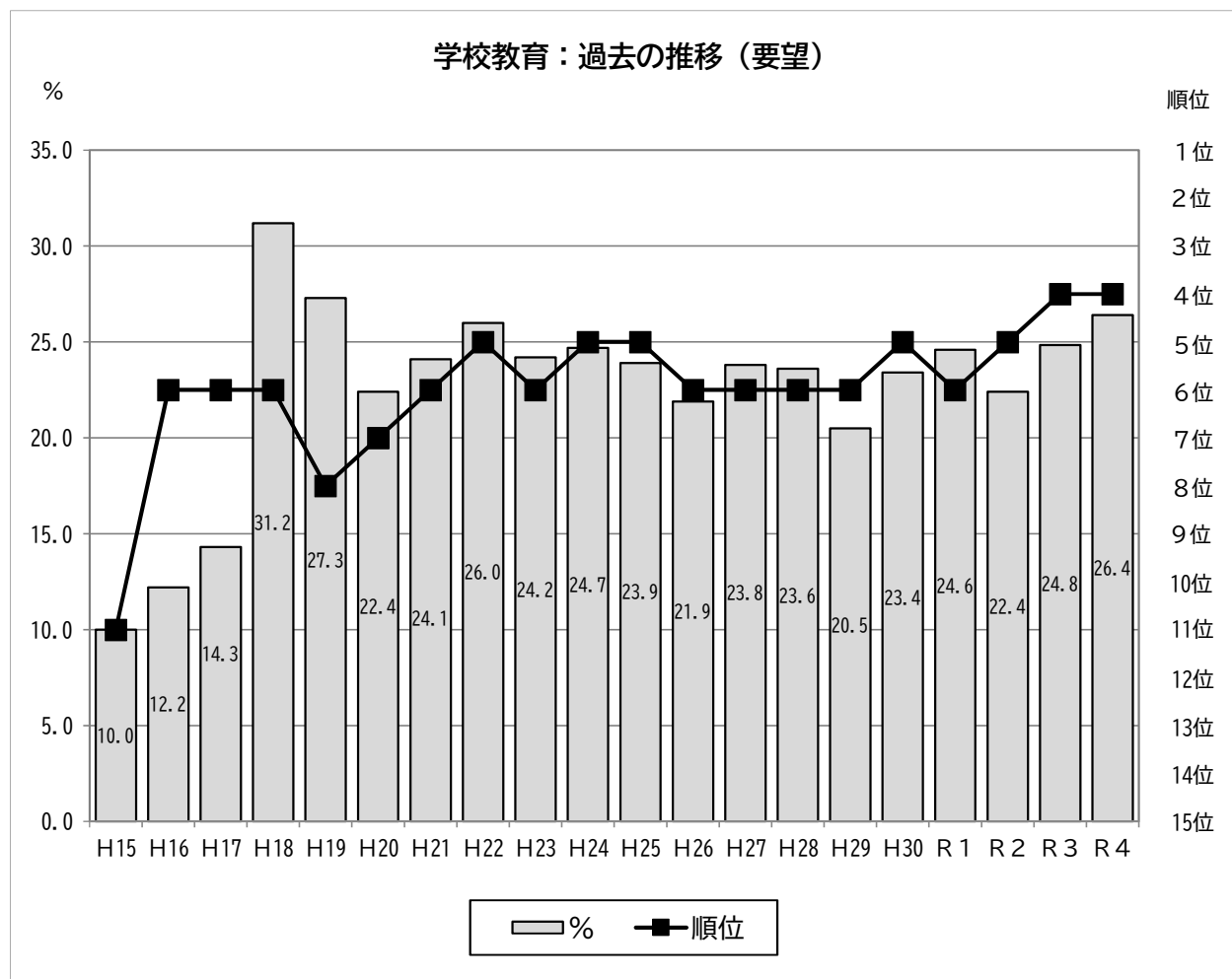
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

20年以上30年未満 (36.1%) の方が、30年以上 (23.5%) より、12.6ポイント高くなっています。

【過去の推移 (比率、順位)】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています (各調査の詳細については、P. 3参照)。

第5位 公共交通 (25.8%)

【性別比較】

男性 (30.0%) の方が、女性 (22.9%) より、7.1 ポイント高くなっています。

【年代別比較】

10 歳代 (50.0%) の方が、20 歳代 (16.9%) より、33.1 ポイント高くなっています。

【居住区別比較】

南区 (42.3%) の方が、中区 (10.3%) より、32.0 ポイント高くなっています。

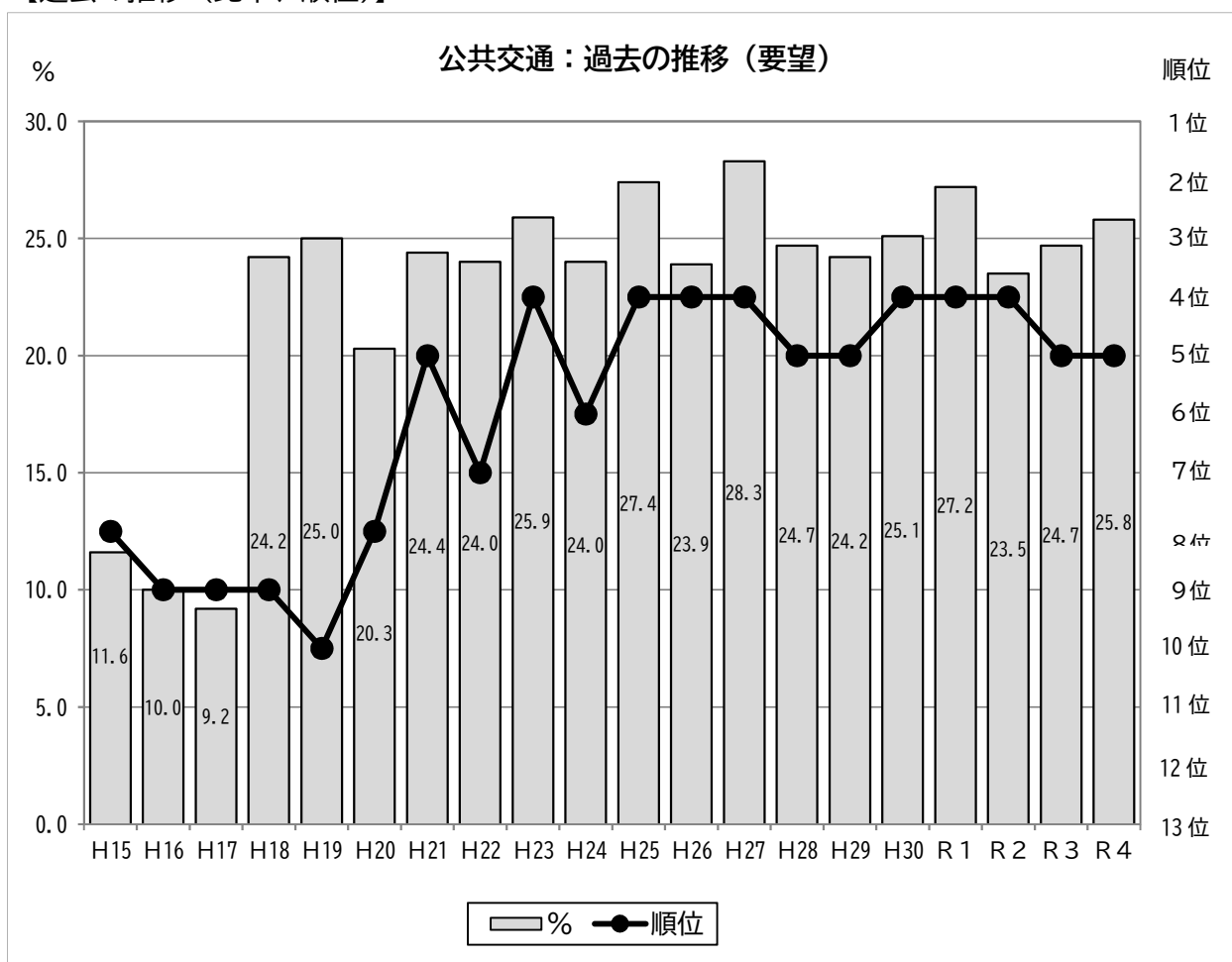
【出生地別比較】

名古屋市外から引っ越してきた人 (28.9%) の方が、生まれてからずっと名古屋市に住んでいる人 (22.5%) より、6.4 ポイント高くなっています。

【居住歴別比較】

5年以上10年未満 (30.4%) の方が、5年未満 (22.8%) より、7.6 ポイント高くなっています。

【過去の推移 (比率、順位)】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています (各調査の詳細については、P. 3 参照)。

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
全体	健康・医療 40.4%	高齢者福祉 39.6%	災害の防止 33.3%	学校教育 26.4%	公共交通 25.8%	
性別	男性	高齢者福祉 39.4%	災害の防止 36.4%	健康・医療 34.3%	公共交通 30.0%	学校教育 24.2%
	女性	健康・医療 44.4%	高齢者福祉 40.2%	災害の防止 31.6%	学校教育 27.2%	児童福祉 26.7%

年代別	10歳代	公共交通 50.0%		災害の防止 33.3%		※1
		観光・MICE 50.0%		児童福祉 33.3%		
20歳代	健康・医療 39.0%	災害の防止 33.9%	児童福祉 30.5%	学校教育 28.8%	道路交通 22.0%	
30歳代	児童福祉 51.4%	学校教育 45.9%	健康・医療 35.8%	災害の防止 32.1%	公共交通 29.4%	
40歳代	健康・医療 41.9%	学校教育 39.5%	高齢者福祉 37.1%	災害の防止 32.3%	児童福祉 29.0%	
50歳代	健康・医療 46.9%	高齢者福祉 41.3%	災害の防止 40.0%	公共交通 25.0%	公共交通 23.1%	
				児童福祉 25.0%		
60歳代	高齢者福祉 48.3%	健康・医療 44.2%	災害の防止 40.0%	環境の保全 26.5%	市民サービス 23.1%	
70歳以上	高齢者福祉 52.3%	健康・医療 36.2%	災害の防止 28.1%	公共交通 26.6%	緑・水環境 25.1%	

※1 高齢者福祉、学校教育、市民サービス、環境の保全、緑・水環境、障害者福祉、国際都市、その他 同率 16.7%

【上位5項目の性別順位比較】

男性の第1位は「高齢者福祉」、女性の第1位は「健康・医療」となっています。男性の第4位の「公共交通」は女性では上位5項目外に、女性の第5位の「児童福祉」は男性では上位5項目外となっています。

【上位5項目の年代別順位比較】

「健康・医療」は、20歳代、40歳代、50歳代で第1位となっています。「高齢者福祉」は、60歳代以上で第1位となっています。

問 20 市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）（その1）

		健康・医療	高齢者福祉	災害の防止	学校教育	公共交通	児童福祉	市民サービス	道路交通	環境の保全	福祉のまちづくり	緑・水環境	障害者福祉	水・エネルギー	文化	ごみの減量と処理	市街地の整備	消費者・勤労者
全体		40.4	39.6	33.3	26.4	25.8	24.8	21.5	18.8	18.7	18.5	18.4	16.4	14.4	13.3	13.1	13.1	12.0
性別	男性	34.3	39.4	36.4	24.2	30.0	22.0	24.2	21.1	21.4	18.7	22.6	17.4	16.5	14.1	13.1	17.1	10.1
	女性	44.4	40.2	31.6	27.2	22.9	26.7	18.9	17.3	17.1	18.3	15.8	15.8	13.1	12.6	13.1	10.3	13.3
年代別	10歳代	0.0	16.7	33.3	16.7	50.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	39.0	10.2	33.9	28.8	16.9	30.5	16.9	22.0	11.9	13.6	10.2	8.5	15.3	11.9	6.8	11.9	16.9
	30歳代	35.8	22.0	32.1	45.9	29.4	51.4	17.4	27.5	14.7	11.9	12.8	15.6	11.9	10.1	11.9	18.3	19.3
	40歳代	41.9	37.1	32.3	39.5	27.4	29.0	20.2	21.8	18.5	23.4	18.5	20.2	13.7	14.5	11.3	13.7	21.8
	50歳代	46.9	41.3	40.0	20.0	25.0	25.0	21.9	14.4	19.4	20.6	20.0	18.1	16.3	16.9	13.8	15.0	11.9
	60歳代	44.2	48.3	35.4	19.0	23.1	19.0	23.1	20.4	26.5	19.7	15.0	16.3	17.0	15.0	11.6	9.5	8.2
	70歳以上	36.2	52.3	28.1	17.6	26.6	10.6	23.6	13.6	17.1	17.6	25.1	15.6	13.1	11.1	17.1	11.6	4.0
居住区別	千種区	46.2	34.6	25.0	21.2	25.0	15.4	25.0	11.5	17.3	15.4	19.2	15.4	13.5	15.4	5.8	7.7	7.7
	東区	52.0	48.0	28.0	20.0	28.0	12.0	24.0	20.0	8.0	20.0	8.0	20.0	12.0	12.0	8.0	20.0	24.0
	北区	47.6	46.0	31.7	23.8	22.2	33.3	12.7	14.3	14.3	14.3	14.3	17.5	14.3	9.5	14.3	9.5	17.5
	西区	44.8	39.7	44.8	19.0	32.8	25.9	20.7	20.7	20.7	19.0	19.0	20.7	13.8	10.3	17.2	22.4	15.5
	中村区	33.3	41.2	41.2	17.6	27.5	23.5	19.6	21.6	15.7	17.6	21.6	17.6	23.5	7.8	19.6	13.7	7.8
	中区	27.6	34.5	37.9	10.3	10.3	13.8	27.6	31.0	13.8	17.2	13.8	13.8	6.9	27.6	13.8	13.8	13.8
	昭和区	37.2	44.2	25.6	41.9	20.9	27.9	9.3	16.3	27.9	18.6	20.9	18.6	11.6	30.2	27.9	16.3	11.6
	瑞穂区	39.0	34.1	31.7	29.3	24.4	26.8	14.6	19.5	14.6	22.0	14.6	19.5	2.4	12.2	4.9	9.8	2.4
	熱田区	42.1	31.6	42.1	42.1	31.6	21.1	26.3	15.8	31.6	21.1	31.6	15.8	31.6	10.5	15.8	15.8	15.8
	中川区	29.2	38.9	38.9	22.2	26.4	25.0	22.2	18.1	15.3	18.1	9.7	16.7	12.5	5.6	15.3	13.9	11.1
	港区	48.7	43.6	33.3	20.5	28.2	20.5	25.6	7.7	17.9	12.8	15.4	20.5	12.8	10.3	15.4	20.5	17.9
	南区	44.2	44.2	36.5	25.0	42.3	21.2	32.7	26.9	26.9	15.4	21.2	5.8	17.3	11.5	11.5	9.6	9.6
	守山区	34.6	32.7	26.9	26.9	23.1	23.1	19.2	17.3	17.3	17.3	19.2	9.6	9.6	13.5	7.7	9.6	9.6
	緑区	39.8	39.8	29.0	30.1	28.0	21.5	18.3	24.7	18.3	21.5	17.2	14.0	12.9	16.1	9.7	11.8	11.8
	名東区	41.5	39.6	30.2	22.6	18.9	35.8	20.8	18.9	20.8	24.5	22.6	22.6	13.2	17.0	11.3	9.4	7.5
天白区	45.5	40.0	38.2	40.0	23.6	34.5	27.3	16.4	23.6	21.8	30.9	21.8	23.6	12.7	10.9	14.5	12.7	
地出別	名古屋市	42.0	40.9	35.3	28.3	22.5	24.9	22.2	18.4	16.0	18.4	15.8	16.3	15.2	12.6	13.1	13.6	12.6
	名古屋市以外	39.5	38.1	32.0	23.8	28.9	24.7	20.5	19.3	21.4	18.4	21.2	16.5	13.6	14.1	12.7	12.9	11.1
居住歴別	5年未満	28.1	17.5	21.1	24.6	22.8	29.8	15.8	10.5	12.3	12.3	14.0	8.8	7.0	10.5	10.5	12.3	8.8
	5年以上10年未満	30.4	16.1	33.9	26.8	30.4	28.6	25.0	25.0	26.8	14.3	21.4	16.1	8.9	14.3	17.9	16.1	8.9
	10年以上20年未満	36.3	42.9	38.5	28.6	28.6	37.4	17.6	25.3	16.5	20.9	17.6	17.6	12.1	17.6	7.7	15.4	16.5
	20年以上30年未満	45.4	27.8	27.8	36.1	23.7	30.9	17.5	18.6	19.6	19.6	20.6	18.6	19.6	9.3	12.4	15.5	16.5
	30年以上	42.9	46.9	35.2	23.5	25.4	20.1	22.7	17.9	18.5	18.7	18.3	16.5	14.7	13.3	13.9	12.1	10.3

(単位：%)

問 20 市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）（その2）

		生涯学習	情報・通信	観光・MICE	住宅	人権	産業振興	男女平等参画	国際都市	スポーツ・レクリエーション	コミュニティ・市民活動	都市景観	都市農業	港湾・空港	その他	特にない	無回答	回答者数
全体		10.1	10.1	10.1	8.7	8.2	7.9	7.6	7.0	6.1	5.6	12.0	5.5	2.9	5.3	5.2	1.7	815
性別	男性	10.4	10.7	11.0	9.8	8.3	11.0	6.7	8.6	8.6	6.7	17.1	5.8	4.3	5.8	5.8	1.2	327
	女性	9.9	9.7	9.3	8.2	8.0	5.9	8.4	5.9	4.6	5.1	8.2	5.1	2.1	5.1	4.8	2.1	475
年代別	10歳代	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	6
	20歳代	10.2	11.9	15.3	8.5	6.8	11.9	11.9	5.1	5.1	1.7	5.1	6.8	0.0	8.5	10.2	1.7	59
	30歳代	6.4	11.0	11.9	13.8	4.6	12.8	12.8	5.5	4.6	4.6	20.2	3.7	5.5	7.3	1.8	0.9	109
	40歳代	12.1	12.1	11.3	12.1	8.1	7.3	8.1	6.5	6.5	4.8	16.1	4.8	1.6	4.0	1.6	1.6	124
	50歳代	11.3	11.9	8.8	11.3	12.5	9.4	6.9	11.3	8.1	6.3	11.9	6.9	5.0	5.0	1.9	0.6	160
	60歳代	11.6	8.8	11.6	7.5	6.8	6.8	6.1	5.4	8.2	8.8	8.8	7.5	2.0	4.8	4.8	2.7	147
	70歳以上	9.5	8.0	5.5	3.0	8.0	4.0	5.0	6.0	4.5	5.5	9.0	3.5	2.5	4.5	10.6	2.5	199
居住区別	千種区	11.5	7.7	13.5	13.5	7.7	7.7	9.6	9.6	1.9	9.6	9.6	1.9	1.9	11.5	3.8	3.8	52
	東区	12.0	8.0	4.0	8.0	8.0	12.0	8.0	0.0	12.0	12.0	4.0	8.0	8.0	4.0	0.0	0.0	25
	北区	11.1	19.0	15.9	6.3	7.9	11.1	6.3	4.8	4.8	7.9	6.3	7.9	4.8	1.6	6.3	3.2	63
	西区	3.4	10.3	8.6	17.2	12.1	5.2	12.1	6.9	5.2	12.1	12.1	5.2	1.7	5.2	0.0	3.4	58
	中村区	7.8	7.8	7.8	7.8	9.8	5.9	0.0	5.9	5.9	5.9	15.7	2.0	5.9	2.0	7.8	2.0	51
	中区	6.9	10.3	17.2	10.3	3.4	6.9	3.4	6.9	3.4	0.0	6.9	3.4	6.9	6.9	3.4	3.4	29
	昭和区	11.6	11.6	7.0	7.0	9.3	9.3	11.6	11.6	11.6	4.7	23.3	4.7	4.7	2.3	7.0	2.3	43
	瑞穂区	9.8	4.9	7.3	4.9	17.1	0.0	7.3	7.3	7.3	0.0	7.3	2.4	2.4	9.8	4.9	2.4	41
	熱田区	5.3	5.3	21.1	21.1	5.3	10.5	21.1	26.3	5.3	0.0	10.5	5.3	5.3	5.3	10.5	0.0	19
	中川区	5.6	5.6	11.1	4.2	4.2	8.3	2.8	5.6	4.2	1.4	11.1	11.1	2.8	5.6	11.1	1.4	72
	港区	10.3	12.8	17.9	5.1	15.4	10.3	10.3	5.1	5.1	10.3	17.9	7.7	7.7	7.7	10.3	0.0	39
	南区	23.1	9.6	3.8	5.8	7.7	5.8	5.8	3.8	5.8	3.8	11.5	5.8	0.0	1.9	5.8	1.9	52
	守山区	5.8	7.7	5.8	1.9	5.8	3.8	7.7	5.8	3.8	0.0	9.6	0.0	0.0	9.6	3.8	1.9	52
	緑区	11.8	10.8	6.5	17.2	4.3	9.7	6.5	6.5	9.7	4.3	17.2	3.2	0.0	6.5	4.3	0.0	93
	名東区	13.2	7.5	9.4	7.5	9.4	9.4	11.3	5.7	1.9	5.7	15.1	1.9	3.8	3.8	5.7	1.9	53
天白区	10.9	14.5	12.7	5.5	7.3	10.9	10.9	9.1	10.9	10.9	3.6	10.9	1.8	3.6	0.0	0.0	55	
地出別	名古屋市	9.9	9.1	9.9	7.8	8.3	9.1	7.2	7.2	6.7	4.8	12.0	6.7	2.4	5.1	5.6	1.1	374
	名古屋市以外	10.4	11.3	10.1	9.9	8.0	6.8	8.2	6.6	5.9	6.4	12.0	4.5	3.3	5.6	4.7	2.4	425
居住歴別	5年未満	5.3	8.8	12.3	10.5	3.5	7.0	8.8	7.0	3.5	3.5	15.8	3.5	3.5	8.8	8.8	7.0	57
	5年以上10年未満	14.3	7.1	16.1	8.9	3.6	0.0	10.7	8.9	7.1	5.4	8.9	0.0	0.0	7.1	1.8	1.8	56
	10年以上20年未満	5.5	13.2	7.7	8.8	7.7	11.0	8.8	4.4	3.3	3.3	15.4	4.4	4.4	4.4	2.2	1.1	91
	20年以上30年未満	14.4	11.3	16.5	11.3	10.3	9.3	10.3	7.2	9.3	10.3	8.2	6.2	1.0	4.1	5.2	1.0	97
	30年以上	10.3	9.7	8.5	8.2	8.7	8.0	6.6	7.0	6.2	5.4	12.1	5.8	3.2	5.2	5.8	1.4	497

(単位：%)

問 20 市政への要望（時系列）（その1）

	平成14年度		平成19年度		平成24年度		平成29年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1 高齢者福祉	①	40.4	①	58.5	①	51.0	①	43.6
2 児童福祉	⑤	13.9	⑤	30.8	④	25.7	④	25.1
3 障害者福祉	⑧	11.3	④	30.9	⑨	18.9	⑨	16.7
4 福祉のまちづくり	④	15.9	⑦	27.5	⑧	20.3	11	16.2
5 健康・医療	③	18.1	②	51.3	②	43.2	②	33.1
6 災害の防止	②	20.3	③	32.6	③	35.9	③	30.8
7 環境の保全	⑩	10.1	⑥	27.7	⑨	18.9	⑩	16.3
8 緑・水環境	11	9.4	⑨	26.5	⑨	18.9	11	16.2
9 ごみの減量と処理	13	8.2	12	19.5	18	11.5	17	11.8
10 学校教育	⑨	10.7	⑧	27.3	⑤	24.7	⑥	20.5
11 生涯学習	15	7.0	19	10.9	21	10.0	22	9.0
12 スポーツ・レクリエーション	23	3.5	22	7.9	25	6.7	26	5.5
13 文化	24	2.9	17	11.7	19	10.6	16	11.9
14 コミュニティ・市民活動	27	2.0	27	6.1	28	4.5	28	4.5
15 男女平等参画	18	4.3	29	4.2	30	3.8	30	3.1
16 国際都市	27	2.0	21	9.3	24	7.6	21	9.3
17 市街地の整備	21	3.8	16	12.7	16	11.9	14	14.4
18 都市景観	19	4.0	15	13.1	15	12.1	15	13.2
19 住宅	17	4.5	19	10.9	22	8.5	23	8.3
20 公共交通	⑦	12.8	⑩	25.0	⑥	24.0	⑤	24.2
21 道路交通	⑥	13.5	13	19.2	13	16.0	13	16.1
22 港湾・空港	29	1.4	30	3.5	29	4.1	29	3.8
23 情報・通信	25	2.1	25	7.4	26	5.9	27	5.4
24 水・エネルギー	14	7.7	18	11.5	17	11.8	20	10.2
25 産業振興	21	3.8	26	6.8	12	16.2	19	10.6
26 観光・MICE	25	2.1	24	7.6	20	10.3	⑧	17.7
27 都市農業	30	0.9	28	6.0	26	5.9	25	5.7
28 消費者・勤労者	16	6.5	14	14.1	14	15.5	18	10.7
29 人権	19	4.0	22	7.9	23	8.1	24	6.3
30 市民サービス	12	8.7	11	22.4	⑦	20.9	⑦	19.6
31 その他	-	2.1	-	4.2	-	3.5	-	5.3
32 特になし	-	5.2	-	5.2	-	5.5	-	6.0
※ 無回答	-	1.4	-	0.8	-	2.2	-	2.2

注：%が小数点以下第1位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。

注：質問に対して選択できる数は、平成17年度までは3つとしていましたが、平成18年度より
あてはまるものすべてを選択できるようになりました。

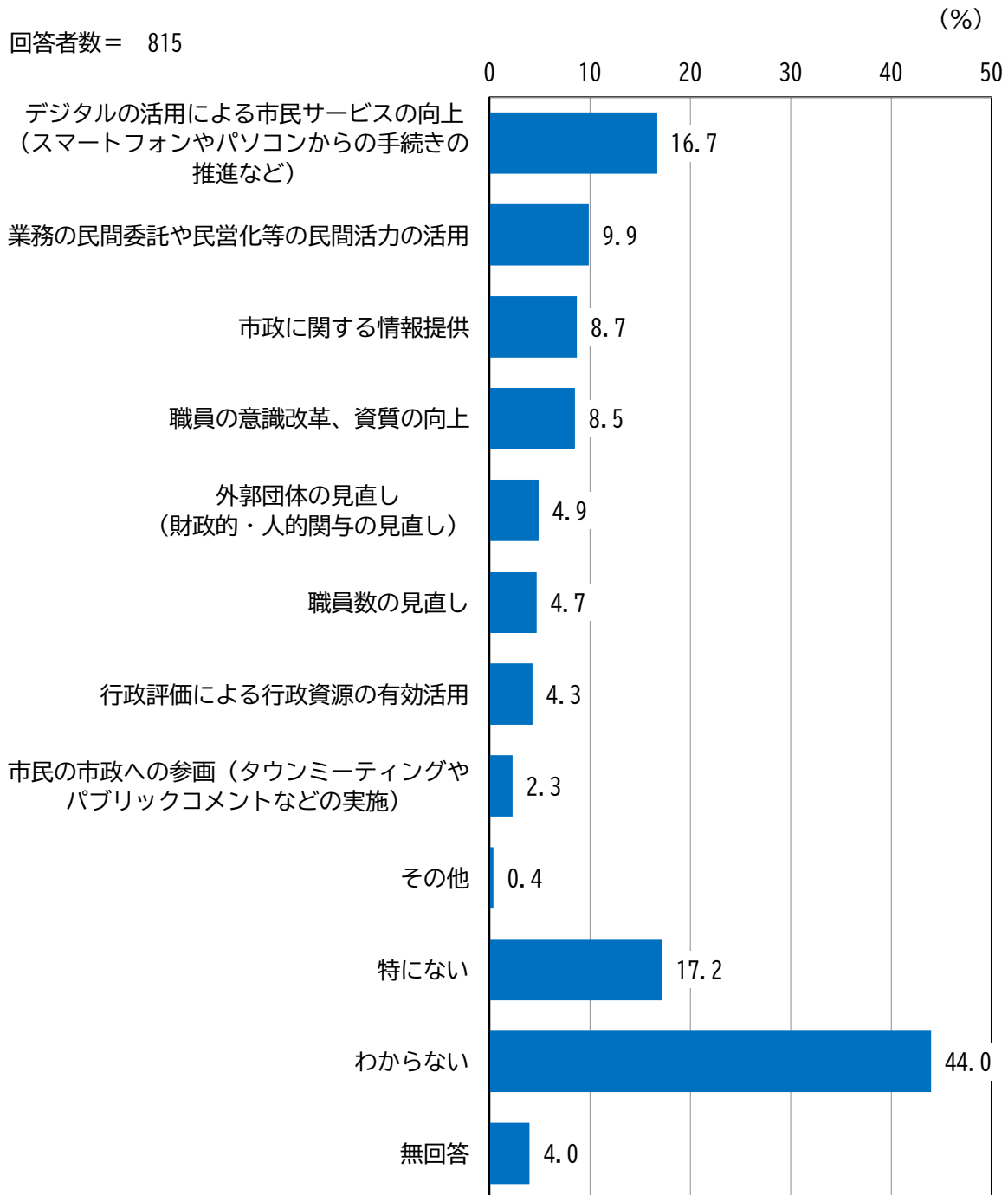
問 20 市政への要望（時系列）（その2）

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
1 高齢者福祉	①	47.3	①	43.8	②	39.3	①	39.6	②	39.6
2 児童福祉	⑥	22.9	⑤	26.6	⑥	21.0	⑥	24.1	⑥	24.8
3 障害者福祉	⑦	18.7	⑨	19.0	12	16.1	⑩	17.7	12	16.4
4 福祉のまちづくり	⑧	18.4	12	17.4	⑩	16.5	12	16.0	⑩	18.5
5 健康・医療	②	36.9	②	35.0	①	41.0	②	38.6	①	40.4
6 災害の防止	③	33.6	③	29.8	③	34.5	③	30.2	③	33.3
7 環境の保全	12	14.7	⑩	18.0	⑨	17.6	⑨	17.9	⑨	18.7
8 緑・水環境	⑨	17.3	⑦	20.1	⑦	19.0	⑧	19.6	11	18.4
9 ごみの減量と処理	14	12.4	14	14.2	13	15.2	15	13.6	15	13.1
10 学校教育	⑤	23.4	⑥	24.6	⑤	22.4	④	24.8	④	26.4
11 生涯学習	17	10.9	20	10.0	19	9.5	22	8.4	19	10.1
12 スポーツ・レクリエーション	24	6.3	25	6.8	25	6.3	26	6.2	27	6.1
13 文化	19	9.3	17	12.8	14	13.4	16	12.4	14	13.3
14 コミュニティ・市民活動	27	5.1	27	5.3	29	4.1	29	3.7	28	5.6
15 男女平等参画	27	5.1	28	5.2	28	5.3	27	5.2	25	7.6
16 国際都市	23	6.6	26	6.3	27	5.9	25	7.6	26	7.0
17 市街地の整備	15	11.8	13	16.6	15	12.8	13	14.1	15	13.1
18 都市景観	16	11.6	15	13.5	16	11.7	13	14.1	17	12.0
19 住宅	22	7.2	18	10.8	23	8.0	21	8.9	22	8.7
20 公共交通	④	25.1	④	27.2	④	23.5	⑤	24.7	⑤	25.8
21 道路交通	11	16.5	⑩	18.0	11	16.4	11	17.6	⑧	18.8
22 港湾・空港	29	4.3	29	4.7	30	2.6	30	3.1	30	2.9
23 情報・通信	26	5.9	24	7.1	18	9.6	20	9.0	19	10.1
24 水・エネルギー	19	9.3	21	9.8	21	9.3	17	11.9	13	14.4
25 産業振興	21	8.1	22	8.5	22	8.1	23	8.2	24	7.9
26 観光・MICE	13	14.6	16	13.4	19	9.5	18	10.3	19	10.1
27 都市農業	30	4.2	30	4.1	26	6.1	28	4.7	29	5.5
28 消費者・勤労者	18	10.8	19	10.2	17	10.1	18	10.3	17	12.0
29 人権	24	6.3	23	7.7	24	6.5	24	8.0	23	8.2
30 市民サービス	⑩	17.1	⑧	19.1	⑧	18.7	⑦	22.7	⑦	21.5
31 その他	-	5.4	-	6.0	-	5.2	-	4.6	-	5.3
32 特になし	-	6.4	-	5.6	-	6.0	-	6.3	-	5.2
※ 無回答	-	2.4	-	3.1	-	1.9	-	2.1	-	1.7

注：％が小数点以下第1位まで同じ場合は、実数の差によらず同率・同順位としています。

注：質問に対して選択できる数は、平成17年度までは3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

(5) 市の行政改革の取り組みへの評価（問 21・MA）



◆ 市の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市が特によく取り組んでいると思うことをたずねたところ、「わからない」と答えた人は4割以上（44.0%）でした。

評価されているものの中では、「デジタルの活用による市民サービスの向上(スマートフォンやパソコンからの手続きの推進など)」(16.7%)、「業務の民間委託や民営化等の民間活力の活用」(9.9%)、「市政に関する情報提供」(8.7%)、「職員の意識改革、資質の向上」(8.5%)と続いています。

		デジタルの活用による市民サービスの向上（スマートフォンやパソコンからの手続きの推進など）	業務の民間委託や民営化等の民間活力の活用	市政に関する情報提供	職員の意識改革、資質の向上	（外郭団体の見直し（財政的・人的関与の見直し）	職員数の見直し	行政評価による行政資源の有効活用	市民の市政への参画（タウンミーティングやパブリックコメントなどの実施）	その他	特になし	わからない	無回答	回答者数
	全体	16.7	9.9	8.7	8.5	4.9	4.7	4.3	2.3	0.4	17.2	44.0	4.0	815
性別	男性	15.3	10.7	9.8	13.1	6.4	7.0	6.7	2.8	0.3	19.9	37.6	4.3	327
	女性	18.1	9.7	8.2	5.5	4.0	3.2	2.7	2.1	0.4	14.7	48.2	3.8	475
年代別	10歳代	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	6
	20歳代	30.5	11.9	10.2	5.1	0.0	1.7	5.1	3.4	0.0	11.9	45.8	1.7	59
	30歳代	22.0	7.3	4.6	3.7	4.6	6.4	1.8	0.9	0.0	14.7	49.5	0.9	109
	40歳代	13.7	9.7	7.3	3.2	4.8	1.6	4.8	1.6	0.0	16.9	53.2	2.4	124
	50歳代	18.1	10.0	6.9	6.9	5.6	1.3	3.8	3.1	0.0	20.0	44.4	1.9	160
	60歳代	16.3	13.6	11.6	9.5	4.8	4.8	3.4	2.7	0.7	18.4	36.7	4.1	147
	70歳以上	11.6	8.5	11.6	16.1	6.5	9.0	6.5	2.5	1.0	16.6	39.2	9.0	199
職業別	会社員（フルタイム）	17.4	9.7	5.9	5.9	4.7	3.0	3.8	2.1	0.0	20.8	47.0	1.3	236
	公務員	7.4	7.4	0.0	3.7	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	18.5	40.7	14.8	27
	自営・自由業	19.1	10.3	5.9	16.2	7.4	10.3	0.0	2.9	1.5	14.7	32.4	7.4	68
	アルバイト・パート（派遣も含む）	23.3	8.5	7.0	7.8	4.7	3.9	7.0	1.6	0.0	13.2	45.0	3.1	129
	家事専業	12.4	11.5	9.7	2.7	2.7	0.9	3.5	0.9	0.0	15.9	54.0	1.8	113
	学生	40.9	18.2	18.2	9.1	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	40.9	0.0	22
	無職	14.0	10.1	14.5	13.4	5.6	8.9	5.6	4.5	1.1	18.4	35.8	7.3	179
	その他	8.7	13.0	8.7	8.7	13.0	0.0	4.3	0.0	0.0	13.0	52.2	4.3	23

（単位：％）

【性別比較】

「職員の意識改革、資質の向上」と答えた人の割合は、男性（13.1％）の方が、女性（5.5％）より、7.6ポイント高くなっています。

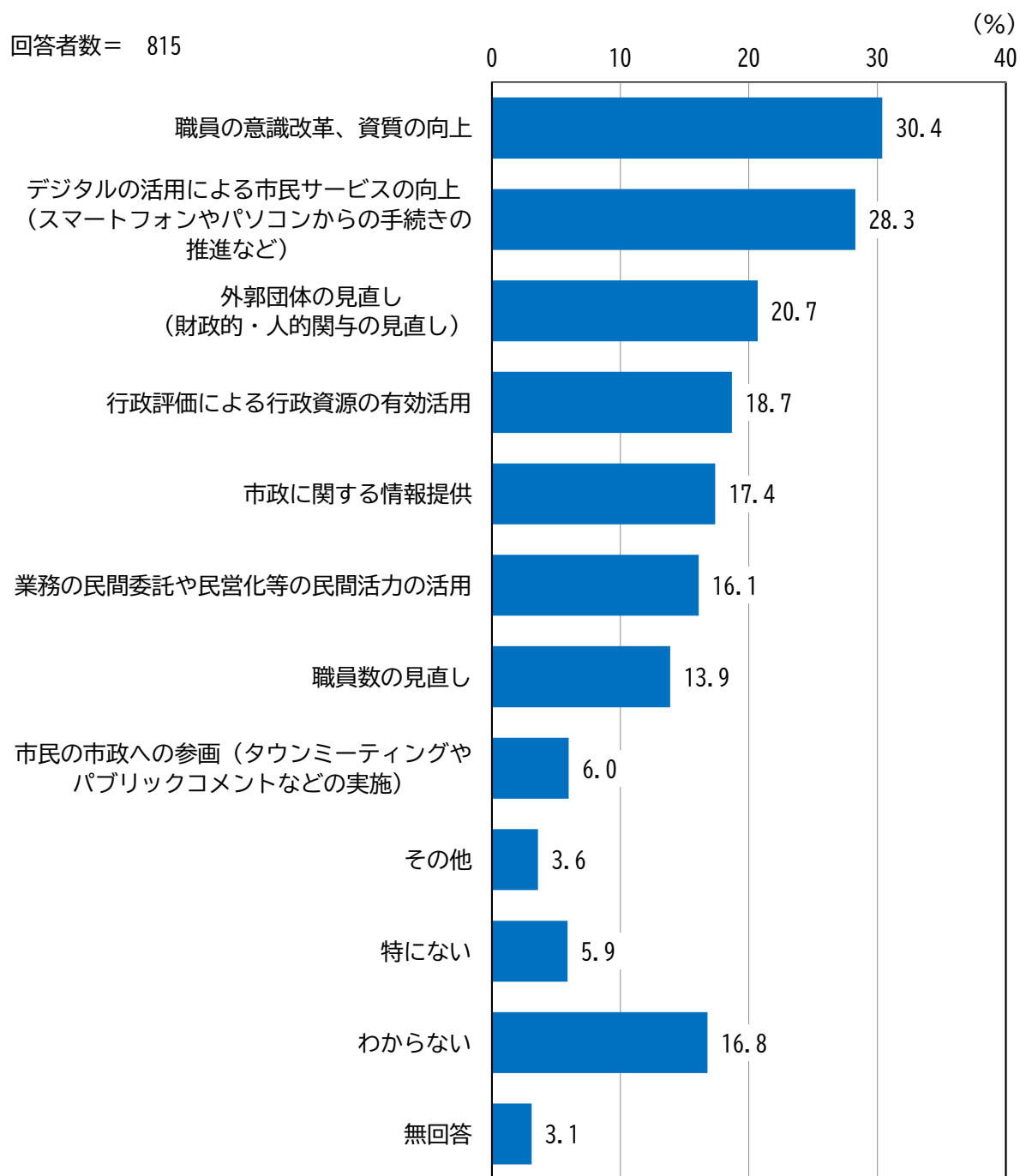
【年代別比較】

「デジタルの活用による市民サービスの向上」と答えた人の割合は、20歳代（30.5％）の方が、70歳以上（11.6％）より、18.9ポイント高くなっています。

【職業別比較】

「デジタルの活用による市民サービスの向上」と答えた人の割合は、学生（40.9％）の方が、公務員（7.4％）より、33.5ポイント高くなっています。

(6) 市の行政改革の取り組みへの要望 (問 22・MA)



- ◆ 市の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市に特に力を入れて進めてほしいと思うことをたずねたところ、「職員の意識改革、資質の向上」(30.4%)と答えた人が約3割となり、次いで「デジタルの活用による市民サービスの向上(スマートフォンやパソコンからの手続きの推進など)」(28.3%)、「外郭団体の見直し(財政的・人的関与の見直し)」(20.7%)、「行政評価による行政資源の有効活用」(18.7%)、「市政に関する情報提供」(17.4%)と続いています。

	職員の意識改革、資質の向上	デジタルの活用による市民サービスの向上（スマートフォンやパソコンからの手続きの推進など）	外郭団体の見直し（財政的・人的関与の見直し）	行政評価による行政資源の有効活用	市政に関する情報提供	業務の民間委託や民営化等の民間活力の活用	職員数の見直し	市民の市政への参画（タウンミーティングやパブリックコメントなどの実施）	その他	特になし	わからない	無回答	回答者数	
全体	30.4	28.3	20.7	18.7	17.4	16.1	13.9	6.0	3.6	5.9	16.8	3.1	815	
性別	男性	30.0	34.6	20.8	19.9	19.3	19.9	13.8	8.6	4.0	5.8	12.5	3.4	327
	女性	31.4	23.6	20.4	18.1	16.6	13.9	13.7	4.4	3.4	5.9	19.4	2.7	475
年代別	10歳代	16.7	33.3	16.7	33.3	50.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6
	20歳代	20.3	39.0	23.7	20.3	16.9	10.2	10.2	6.8	1.7	8.5	23.7	1.7	59
	30歳代	24.8	37.6	24.8	18.3	14.7	15.6	11.9	4.6	0.9	5.5	18.3	0.9	109
	40歳代	22.6	35.5	21.8	15.3	16.1	16.9	7.3	9.7	4.0	1.6	21.0	3.2	124
	50歳代	35.0	35.6	17.5	20.6	19.4	16.9	15.0	4.4	6.9	5.6	12.5	0.0	160
	60歳代	36.7	25.9	21.1	19.0	16.3	14.3	15.6	3.4	4.1	5.4	12.9	4.1	147
	70歳以上	34.2	11.1	18.6	18.6	18.6	19.6	17.1	7.0	2.5	8.5	18.1	6.0	199
職業別	会社員（フルタイム）	26.7	40.7	22.5	19.1	17.4	18.6	11.4	6.4	4.2	3.8	17.4	1.3	236
	公務員	37.0	33.3	18.5	7.4	11.1	22.2	14.8	7.4	7.4	7.4	3.7	27	
	自営・自由業	35.3	27.9	19.1	14.7	13.2	8.8	27.9	7.4	8.8	5.9	10.3	2.9	68
	アルバイト・パート（派遣も含む）	34.1	27.9	24.8	21.7	17.1	17.1	16.3	4.7	2.3	5.4	14.0	1.6	129
	家事専業	29.2	20.4	16.8	17.7	18.6	13.3	11.5	1.8	0.9	4.4	25.7	2.7	113
	学生	22.7	36.4	22.7	31.8	22.7	9.1	9.1	18.2	0.0	13.6	4.5	0.0	22
	無職	31.3	14.5	17.9	19.6	19.0	16.8	11.2	6.1	3.4	9.5	17.3	7.3	179
	その他	39.1	26.1	17.4	17.4	21.7	21.7	8.7	13.0	0.0	4.3	17.4	0.0	23

（単位：％）

【性別比較】

「デジタルの活用による市民サービスの向上」と答えた人の割合は、男性（34.6％）の方が、女性（23.6％）より、11.0ポイント高くなっています。

【年代別比較】

「職員の意識改革、資質の向上」と答えた人の割合は、60歳代（36.7％）の方が、10歳代（16.7％）より、20.0ポイント高くなっています。

【職業別比較】

「デジタルの活用による市民サービスの向上」と答えた人の割合は、会社員（フルタイム）（40.7％）の方が、無職（14.5％）より、26.2ポイント高くなっています。

(7) 市政への意見・要望（問 23・自由記載）

- ◆ 今後の名古屋市の施策や事業について自由なご意見をたずねたところ、回答率は 26.6%であり、回答総数では 433 件となりました。

名古屋市基本構想に基づき構成した 30 項目及びその他 1 項目で該当する意見の件数を取りまとめたところ、「その他」を除くと、「市民サービス」に関する意見が最も多く寄せられ、次いで「児童福祉」、「高齢者福祉」、「学校教育」、「市街地の整備」、「観光・MICE」と続いています。

分類項目	件数	割合	分類項目	件数	割合
1 高齢者福祉	23	5.3%	17 市街地の整備	21	4.8%
2 児童福祉	25	5.8%	18 都市景観	5	1.2%
3 障害者福祉	6	1.4%	19 住宅	2	0.5%
4 福祉のまちづくり	10	2.3%	20 公共交通	19	4.4%
5 健康・医療	18	4.2%	21 道路交通	15	3.5%
6 災害の防止	5	1.2%	22 港湾・空港	0	0.0%
7 環境の保全	5	1.2%	23 情報・通信	12	2.8%
8 緑・水環境	13	3.0%	24 水・エネルギー	2	0.5%
9 ごみの減量と処理	9	2.1%	25 産業振興	8	1.8%
10 学校教育	21	4.8%	26 観光・M I C E	21	4.8%
11 生涯学習	5	1.2%	27 都市農業	1	0.2%
12 スポーツ・レクリエーション	4	0.9%	28 消費者・勤労者	12	2.8%
13 文化	12	2.8%	29 人権	4	0.9%
14 コミュニティ・市民活動	3	0.7%	30 市民サービス	58	13.4%
15 男女平等参画	3	0.7%	31 その他	90	20.8%
16 国際都市	1	0.2%	回答総数	433	100.0%

※ 一人で複数の意見を記入しているものはそれぞれ 1 件と数えています。

※ 「名古屋市基本構想に基づき構成した 30 項目」の詳細については、P.71 を参照ください。

今後の名古屋市の施策や事業に対して、お寄せいただいたご意見のうち、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載します。文章は原文を基本としていますが、固有名詞が含まれている場合や、長文の場合などは、一部省略しています。

～10 歳代～

ご意見
地産地消の市場などがあると良い。
まだ不透明ではありますがリニアが名古屋を通る予定となっており、それに伴って多くの方が名古屋に来ることが予想されます。これをきっかけにこれまで大阪・京都と東京の間に挟まれ地味だと言われてきた名古屋から、名古屋を目的として人々が移動する、そんな街にするための観光の開発を近隣の市町村や県と一丸になって進めていただけると名古屋市民として嬉しいです。

～20 歳代～

ご意見
名古屋は産業・貿易があるため、財源としては十分だと思いますが、魅力で考えると、観光が弱いと感じます。名港水族館、城、東山動物園など、日本有数の施設があるのに発信がイマイチで、魅力に欠けるのはとても惜しいです。観光でも収入を得られれば、なお良いと思いますので、SNSなども活かして、発信していただきたいと思います。
コンビニで住民票、印鑑証明書等取得できるようにしてほしい
名古屋市の古くからの文化を大切にしてほしいです。現状維持ではなく発展へと繋げていただきたいです。
ペット関連のサービス拡充 市民向け（しつけ教室、マナー講習、各公園ドッグラン設置、飼い主向け情報サイト、web による各種案内サービス、迷子保護サイト、災害時の同行避難設備等）と観光向け（ペット利用可施設の拡充とマップ作成等）のサービスを拡充することで、移住者・観光客の増加に繋がり、サービス拡充による満足度向上と財源確保の両立が叶うと考えます。
災害関連施設、設備 名古屋市は水害に弱いにもかかわらず、その対策が不十分に感じます。長く住む（定住する）ことを考えたときに、災害対策の有無は大きいです。現在港区に住んでいますが、近くに津波対策の高台避難施設はほとんどないように思います。
政治に興味が出るような動きがもっとあるとより良い街になる気がします。当事者意識が高まると良いです。
もっとデジタルを活用してほしいです。公共サービスに取り入れるだけでなく、地域の企業に推進していく必要があると思います。公共のサービスでネットを使用してできることは増えてきましたが、UI の使用性やアプリのバグなど技術力不足を感じる人が多いです。人口が多いからこそ、窓口業務の負担軽減や、厳しい肉体労働をロボットに代替させるなど、デジタルを活用することでみんなの生活が豊かになるのではないかと思います。

～30 歳代～

ご意見
<p>名古屋市都市部（名駅、栄）で働く長久手市民（近郊都市）の通勤の利便を考えてみてはどうか。せめて朝のみでもシャトルバス直通で結んで名古屋で働くことの利便性を高めてみてはどうか。それにより名古屋市企業の活性化（税込、働きやすさ等）を高めることが出来るのではないかと考えます。（勝手に長久手から都市部へは通勤がつかいだろうと思っています。東山線、人が多いですよ）、近郊都市との協力関係の構築の推進（名古屋市だけで物考えない）</p>
<p>1 回目の緊急事態の時に第一子を出産しました。産まれた時からコロナと一緒に成長し、今2歳になります。今までの生活も普通に味わえない娘に四季のイベントを感じてもらいたいし（イベントなど）もう少しコロナベビーに対しての給付金を検討してもらいたいです。マスク着用も練習していかないといけません、そこもおかしいと感じてます。子供に対してもっと力を入れて欲しい。</p>
<p>医療ケア児が保育園に入りやすくしてほしい。（応募出来る所が少なすぎる）、発育の遅い子の両親が仕事をやめずにすむよう、加配の先生の手配をもっと手厚くしてほしい。</p>
<p>もっと名古屋が活気づいて、県外や海外の方がどこかの県に行く途中に立ち寄るのではなく、「名古屋」を目的に来てもらえるような新しい観光スポットを作してほしい。</p>
<p>子ども医療費助成の年齢の 18 才まで拡大ありがとうございました。私立高校、公立高校の所得制限もなくしていただけたら、その分こどもの教育により手をかけられるのでお願いします。他県からの移住者ですが、公共のバスなども含め、車も歩行者も本当にマナーが悪いと思います。歩車分離式信号がもっと増えればいいなと思いました。</p>
<p>名古屋市営交通 100 周年おめでとうございます。去年、刀剣乱舞とコラボして下さりありがとうございました。市バス、地下鉄を使って色々と巡りました。また、コラボがあったら嬉しいと思っています。</p>
<p>出産、育児に対しての支援をもっと手厚くして欲しい。名古屋市での取り組みで安心して子どもを育てられると思えたら出生率も上がるのではないかと思います。まだ子どもは小さいですが、これからの事が不安です。（ベビーエールは助かりました。ありがとうございました。）</p>
<p>名古屋市は交通網がまだまだ不十分に感じる。市営地下鉄だけでなく JR などの私鉄を活用して名古屋市外への利便性を改善しより人の往来のしやすいまちづくりにするべき また、住宅環境については建物と街の統一性がない。テーマをもって街作りをして名古屋のカラーをだし住みやすく観光しても楽しい街作りを目指してほしい。</p>
<p>名古屋市に遊びに来たいと魅力を感じてもらえる街づくりを推進してもらえればと思います。共働きファミリーにも優しい、保育園や学童の整備にも力を入れていただければと思います。</p>
<p>大曾根駅は、名鉄、JR、地下鉄、ゆとりーとラインと多くの交通手段があるのに、人を集めようとしていない。せっかく、矢田と名城公園に大学が出来たんだからもっと、人を集める手段を検討した方が良いでしょう。</p>
<p>保健センターや子育て支援などに携わっていらっしゃる職員さんは、本当に素晴らしいと思います。今以上に市の保健師さんや保育士さんたちが働きやすい環境にしていきたいです</p>

～40 歳代～

ご意見
若い世代への支援やスタートアップなどに力を入れるのではなく、老人が増えていくことに対するの取り組み（介護保険料の仕組みを大改革することや老人にたいしてもっと住みやすいことを考え出す、生み出す）、名古屋市に住むといろいろと安くなる老人に対するサービスが豊富であるとアピールして、名古屋市に住みたくなるようなアピールしていく。若い人に目を向けるのは他の地域におまかせすればいいと思う。
名古屋っていいところだなと誰もが思う町にしてください。他から来た人や文化を受け入れる町にしてください。
とにかく所得制限で行政サービス制限するのはやめて欲しい。最近特に社会主義的と思うことが多い。市民にやる気を起こさせるような制度として欲しい。頑張った人が損しないような制度として欲しい。いろいろ書きましたが、名古屋は好きです。生まれ育った街なので。
きっと一生懸命取り組まれているかと思います。どれが大事ではなくどれも大事で、やれるものなら全てやりたいかと。“名古屋”がより『よいまち』になることを願っています。
通勤で自転車を利用していますが、走行しにくいです。車道はトラックが走るの危険を感じ歩道は狭い。少しずつでも改善して欲しいです。
高齢者福祉、児童福祉に力を入れてほしい。子どもからお年寄りまで安心して暮らせる世の中になってほしい。子育て支援をすすめる中で安心して子供を生み仕事に復帰したい。→少子化改善に向けて・・・
就業意欲のある人が、就業できるようになると良いと思います。派遣や、悪条件で雇われ、将来に不安を持っている人は多い。
千種区役所の仮庁舎完成後の周辺交通マナーが心配です。閑静な街が騒がしくならないようご配慮お願いいたします。東山公園駅の整備もお願いいたします。ホームにエアコン付けて下さい。不快指数が高い空間です。
中学校でも給食の提供をお願いしたい。スクールランチの評判であまり良い話を聞いたことない。共働きのわが家庭では、お弁当作りが負担である。
福祉の面で、重度の障害者や介護を必要とする高齢者を対象にするサービスはそれなりに充実していますが、そういった極端な人を対象とするものばかりではなく、軽度の障害者や、障害認定をされない不調な人にとっては中途半端で、助けてもらうサービスが受けられないことが多く、実際日常で困る場面が多々あるため、そういった人にも認定を受けずとも日常生活のサポートを受けられる体制を整えていただきたいです。
名古屋はあまりに芸術鑑賞ができないので、名古屋のホールで演奏したい！と思ってもらえるようなホールを作っていただきたいです。県外からの友人に名古屋を案内する場所がなくて困ります。非常に良い成功例の大須を参考に、名古屋城など改善していただきたいです。
同性婚、パートナーシップ制度の実現。
マイナンバーカードの利用機会を多く作って欲しい。（コンビニ交付等含めて）
福祉のサービスは既にいくつかあるかと思いますが、どのようなものがあるのか非常にわかりにくく、そういったサービスを受ける手続きは大変で条件は厳しく、とても不親切に感じます。

～50 歳代～

ご意見
健康維持に関するクーポン券をもっと発行してほしい（大腸ガン健診等）
名古屋市に住んでうらやましいと思われるような取り組みを真っ先にして欲しい。住みやすい空気のいい環境にして欲しい。
安心して障害者が生活できる名古屋市になってほしい。
市役所（区役所）の書類関係をデジタル化し、簡単に手続きできるようにしてほしい。
市バス路線のさらなる充実、文化事業のさらなる充実、職員の増員（教員含む）
全国的に見るとまだまだ名古屋は知られていないことが多い。YouTube やインスタグラムを活用して情報発信するべきだと思う。でないと井の中の蛙のまま終わってしまう。
市民の声に耳を傾けた施策の実施をお願いします。市議会での無駄な議論より現実を考えた議論をお願いします。
市道の横断歩道の舗装が消えている所が時々あります。順番にメンテナンスされているとは思いますが、夜間などは、見えにくくなるため、早めの補修をお願いします。
環境整備、健康づくり、交通などの面で、歩きたばこ、ぽい捨て、歩きスマホ、自転車スマホなど街中で見かける機会が多く、改善を推進していただきたいです。
清潔で住みやすく安全な地域にする為に、タバコのポイ捨て、ゴミ屋敷など放りっぱなしの家屋など市の対応、条例を作してほしい。
マイナンバーカードを作ったが、コンビニで住民票や印鑑証明などの書類が取れない。仕事などで区役所までいけない時に本当に困ります 大至急コンビニで取れるように手配をお願いします。
ゆとりーとラインの料金が市バスより大分高い。 守山区に地下鉄を通して欲しい。
働いているとなかなか難しいことが多いので、土日の受付をできるようにしてほしい。もしくは、デジタル化をもっと進めてほしい。
近くの川の清掃を市で定期的に行って下さり、いつもキレイを保ててとても有り難いです。 数ヶ月前のその清掃時の時だと思いますが、岸に鉄製のゴミが集められ撤去されずに残っていました。そこで橋の工事の方にお伝えしたら、「他部署なので連絡しておきます」との事。しかし今だに撤去されずに残っています。 部署は関係なく臨機応変に対処して下さいと とても有り難く思います。
名古屋市は観光資源以外は恵まれていると思うが、そこに胡坐をかかずにいろいろ頑張してほしい。美術、芸術、音楽イベント、レクリエーション施設等は、東京、大阪と比べて見劣りしているような気がする。
家庭内の問題が起き、誰に相談もできず悩んでいた時、女性相談へ電話をし、その後面談、弁護士、心療内科へと適切につないでくれた。とても助けられた。ありがたかった。困っている人、助けがほしい人を今後も1人でも多く救ってほしい。
小学校や区の図書館の本を充実させてほしい。近隣の市と比べて負けている。市民会館を建て替え、演劇やミュージカルをもっと呼んでほしい。名古屋飛ばしがつらい。
短期に結果が出る。経済効果がある政策だけでなく、学校教育や保育環境をもっとゆとりあるものにして欲しい。クラス人数を減らし、教師が児童・生徒とかわる時間をとれるようにしたり、保育所の定員枠拡大を解消し、乳児がゆったり過ごせるようにしたりするなどである。

～60 歳代～

ご意見
何よりも高齢者福祉。年金も頭打ちの老後の不安を解消していただきたい。税金の減免、高齢者割引の設定等。実際、現在の年金だけではとても生活していけない。
子供を生み、育てやすい環境作りと共に経済的な補助をして頂きたい。子育てにお金がかかり過ぎると思います。一夫妻で3人の子供を生み育てられる未来が来る事を願っております。お仕事ご苦労さまです。これからもがんばって下さい。
幸心バス停（市バス）日除け屋根を早期復旧してほしいです。
防犯上（火災など）空家対策をしっかりとしてほしい。道路のデコボコが気になる。
古き良きものは残してほしい。やたらと街の彩を変えてほしくない。名古屋市は地場産業がしっかりとしているから技術を生かせる取り組みをして下さい。
自宅は高台にある為ゴミ収集車が来られない為か近隣の7軒と一緒に坂下の電信柱の所がゴミ置き場となっています。しかしネコやカラスからの被害が毎回あり、ネットをかけたりしても無駄な事が多いので、市の施策でゴミ置き場の設置して頂くか、自宅まで取りに来てほしい。
地下鉄の駅すべてにエレベーター設置
減税の取り組み、学校のトワイライトなど評価できる。
情報の発信方法をわかりやすくしてほしい。 (例) コロナのワクチン接種情報、大変わかりづらかったです。
名古屋市会議員の皆様が各区におられますので気が付いた時々に直ぐ気軽に相談できると良いと思います。学区には協力委員・民生委員がおりますが、近所で家族の内容もわかっているので表向きの事しか言えません。幸い私の区には話しやすく同じ目線で考えていただける議員さんがお1人おられるので少しは安心ですが親しみやすい方が多くなる事を願います。
財政が厳しいからと言って安易に民間委託や民営化に頼るのではなく、職員の力を十分に活用し、現在及び将来の名古屋を維持、発展させていただきたい。個別の行政分野では、教育、環境を重視し、歴史を大切にすまちづくりを進めていただきたい。
校区に学童が1つもない小学校があるようです。親が安心して働けるように小学校区に1つ以上の学童を設けて、高学年迄預けられる施設を作して下さい。
高齢者や障がい者だけでなく、子育てヘルパー（中学生ぐらいまで対象）の派遣をお願い出来たら、孤立なく子育てしやすい環境になるのではと思います。
緑区に住んでいます。扇川沿いを散歩しながら水鳥や花を見るのが楽しみなのですが、水面が見えないほど雑草がいっぱいで、残念です。整備されるといいなと思っています。
高齢者にはまだデジタル化といっても無理な面があるかと思う。加えて何もかもレス傾向にあるのはどうか疑問です。アナログ世代もかなりいるかと思うので そのような方にも一目瞭然分かり易く時間をかけても 優しい説明や案内が必要かと思う。
月曜日に科学館、図書館などの公共施設が休みなもので、機会があっても活用出来ない。交代で開館するなどの工夫を要望する。名古屋駅など、地下鉄改札から地上に上るエレベーターが遠く、極めて利便性が悪い。改善をお願いしたい。
名古屋城の周辺をもっと綺麗に整備して欲しい。天守閣より優先されるべきだと思う。
コロナ禍で皆が頑張っています。名古屋市職員の皆様も大変ですが、より一層市民をバックアップして下さい。よろしくお祈りします。

～70 歳以上～

ご意見
市民参加の市政運営、一市民の声を聞くことに最大の努力を！行政サービスの向上のため職員増加及び職員の資質向上。
高齢者にはスマートフォンやパソコンからの手続きは不慣れで困難なので、市民サービスのあり方をもう少し考えてほしいものです。
敬老パスの回数制限を廃止してほしい。
老人の憩いの場を充実してほしい。
川の整備、名古屋市は川端の整備が遅れていると思います。特に堀川です。名古屋城より港区まで続いている堀川をついそぞろ歩きをしたくなるように。尚川にかかる橋もただ車が通るだけの橋ではなく見て楽しめるような橋。他の都市、地方の街でも魅力のある箇所はたくさんあります。
プレミアム商品券、市民全員に行きわたって欲しかった。限度額5万円じゃなく1万円、2万円でも良かったのでは？今回の発行は不公平、低所得者を優先すべきでは。
40年前には、老人会加入者は2人に1人いたが、現在では10人に1人となってしまった。毎年沢山の老人クラブが廃止となり、老人の生きがいが減少している。そのまま放っておくと、「グラウンドゴルフ」「老人会」「ペタンク」等の言葉は「絶滅危惧種」に指定されるかも……。残り少ない人生を楽しく生きがいのある生活が出来るよう互助金、補助金を増額して下さい。(老人会に対して)
名古屋の歴史としてはやはり名古屋城です。せめて名古屋唯一として木造名古屋城が見てみたいし、質素で深みの有る名古屋城を日本の皆さんと共に見たい。
高齢化が進み、ウェブサイト等デジタル化の対応が難しくなってきました。出来れば公報等で市の方針改善点など明文化した情報があれば参考になります。
地域にあるコミセン（コミュニティセンター）利用しづらいです。料金も高いし、時間に制約があり、ゆっくりくつろげないです。誰でもが使う事ができるようにしてほしいです。
観光客向けに、公益財団法人と民間で、名古屋観光マップ、名古屋ガイドマップ、名古屋おいしいグルメマップ等を作成したらと思います。関東6都県には名駅レンタカー店、旅館、ホテルに置いてあるところが多いです。もう一度行きたくなります。地下鉄名港線、あおなみ線があるので名古屋港を水族館、宗谷以外に堀川、中川運河クルーズをもっと発展させて横浜港のナイトクルーズのようなものにもチャレンジしたらどうでしょうか。
敬老パスはずっと続けて頂きたい。(若い方々も恩恵がありますように！)
城にお金をかけすぎより、介護保険料と後期高齢者医療保険を是非引き下げて欲しい。生活を圧迫されているのでよろしくお願いします。
区役所の窓口対応で、個人差が大きすぎます。大方は優しく話をしてくれますが、中には年齢にかかわらず、お役人の上から目線で対応する人がまだいます。がっかりして帰ってきます。入口の総合案内をされる方はいつでも二重丸です。感心します。
高齢者にはスマートフォンやパソコンからの手続きは不慣れで困難なので、市民サービスのあり方をもう少し考えてほしいものです。
プレミアム商品券、市民全員に行きわたって欲しかった。限度額5万円じゃなく1万円、2万円でも良かったのでは？

「市政世論調査」へのご協力をお願い

調査期間 令和4年7月26日～8月9日

名古屋市

名古屋市では、市民の皆さまが普段の生活の中で感じている事やお考えなどのご意見をお聴きし、市政運営の参考にさせていただくため、毎年1回、「市政世論調査」を実施しています。

今回の調査対象者は、市内にお住まいの18歳以上の方(約195万人)の中から2,000人の皆さまを、住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

突然のお願いで恐縮ではございますが、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

<アンケートについて>

- ◆ アンケートは無記名です。ご住所やお名前を書きいただく必要はありません。
- ◆ 回答の結果は、統計的な数値として集計する以外には使用せず、個人のお名前が出ることや調査対象者の名簿、個人を特定できる回答内容が外部に漏れることは決してございません。ご自身の率直なお考えやご意見をご記入ください。
- ◆ このアンケートはあなた個人におたずねするものです。必ずご本人(封筒の宛名の方)がご回答ください。(ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人のお考えを聞きながらご記入ください。)

<回答の方法>

- ◆ 本アンケートは①郵送回答、②インターネット回答のどちらかを選んでご回答ください。

①郵送回答

- ◆ ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、具体的な内容をご記入ください。
- ◆ ご記入には、鉛筆・ボールペンなど何をお使いいただいてもかまいません。
- ◆ 記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに8月9日(火)までに郵便ポストに投函してください。

②インターネット回答

- ◆ インターネット回答は、パソコン、スマートフォン、タブレット端末、携帯電話のいずれかを用いて、次のURLまたは二次元コードからアクセスしてください。

(URL) <https://wsurvey.jp/s.php?a=ngy-40->



- ◆ 画面の案内に従って下記の番号、パスワードを入力し、8月9日(火)までにご回答ください。

ID:	パスワード:
-----	--------

※ アンケートを中断した場合は別途再開用のIDとパスワードが発行されます。

【お問い合わせ先】

ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

名古屋市 スポーツ市民局 広聴課 担当：月足、羽田

電話 972-3140 (直通) FAX 972-3164



令和4年度 市政世論調査



名古屋の魅力・住みやすさについて

【名古屋の魅力についてお聞きします。】

問1 名古屋の誇れるところ、良いところは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----|---|---------|
| 1 | 地理的に日本各地への移動が便利 | (63.9%) |
| 2 | 名古屋人の気質 | (8.8%) |
| 3 | 名古屋ことば(名古屋弁) | (6.1%) |
| 4 | 名古屋名物と言われている特色ある食べ物(名古屋めし) | (45.4%) |
| 5 | 三英傑ゆかりの地で歴史がある | (43.2%) |
| 6 | ものづくりの拠点としての技術水準の高さ | (46.6%) |
| 7 | 活発な経済活動 | (16.8%) |
| 8 | 名古屋の水道水がおいしい | (42.9%) |
| 9 | 街並みが美しい | (9.3%) |
| 10 | 道路が広くて整備されている | (43.3%) |
| 11 | ごみの減量、CO ₂ の削減など、さまざまな環境保全への取り組み | (10.3%) |
| 12 | その他(具体的に:) | (6.4%) |
| 13 | 特にない | (2.8%) |
| | 無回答 | (0.6%) |

問2 名古屋の悪いところ、嫌いなところは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----|------------------|---------|
| 1 | 東京と大阪のはざ間で存在感がない | (26.0%) |
| 2 | 名古屋人の気質 | (11.4%) |
| 3 | 名古屋ことば(名古屋弁) | (16.6%) |
| 4 | 歴史や伝統がない | (0.7%) |
| 5 | 文化、芸術的雰囲気 zu 乏しい | (20.9%) |
| 6 | 情報発信が上手くない | (28.3%) |
| 7 | 活気や賑わいががない | (11.4%) |
| 8 | 観光名所が少ない | (53.0%) |
| 9 | 街並みが美しくない | (5.8%) |
| 10 | 公共交通網が整っていない | (8.7%) |
| 11 | 夏が蒸し暑い | (65.0%) |
| 12 | 交通マナーが悪い | (38.9%) |
| 13 | その他(具体的に:) | (8.6%) |
| 14 | 特にない | (3.3%) |
| | 無回答 | (1.6%) |

【名古屋の住みやすさについてお聞きします。】

問3 あなたは、名古屋が「住みやすい」と思いますか。(○は1つだけ)

1 住みやすい	(48.1%)
2 どちらかといえば住みやすい	(42.7%)
3 どちらかといえば住みにくい	(4.3%)
4 住みにくい	(0.6%)
5 わからない ⇒【問6へ】	(3.3%)
無回答	(1.0%)

◀「問3で1、2を選んだ方（住みやすいと答えた方）におたずねします。」▶

問4 どのような点が「住みやすい」と思いますか。(○はいくつでも)

1 就業の機会が豊富である	(25.5%)
2 交通の便がよい	(68.6%)
3 住環境がよい	(42.4%)
4 買い物する場所などが近くにある生活に便利	(69.7%)
5 教育環境がよい	(10.8%)
6 子育て環境がよい	(13.8%)
7 福祉や医療体制が充実している	(26.2%)
8 建物や歩道のバリアフリー化（段差などが無いこと）が進んでいる	(4.9%)
9 緑や川などの自然環境がよい	(23.2%)
10 治安がよい	(25.7%)
11 地震や風水害など災害への備えが十分である	(5.7%)
12 スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが多い	(8.5%)
13 その他（具体的に：）	(4.7%)
無回答	(0.5%)

◀「問3で3、4を選んだ方（住みにくいと答えた方）におたずねします。」▶

問5 どのような点が「住みにくい」と思いますか。(○はいくつでも)

1 就業の機会が不足している	(15.0%)
2 交通の便が悪い	(37.5%)
3 住環境に問題がある	(22.5%)
4 買い物する場所などが近くになく生活に不便	(17.5%)
5 教育環境に問題がある	(15.0%)
6 子育て環境に問題がある	(7.5%)
7 福祉や医療体制が不十分である	(22.5%)
8 建物や歩道のバリアフリー化（段差などが無いこと）が遅れている	(35.0%)
9 緑や川などの自然環境に問題がある	(25.0%)
10 治安が悪い	(22.5%)
11 地震や風水害など災害への備えが不十分である	(27.5%)
12 スポーツ・文化・芸術的な施設や催し・イベントが少ない	(40.0%)
13 その他（具体的に：）	(20.0%)
無回答	(0.0%)

《すべての方におたずねします。》

問6 あなたは、これからも今の地域にずっと住みたいですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---|---------------|-----------|---------|
| 1 | 住みたい | } ⇒ 【問8へ】 | (47.1%) |
| 2 | どちらかといえば住みたい | | (36.8%) |
| 3 | どちらかといえば転居したい | | (6.7%) |
| 4 | 転居したい | | (1.5%) |
| 5 | わからない | ⇒ 【問8へ】 | (6.5%) |
| | 無回答 | | (1.3%) |

《問6で3、4を選んだ方(転居したいと答えた方)におたずねします。》

問7 どこに転居したいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---|------------------------|---------|
| 1 | 同じ区内 | (3.0%) |
| 2 | 名古屋市内の別の区(区名:) | (11.9%) |
| 3 | 愛知県内の名古屋市以外の市町村(市町村名:) | (9.0%) |
| 4 | 愛知県外(都道府県名・市町村名:) | (44.8%) |
| 5 | 具体的にはわからない | (31.3%) |
| | 無回答 | (0.0%) |

《すべての方におたずねします。》

【名古屋への愛着についてお聞きします。】

問8 あなたは、名古屋に「自分のまち」としての「愛着」を感じていますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|---|----------------|---------|
| 1 | 感じている | (37.3%) |
| 2 | どちらかといえば感じている | (44.0%) |
| 3 | どちらかといえば感じていない | (8.7%) |
| 4 | 感じていない | (3.4%) |
| 5 | わからない | (5.4%) |
| | 無回答 | (1.1%) |

問9 あなたは、名古屋によそのまちと比べて自慢できることがありますか。

(○は1つだけ)

- | | | | |
|---|---------|-------------|---------|
| 1 | たくさんある | } ⇒ [具体的に:] | (7.1%) |
| 2 | いくつかはある | | (39.0%) |
| 3 | あまりない | | (34.1%) |
| 4 | まったくない | | (1.3%) |
| 5 | わからない | | (13.6%) |
| | 無回答 | | (4.8%) |

【あなた自身の生活についてお聞きします。】

問10 あなたには、趣味、スポーツ、学習活動、地域活動、仕事、子どもの成長など、何か「生きがい」と感じるものはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1 「生きがい」と感じるものがある | (37.9%) |
| 2 「生きがい」とまではいかないが、積極的に取り組んでいるものがある | (28.7%) |
| 3 特にない | (26.9%) |
| 4 わからない | (4.2%) |
| 無回答 | (2.3%) |

問11 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------|
| 1 自分の健康・病気 | (62.3%) |
| 2 家族の健康・病気 | (55.3%) |
| 3 自分の進学、就職、結婚などの問題 | (6.9%) |
| 4 家族の進学、就職、結婚などの問題 | (18.7%) |
| 5 今後の収入 | (44.0%) |
| 6 貯蓄や資産(借金や負債) | (32.4%) |
| 7 税金や保険料などの負担 | (42.0%) |
| 8 親などの介護 | (31.3%) |
| 9 老後の生活 | (58.9%) |
| 10 家族・親族間の人間関係 | (8.2%) |
| 11 近所との人間関係 | (8.1%) |
| 12 仕事や職場のこと | (13.9%) |
| 13 その他(具体的に:) | (2.7%) |
| 14 不安に感じることはない | (4.0%) |
| 無回答 | (0.7%) |

問12 あなたの家庭の生活の程度は、世間一般からみて、どうだと思いますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|-------|---------|
| 1 上 | (2.9%) |
| 2 中の上 | (20.1%) |
| 3 中の中 | (47.9%) |
| 4 中の下 | (21.3%) |
| 5 下 | (7.0%) |
| 無回答 | (0.7%) |



問 13 あなたは、現在のご自身の生活に満足していますか。(○は1つだけ)

1	満足している	(16.4%)
2	どちらかといえば満足している	(59.5%)
3	どちらかといえば不満である	(14.0%)
4	不満である	(5.4%)
5	わからない ⇒ 【問 16 へ】	(3.6%)
	無回答	(1.1%)

▶ <<問 13 で 1、2 を選んだ方 (満足していると答えた方) におたずねします。>>

問 14 どのような理由で満足されていますか。(○はいくつでも)

1	健康であるから	(63.8%)
2	衣生活が豊かだから	(22.6%)
3	食生活が豊かだから	(36.8%)
4	住生活が豊かだから	(38.1%)
5	家族との生活が充実しているから	(53.8%)
6	友人、知人との人間関係が充実しているから	(31.7%)
7	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	(5.2%)
8	仕事や勉強がうまくいっているから	(13.4%)
9	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	(24.4%)
10	家具、車など耐久消費財がそろっているから	(15.8%)
11	十分な貯蓄があるから	(5.3%)
12	悩みや心配事がないから	(8.6%)
13	その他 (具体的に:)	(3.6%)
	無回答	(0.6%)

<<問 13 で 3、4 を選んだ方 (不満であると答えた方) におたずねします。>> ◀

問 15 どのような理由で不満であると感じていますか。(○はいくつでも)

1	健康でないから	(28.5%)
2	衣生活が不十分だから	(8.9%)
3	食生活が不十分だから	(12.7%)
4	住生活が不十分だから	(21.5%)
5	家族との生活がうまくいっていないから	(7.0%)
6	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	(5.1%)
7	社会に貢献しているという実感がないから	(15.8%)
8	仕事や勉強がうまくいっていないから	(19.6%)
9	趣味、教養の時間が十分とれないから	(24.1%)
10	家具、車など欲しいものが買えないから	(24.1%)
11	貯蓄が十分でないから	(69.0%)
12	悩みや心配事があるから	(33.5%)
13	その他 (具体的に:)	(9.5%)
	無回答	(0.6%)

市政について

《すべての方におたずねします。》

問 16 あなたは、名古屋市政（市の施策や事業など）に関心がありますか。

（○は1つだけ）

1	とても関心がある	(8.6%)
2	どちらかといえば関心がある	(51.2%)
3	どちらかといえば関心がない	(28.0%)
4	まったく関心がない	(3.9%)
5	わからない ⇒ 【問 19 へ】	(7.2%)
	無回答	(1.1%)

→ 《問 16 で 1、2 を選んだ方（市政に関心があると答えた方）におたずねします。》

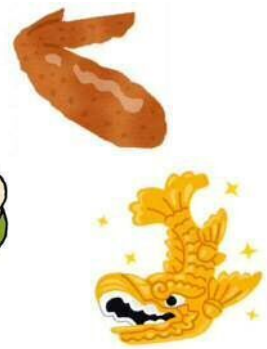
問 17 名古屋市政に関心があるのはどんな理由からですか。（○はいくつでも）

1	自分の生活と密接な関係があるから	(67.6%)
2	自分の住むまちに愛着があるから	(43.5%)
3	国や地方の政治に関心があるから	(21.1%)
4	税金を払っているから	(42.3%)
5	その他（具体的に：）	(2.9%)
	無回答	(0.2%)

《問 16 で 3、4 を選んだ方（市政に関心がないと答えた方）におたずねします。》 ←

問 18 名古屋市政に関心がないのはどんな理由からですか。（○はいくつでも）

1	自分の生活にあまり関係がないから	(15.4%)
2	自分の住むまちに愛着がないから	(6.5%)
3	国や地方の政治に関心がないから	(23.8%)
4	市政がわかりにくいから	(41.5%)
5	忙しくて考える暇がないから	(30.8%)
6	その他（具体的に：）	(5.4%)
7	特にない	(7.7%)
	無回答	(0.4%)



《すべての方におたずねします。》

問 19 と問 20 の項目は、現在、名古屋市が進めている事業を分野別に 30 項目にまとめたものです。それぞれの項目の具体的な内容は、次ページに記載してあります。

問 19 あなたは、最近、名古屋市が特によく取り組んでいると思う項目はどれですか。

(○はいくつでも)

＜あてはまる項目がない場合は、32「特にない」の番号に○印をつけてください。＞

1 高齢者福祉 (24.2%)	9 ごみの減量と処理 (25.6%)	17 市街地の整備 (11.4%)	25 産業振興 (4.3%)
2 児童福祉 (15.6%)	10 学校教育 (6.7%)	18 都市景観 (7.1%)	26 観光・MICE ^{マイス} (4.5%)
3 障害者福祉 (9.3%)	11 生涯学習 (4.9%)	19 住宅 (2.1%)	27 都市農業 (0.6%)
4 福祉のまちづくり (6.3%)	12 スポーツ・レクリエーション (3.9%)	20 公共交通 (15.8%)	28 消費者・勤労者 (1.0%)
5 健康・医療 (19.9%)	13 文化 (3.8%)	21 道路交通 (11.8%)	29 人権 (1.5%)
6 災害の防止 (15.7%)	14 コミュニティ・市民活動 (3.4%)	22 港湾・空港 (2.3%)	30 市民サービス (6.5%)
7 環境の保全 (4.9%)	15 男女平等参画 (1.6%)	23 情報・通信 (1.6%)	
8 緑・水環境 (9.9%)	16 国際都市 (2.7%)	24 水・エネルギー (7.0%)	
31 その他（具体的に：）			(1.1%)
32 特にない 無回答			(26.9%) (2.0%)

問 20 あなたが、今後、名古屋市に特に力を入れて進めて欲しい項目はどれですか。

(○はいくつでも)

＜あてはまる項目がない場合は、32「特にない」の番号に○印をつけてください。＞

1 高齢者福祉 (39.6%)	9 ごみの減量と処理 (13.1%)	17 市街地の整備 (13.1%)	25 産業振興 (7.9%)
2 児童福祉 (24.8%)	10 学校教育 (26.4%)	18 都市景観 (12.0%)	26 観光・MICE ^{マイス} (10.1%)
3 障害者福祉 (16.4%)	11 生涯学習 (10.1%)	19 住宅 (8.7%)	27 都市農業 (5.5%)
4 福祉のまちづくり (18.5%)	12 スポーツ・レクリエーション (6.1%)	20 公共交通 (25.8%)	28 消費者・勤労者 (12.0%)
5 健康・医療 (40.4%)	13 文化 (13.3%)	21 道路交通 (18.8%)	29 人権 (8.2%)
6 災害の防止 (33.3%)	14 コミュニティ・市民活動 (5.6%)	22 港湾・空港 (2.9%)	30 市民サービス (21.5%)
7 環境の保全 (18.7%)	15 男女平等参画 (7.6%)	23 情報・通信 (10.1%)	
8 緑・水環境 (18.4%)	16 国際都市 (7.0%)	24 水・エネルギー (14.4%)	
31 その他（具体的に：）			(5.3%)
32 特にない 無回答			(5.2%) (1.7%)

30項目の具体的な内容〈参考〉

1. **高齢者福祉** (介護サービスの充実、高齢者が生きがいを感じ安心して暮らすための支援など)
2. **児童福祉** (保育の充実、子どもや子育て家庭に対する支援、虐待への対策など)
3. **障害者福祉** (障害者のための施設や制度の充実、仕事をもって暮らすための支援など)
4. **福祉のまちづくり** (バリアフリーのまちづくり、高齢者の知恵や経験を生かした地域活動の推進など)
5. **健康・医療** (市民の健康づくり、病気の予防、感染症対策や医療の充実など)
6. **災害の防止** (地震対策や河川・下水道の水害対策、消防・救急の体制の充実など)
7. **環境の保全** (温室効果ガスの排出抑制などの地球環境問題、公害防止への取り組みなど)
8. **緑・水環境** (まちに緑を増やしたり、公園の整備やうるおいのある水辺づくりへの取り組みなど)
9. **ごみの減量と処理** (ごみの発生を抑えること、リサイクルの推進、処理施設の整備など)
10. **学校教育** (幼児期から大学までの教育内容や教育環境の充実、保護者に対する経済的支援など)
11. **生涯学習** (誰もが学びたいときに自由に学べるような環境づくりやそのための情報提供など)
12. **スポーツ・レクリエーション** (スポーツやレクリエーション活動の普及、施設の整備など)
13. **文化** (芸術や文化活動の支援、独自の魅力・文化の発信、文化財を守ることなど)
14. **コミュニティ・市民活動** (住民が地域で活動するための条件整備や活動を活発にしていけることなど)
15. **男女平等参画** (性別にかかわる人権侵害の解消、あらゆる分野における女性の活躍推進など)
16. **国際都市** (国際交流の推進、外国人市民が暮らしやすいまちづくりなど)
17. **市街地の整備** (土地の合理的な利用、まちの整備など)
18. **都市景観** (魅力あるまちなみづくり、歴史的に重要な建築物の保存・活用など)
19. **住宅** (質の高い住まいづくりや住まいの確保への支援など)
20. **公共交通** (市バス・地下鉄などの公共交通の利便性向上や利用促進など)
21. **道路交通** (車道や歩道など道路の整備、駐車・駐輪対策、交通安全対策など)
22. **港湾・空港** (国際競争力をもつ港や空港を整備することなど)
23. **情報・通信** (情報セキュリティの確保、安全で格差のない情報化の推進など)
24. **水・エネルギー** (安心・安全でおいしい水道水の安定的な供給、地球環境に配慮したエネルギー利用の促進など)
25. **産業振興** (中小企業や商店街の支援、企業誘致や創業支援、研究や開発の活発化など)
26. **観光・MICE** (観光客を増やしたり、国際会議や見本市などの MICE を誘致したりすることなど)
27. **都市農業** (農業への支援、農業を通じた交流の推進など)
28. **消費者・勤労者** (消費者を守る取り組み、ワーク・ライフ・バランスや就労支援の推進など)
29. **人権** (人権が尊重され差別や偏見がない社会の実現をめざすことなど)
30. **市民サービス** (情報公開や情報提供・情報発信の推進、区役所・支所などにおける市民の利便性を向上させることなど)

【行政改革について】

行政運営にあたって、常に組織及び運営の合理化に努め、最少の経費で最大の効果をあげることが、地方公共団体の責務です（地方自治法第2条）。

名古屋市においては、これまでも計画的な定員管理や、外郭団体の見直しなどに努め、簡素で効率的な行政運営に取り組んできておりますが、今後も引き続き行政改革に取り組んでいきます。

問 21 次の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市が特によく取り組んでいるとあなたが思うものはどれですか。（〇は3つまで）

- | | | |
|----|--|---------|
| 1 | 行政評価による行政資源の有効活用 | (4.3%) |
| 2 | 外郭団体の見直し（財政的・人的関与の見直し） | (4.9%) |
| 3 | 職員数の見直し | (4.7%) |
| 4 | 業務の民間委託や民営化等の民間活力の活用 | (9.9%) |
| 5 | デジタルの活用による市民サービスの向上（スマートフォンやパソコンからの手続きの推進など） | (16.7%) |
| 6 | 職員の意識改革、資質の向上 | (8.5%) |
| 7 | 市政に関する情報提供 | (8.7%) |
| 8 | 市民の市政への参画（タウンミーティングやパブリックコメントなどの実施） | (2.3%) |
| 9 | その他（具体的に：） | (0.4%) |
| 10 | 特にない | (17.2%) |
| 11 | わからない | (44.0%) |
| | 無回答 | (4.0%) |

問 22 次の行政改革の取り組みのなかで、名古屋市に特に力を入れて進めてほしいとあなたが思うものはどれですか。（〇は3つまで）

- | | | |
|----|--|---------|
| 1 | 行政評価による行政資源の有効活用 | (18.7%) |
| 2 | 外郭団体の見直し（財政的・人的関与の見直し） | (20.7%) |
| 3 | 職員数の見直し | (13.9%) |
| 4 | 業務の民間委託や民営化等の民間活力の活用 | (16.1%) |
| 5 | デジタルの活用による市民サービスの向上（スマートフォンやパソコンからの手続きの推進など） | (28.3%) |
| 6 | 職員の意識改革、資質の向上 | (30.4%) |
| 7 | 市政に関する情報提供 | (17.4%) |
| 8 | 市民の市政への参画（タウンミーティングやパブリックコメントなどの実施） | (6%) |
| 9 | その他（具体的に：） | (3.6%) |
| 10 | 特にない | (5.9%) |
| 11 | わからない | (16.8%) |
| | 無回答 | (3.1%) |

行政評価とは-

行政評価とは、名古屋市が実施している事業（手段）について、施策（目標）の実現に向け、事業の実績や要した経費といった費用対効果の観点から点検・評価をするものです。点検・評価の結果に基づき事業の改善、見直しや整理合理化を進めることで、限りある行政資源の有効活用などを図っています。

名古屋市の外郭団体とは-

公益財団法人名古屋国際センターなど、名古屋市が一定の出資をしている公益法人や株式会社などの団体で、24団体あります。

（令和4年6月1日現在）



問 23 名古屋市の施策や事業に対して、ご意見・ご要望があれば、以下の欄にご自由にお書きください。

※いただいたご意見・ご要望は今後の市政の参考とさせていただきます。なお、それらについて、個別での回答は致しかねますので、ご了承ください。



過去の調査結果は、名古屋市公式ウェブサイト (<http://www.city.nagoya.jp/>) 内の「広報・広聴」のページに掲載してあります。

今回の結果につきましても、集計作業終了後、市公式ウェブサイトなどで報告させていただきます。

最後に、裏面の「あなたご自身に関する質問」にお進みください。



◎ アンケートを統計的に分析するために、あなたご自身についておうかがいします。

F 1 性別 (○は1つだけ)

1 男性 (40.1%) 2 女性 (58.3%) 無回答 (1.6%)

F 2 年代 (○は1つだけ)

1 10歳代(0.7%) 3 30歳代(13.4%) 5 50歳代(19.6%) 7 70歳代以上(24.4%)
2 20歳代(7.2%) 4 40歳代(15.2%) 6 60歳代(18.0%) 無回答 (1.3%)

F 3 職業 (○は1つだけ)

1 会社員 (フルタイム) (29.0%) 5 家事専業 (13.9%)
2 公務員 (3.3%) 6 学生 (2.7%)
3 自営・自由業 (8.3%) 7 無職 (22.0%)
4 アルバイト・パート (派遣も含む) (15.8%) 8 その他 (2.8%)
無回答 (2.2%)

F 4 居住区 (○は1つだけ)

1 千種区 (6.4%) 5 中村区 (6.3%) 9 熱田区 (2.3%) 13 守山区 (6.4%)
2 東区 (3.1%) 6 中区 (3.6%) 10 中川区 (8.8%) 14 緑区 (11.4%)
3 北区 (7.7%) 7 昭和区 (5.3%) 11 港区 (4.8%) 15 名東区 (6.5%)
4 西区 (7.1%) 8 瑞穂区 (5.0%) 12 南区 (6.4%) 16 天白区 (6.7%)
無回答 (2.2%)

F 5 あなたは、生まれてからずっと名古屋市にお住まいですか。(○は1つだけ)

1 生まれてからずっと名古屋市に住んでいる
(進学や転勤で一時的に名古屋市を離れた方も含む) (45.9%)
2 名古屋市以外から引っ越してきた (52.1%)
無回答 (2.0%)

《 F 5 で 2 を選んだ方 (名古屋市以外から引っ越してきた方) におたずねします。 》

F 6 名古屋市へはどちらから引っ越してきましたか。(○は1つだけ)

1 東海三県 (愛知・岐阜・三重) から (50.4%)
2 東海三県以外から (49.2%)
無回答 (0.5%)

《 すべての方におたずねします。 》

F 7 あなたが名古屋市にお住まいになって、何年になりますか。(○は1つだけ)

1 5年未満 (7.0%) 4 20年以上 30年未満 (11.9%)
2 5年以上 10年未満 (6.9%) 5 30年以上 (61.0%)
3 10年以上 20年未満 (11.2%) 無回答 (2.1%)

郵送回答の方は、返信用封筒に入れ、**8月9日(火)までに**ポストに投函してください。
インターネット回答の方は、返信は不要です。ご協力ありがとうございました。

令和 4 年 度

第 6 1 回市政世論調査

発 行	名古屋市
編 集	名古屋市スポーツ市民局市民生活部広聴課
発行年月	令和 4 年 12 月
委 託	N e x t - i 株式会社
